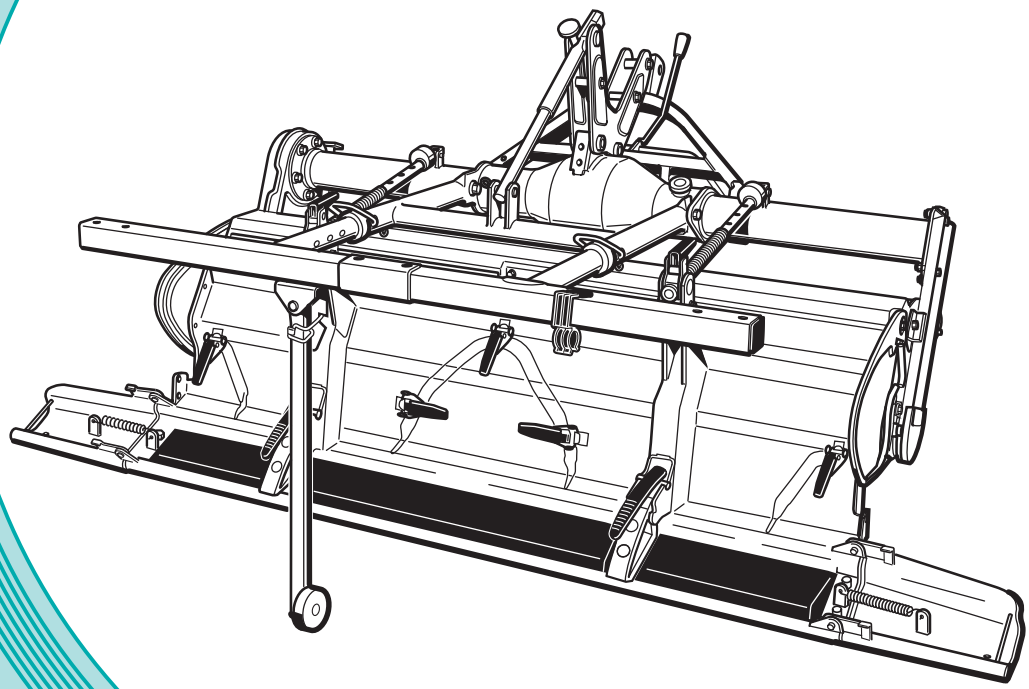
クボタロータリ

取扱説明書

RL 145T/155T 165T/175T　R155T



1AHABAFAP0010

ご使用前に必ずお読みください
いつまでも大切に保管してください

ORIGINAL

はじめに

このたびはクボタ製品をお買上げいただきましてありがとうございました。
この取扱説明書は製品の正しい取扱い方法，簡単な点検及び手入れについて説明しています。ご使用前によくお読みいただいて十分理解され，お買上げの製品が優れた性能を発揮し，かつ安全で快適な作業をするためこの冊子をご活用ください。また，お読みになった後必ず大切に保存し，分からないことがあったときには取出してお読みください。なお，製品の仕様変更などにより，お買上げの製品とこの説明書の内容が一致しない場合がありますので，あらかじめご了承ください。

⚠ 安全第一

本書に記載した注意事項や機械に貼られた⚠の表示があるラベルは，人身事故の危険が考えられる重要な項目です。よく読んで必ず守ってください。
なお，⚠表示ラベルが汚損したり，はがれた場合はお買上げの購入先に注文し，必ず所定の位置に貼ってください。

注意表示について

本取扱説明書では，特に重要と考えられる取扱い上の注意事項について，次のように表示しています。

⚠ 危険	注意事項を守らないと，死亡又は重傷を負うことになるものを示します。
⚠ 警告	注意事項を守らないと，死亡又は重傷を負う危険性があるものを示します。
⚠ 注意	注意事項を守らないと，ケガを負うおそれのあるものを示します。
重要	注意事項を守らないと，機械の損傷や故障のおそれのあるものを示します。
補足	その他，使用上役立つ補足説明を示します。

仕様について

この取扱説明書では，仕様の異なる製品を下記のように表示していますので，お買い上げの製品の仕様をお確めのうえ，お間違いのないようお願いいたします。
なお，説明は RL155T を基本とし，RL155T と取扱いが異なる場合はそのつど追加説明してあります。

- RL 仕様 ..... サイドドライブロータリ
- R 仕様 ..... センタドライブロータリ（後２輪付）
- 標準仕様..... スタンド付（後２輪なし）
- 後２輪仕様..... 後２輪付（スタンドなし）
- Y 仕様 ..... 手元開閉式延長カバー付
- カバータイプ
  - ・標準カバー ..... 畝立機用長穴付
  - ・V カバー ..... V カットカバー付
  - ・SC カバー ..... マッドレスカバー，畝立機用長穴付
  - ・SCV カバー..... マッドレスカバー，V カット付
- H 仕様 ..... ハイクリアンストラクタ用
- ES 仕様 ..... T245D/T265D トラクタ用ロータリ

目　次

⚠安全に作業するために

ロータリを使用する前に 1
ロータリの着脱時 2
耕うん爪の点検や交換及び調整時 3
オートハンガの使用時 4
運転時 4
格納時 7
廃棄物の処理について 7
表示ラベルと貼付け位置 8
表示ラベルの手入れ 8

サービスと保証について

各部の名称

ロータリの着脱のしかた

取付け前の準備 3
　ロータリの取付け方法と適応型式 3
トップリンクサポートの取付け（補助ユニット関連部品） 4
　取付け方 4
　取外し方 4
トラクタへの装着 4
　装着前の準備 4
　ロータリ着脱姿勢の調整 5
　取付け方 7
ロータリの取外し方 11
ロータリの保管と移動 12

ロータリの上手な使い方

適応作業速度 13
　ロータリ落下速度の調整 15
なた爪の取付け方 15
　RL 仕様（サイドドライブロータリ） 16
　R 仕様（センタドライブロータリ） 19
　耕法の種類 23
マッドレスロータリの取扱い 25

ロータリの調整

ロータリカバーの調整 26
　フラップカバーの使用法 26
　フラップカバーの取外し方 27
　フラップカバーの取付け方 27
　V カバーの取外し方 27
　補助カバー R・L の取外し方 28
　防土カバーの上手な使い方（別売オプション：RL 仕様） 28
　フロントカバーの使用法 28
手元開閉式延長カバーの使用方法（Y 仕様） 29
　延長カバーの使用法 29
　フラップカバー着脱前の準備 30
耕深の調整［後２輪仕様］ 31
後２輪の調整［後２輪仕様］ 32
　後２輪ホルダの前後調整 32
　上下調整 32
　左右調整［R 仕様］ 32
フローティング装置（別売オプション） 33
スプリングロックの調整 34
オートハンガの調整 35
サイドカバーの調整 36
畝立機の取付け（別売アタッチメント） 36
　畝立機の調整方法 38
片培土機の取付け（別売アタッチメント） 38
　取付け方 38
　片培土機の調整方法 39
逆転 PTO の使用方法 40
爪軸交換のしかた 40

作業前の点検について（日常点検）

点検箇所 42
　点検は次の順序で実施してください。 42
点検のしかた 42
　ユニバーサルジョイントのロックピンの確認 42

ロータリの簡単な手入れと処置

廃棄物の処理について 43
洗車時の注意 43
定期点検箇所一覧表 44
各部の油量点検と交換 45
　ギヤーケース［RL 仕様］ 45
　チェーンケース［RL 仕様］ 45
　ロータリケース［R 仕様］ 46
グリースの補給と注油 47
　ユニバーサルジョイント 47
　アジャスタ（後２輪調整ネジ部） 47
　ホルダ（ジョイント）［スーパージョイント付］，ロータリ入力軸 47
　後２輪のグリースニップル部（後２輪仕様） 47
　オートヒッチフレーム、トップリンク各回動部 48
　スプリングロックしゅう動部 48
　オートハンガしゅう動部，回動部 48
　つきま線部の U 金具 48
　フロントカバー回動部 48
　手元開閉式延長カバー回動部［Y 仕様］ 48
　爪軸ベアリングケース［RL 仕様］ 48

目　次

マッドレスロータリ　ゴムカバー用補修剤の使用方法 49
分解時の注意 50

付　表

主要諸元 51
標準付属品 52
補助ユニット一覧表 52
アタッチメント一覧表 53
兼用品 53
推奨オイル・グリース一覧表 55
ギヤーオイル 55
グリース 55

⚠ 安全に作業するために　　必ず読んでください

本機をご使用になる前に，必ずこの『取扱説明書』をよく読み理解した上で，安全な作業をしてください。安全に作業をしていただくため，ぜひ守っていただきたい注意事項は下記の通りですが，これ以外にも，本文の中で⚠危険・⚠警告・⚠注意・重要・補足としてそのつど取上げています。

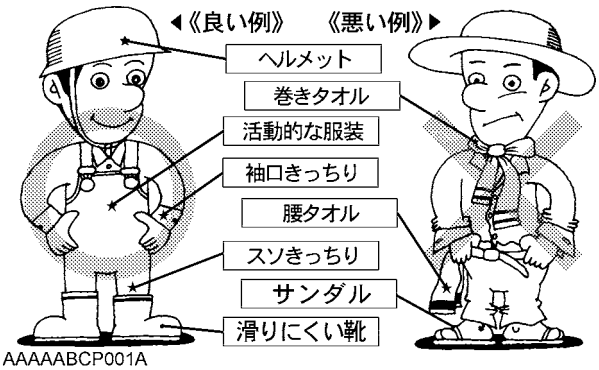
ロータリを使用する前に

1. ロータリを使用する前に，必ずこの取扱説明書とトラクタ本機の取扱説明書，及び機械に貼ってある⚠表示ラベルをよく読み，理解した上で作業してください。
2. ロータリを他人に貸すとき，また他人に作業を依頼するときは，事前に操作のしかたを教え，本書を読ませてください。
3. 本書及びラベルの内容が理解できない人や子供には，絶対に作業させないでください。

1AHACACAP001A

4. ダブダブの衣服やかさばった衣服を着用しないでください。
   回転部分や操縦装置に引掛かり事故の原因になります。
   安全のため，ヘルメット，滑りにくい靴を着用し，必要に応じて安全靴，保護めがねや手袋などを使ってください。

作業時の服装



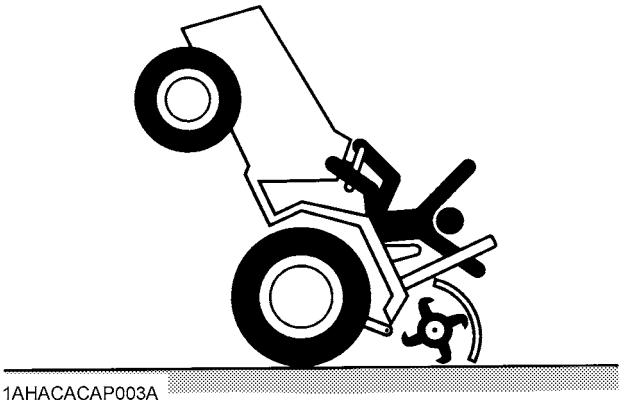
1AAAAABCP001A

ロータリの着脱時

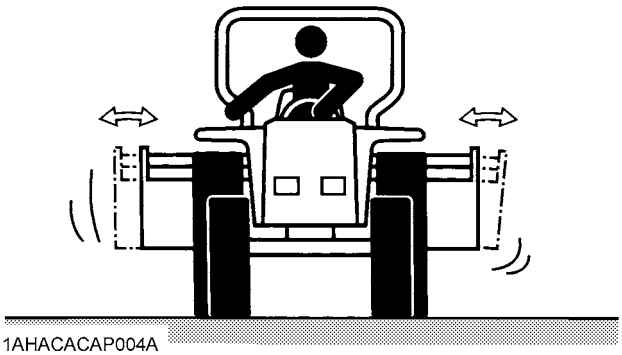
1. PTO を中立にして平たんな場所で行なってください。
2. トラクタとロータリの間に立たない，また立たせないでください。
   挟まれるおそれがあります。

1AHACACAP002A

3. 二人作業の場合はお互いに合図しあい，注意して作業してください。
4. ３点リンクの止めピンやユニバーサルジョイントのロックピンが，確実にセットされていることを確認してください。
5. 装着するトラクタによってそれぞれ前後バランスが異なる場合がありますので，前部ウエイトの指示がある場合は必ず装着してください。
   前輪が浮上がり事故の原因になります。


1AHACACAP003A

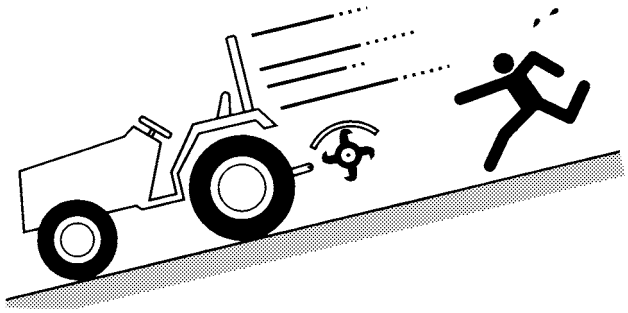
6. ロアーリンクのチェックチェーンは，ロータリが左右に１～２ cm 動く程度に調節してください。
   走行時，ロータリが揺れてバランスをくずし事故の原因になります。


1AHACACAP004A

7. 着脱時，フロントスタンド［サイドドライブ］とリヤスタンド又は後２輪を必ずセットしてください。
   ロータリが倒れ，事故の原因になります。

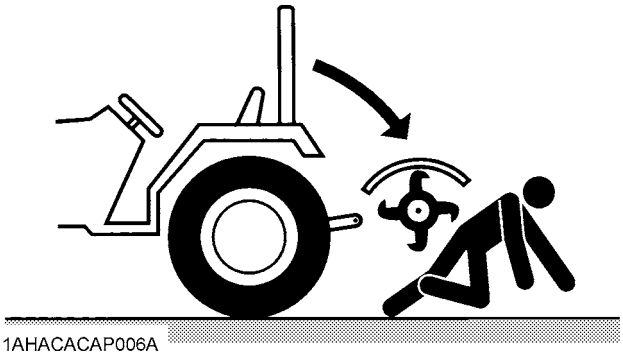
耕うん爪の点検や交換及び調整時

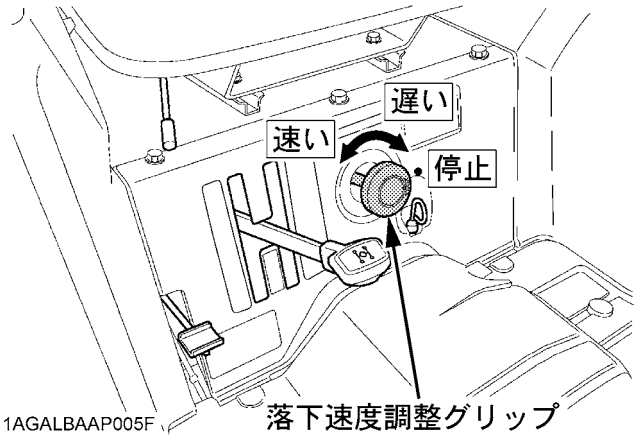
1. トラクタを平たんな場所に置いてください。
2. 駐車ブレーキを掛け，エンジンを停止してください。
   トラクタが動き出すおそれがあります。
3. ロータリカバー２は，オートハンガを使用し，確実に固定してください。
4. オートハンガのクリップを解除位置にした場合，ただちにロータリカバー２を下ろしてください。


1AHACACAP005A

5. ロータリを上げた状態で点検整備を行う場合は：

＊ 必ず落下速度調整グリップで，作業機が落下しないようにロック（停止）してください。
＊ 落下速度調整グリップでロックした後，ポジションレバーを［前方に倒して］，作業機が落下しないことを必ず確認してください。
＊ 確認後，再度ポジションレバーを上げておいてください。
＊ ロックするとともに適切なジャッキ又はブロックを爪軸の下に置き，落下防止を行なってください。

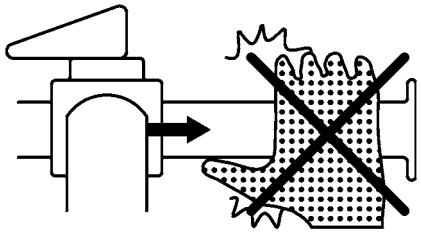

1AHACACAP006A



1AGALBAAP005F

オートハンガの使用時

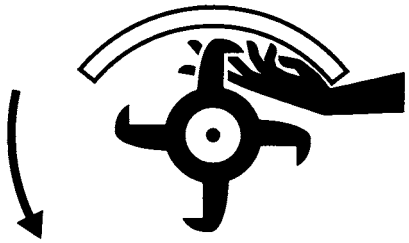
1. オートハンガの操作は，傷害事故を起こすおそれがありますので，平たんな広い場所で行ない，エンジンを止めて，駐車ブレーキをかけてから行なってください。
2. オートハンガを操作する時は，ロッドに手を掛けないでください。
3. 保持を解除する時は，ロータリの下や周辺の安全確認を行なってください。
4. オートハンガのクリップを解除位置にした場合，ただちにロータリカバー２を下ろしてください。



1AHAEABAP0490

運転時

1. 安全カバー類を外した状態でロータリを使用しないでください。また紛失したり損傷した場合，交換してください。
   巻込まれや切傷事故の原因になります。
2. ユニバーサルジョイント，爪軸など回転部分には近づかないでください。
   裂傷・巻込まれなど，事故のおそれがあります。



1AHACACAP009A

3. ロータリの上に人を乗せないでください。

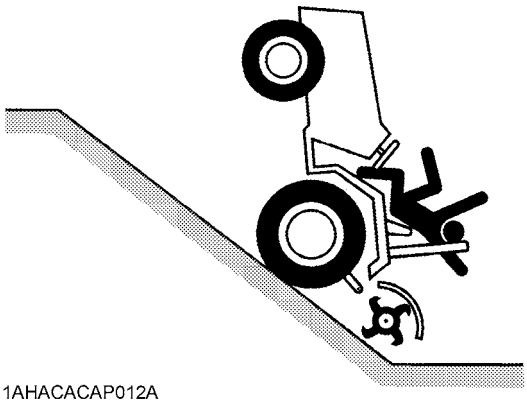
1AHACACAP010A

4. 必ず座席に座ってロータリ作業を行なってください。作業中，トラクタからの飛降り，飛乗りは重大事故につながります。

5. ロータリを持上げ，バック及び急旋回するときは，周囲の安全確認を行なってください。

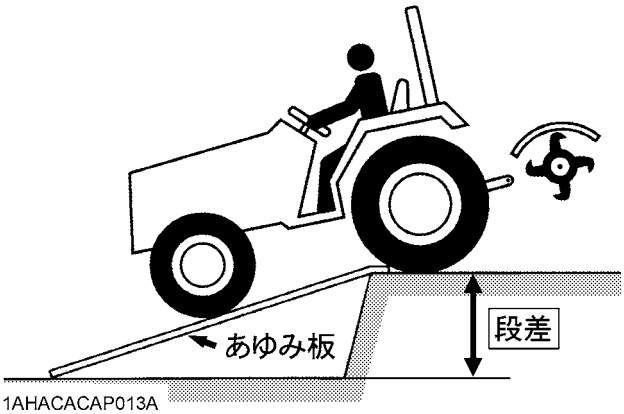
1AHACACAP011A

6. 傾斜地やあぜを登るときは，転倒防止のためロータリを下げて前輪の浮上がりを防いでください。


1AHACACAP012A

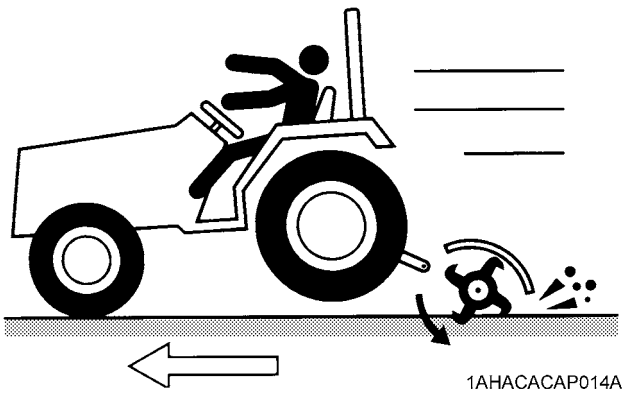
7. ほ場の出入りなどで，高低差の大きい急傾斜の登り降りや溝越えが必要な場合，あゆみ板を使用し，確実に固定してから低速で行なってください。

＊ あゆみ板は段差の４倍以上の長さのものを使用してください。



1AHACACAP013A

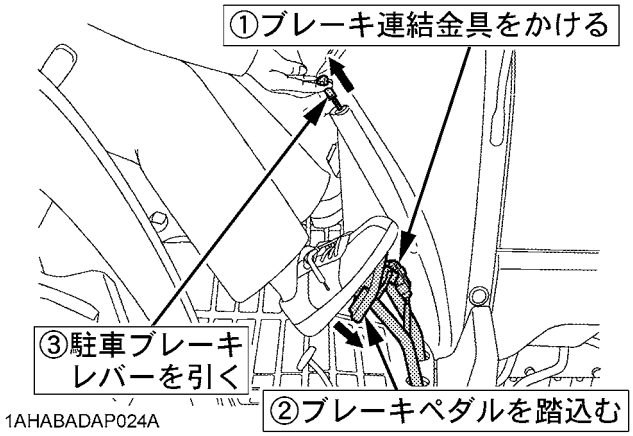
8. 耕うん中，硬いほ場でトラクタが前に飛出した場合，すぐクラッチを切りブレーキを踏んでください。次により遅い車速に変速し，爪軸回転を上げて飛出しが起こらないように作業してください。
   ２輪駆動，４輪駆動の切換え可能なトラクタは，４輪駆動にしてください。



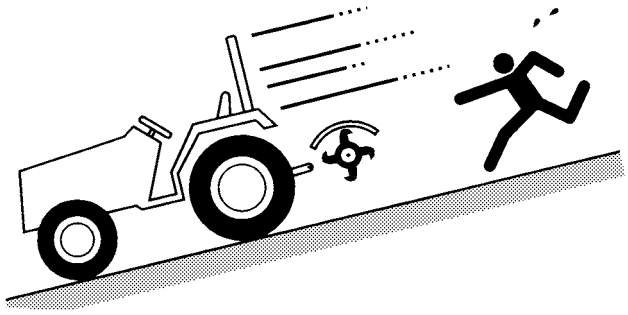
9. ロータリをトラクタに装着して公道を走行できません。（道路運送車両法の保安基準）

格納時

1. トラクタを平たんな場所に置いてください。
2. ロータリを下げ，地面に接地させてください。ロータリが落下するおそれがあります。
3. 駐車ブレーキを掛け，エンジンを停止してください。
   トラクタが動き出すおそれがあります。
4. ロータリに寄りかかったり，乗ったりしないでください。
   ロータリが転倒するおそれがあります。



1AHABADAP024A


1AHACACAP015A

廃棄物の処理について

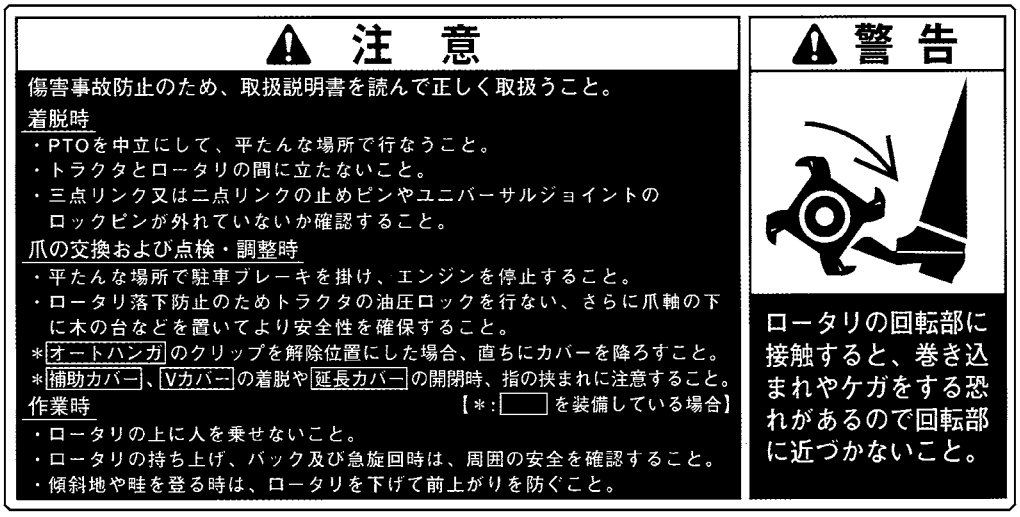
1. 廃棄物をみだりに捨てたり，焼却すると，環境汚染につながり，法令により処罰されることがあります。

＊ 機械から廃液を抜く場合は，容器に受けてください。
＊ 地面へのたれ流しや河川，湖沼，海洋への投棄はしないでください。
＊ 廃油，ゴム類，その他の有害物を廃棄，又は焼却するときは，購入先，又は産業廃棄物処理業者等に相談して，所定の規則に従って処理してください。

1BJABAAAP018B

表示ラベルと貼付け位置

(1)品番　7C705-5646-5



1AHAAACAP143A

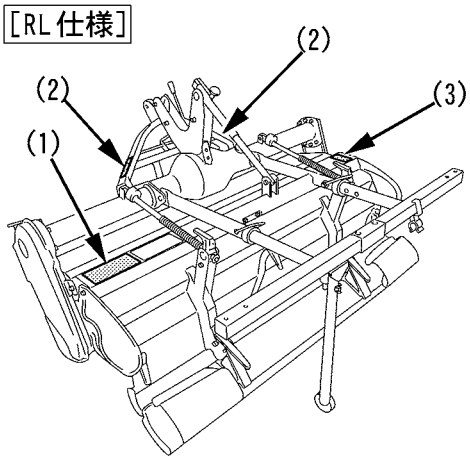
(2)品番　7C705-5881-1

1AHACACAP018A

(3)品番　7F712-5613-1

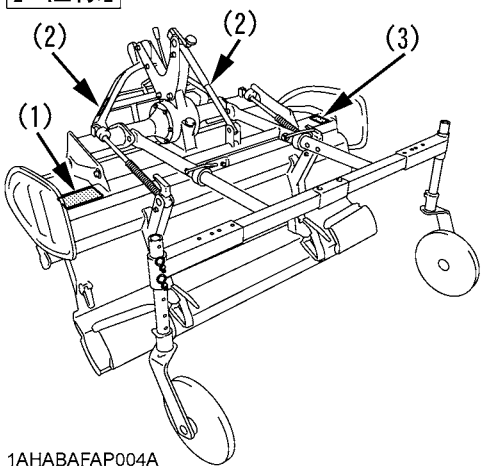
1AHACACAP019C

[RL仕様]



1AHABAFAP003A

[R仕様]



1AHABAFAP004A

表示ラベルの手入れ

1. ラベルは，いつもきれいにして傷つけないようにしてください。
   もしラベルが汚れている場合は，石鹸水で洗い，やわらかい布で拭いてください。
2. 高圧洗浄機で洗車すると，高圧水によりラベルが剥がれるおそれがあります。高圧水を直接ラベルにかけないでください。
3. 破損や紛失したラベルは，製品購入先に注文し，新しいラベルに貼替えてください。
4. 新しいラベルを貼る場合は，貼付け面の汚れを完全に拭取り，乾いた後，元の位置に貼ってください。
5. ラベルが貼付けられている部品を新部品と交換するときは，ラベルも同時に交換してください。

サービスと保証について

この製品には，保証書が添付してありますのでご使用前によくご覧ください。

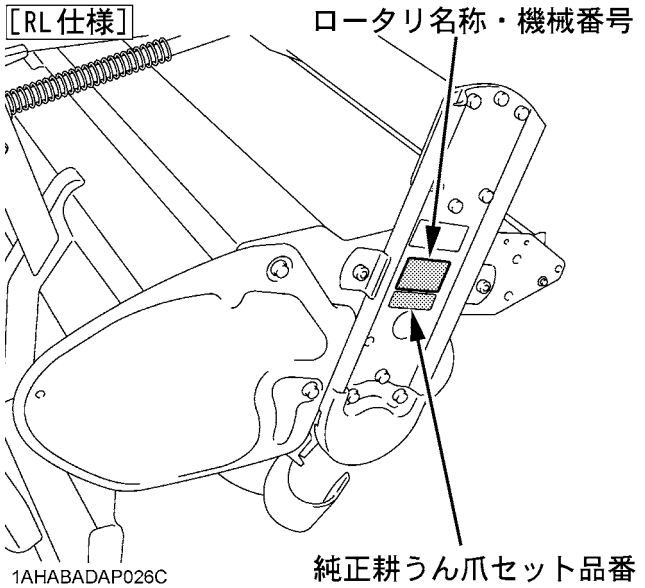
◆ ご相談窓口

ご使用中の故障やご不審な点及びサービスについてのご用命は，お買上げいただいた購入先にそれぞれ**［ご相談窓口］**を設けておりますので，お気軽にご相談ください。
その際，ロータリ名称と機械番号を併せてご連絡ください。
なお，部品をご注文の際は，購入先に純正部品表を準備しておりますので，そちらでご相談ください。

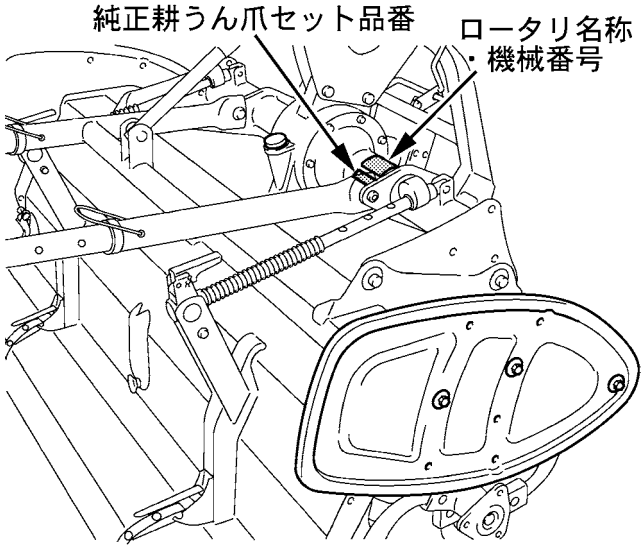
警　告

＊ 危険ですので，機械の改造はしないでください。改造した場合や取扱説明書に述べられた正しい使用目的と異なる場合は，メーカ保証の対象外になるのでご注意ください。

［RL仕様］



［R仕様］



◆ 補修用部品の供給年限について

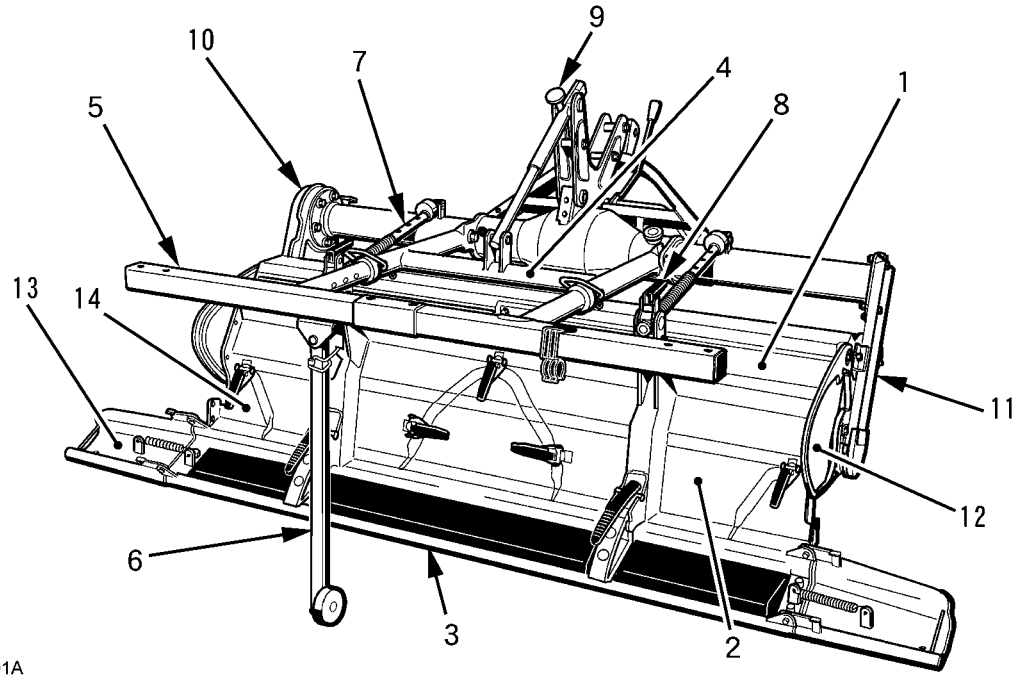
この製品の補修用部品の供給年限（期限）は製造打ち切り後 12 年といたします。
ただし，供給年限内であっても特殊部品につきましては，納期等についてご相談させていただく場合もあります。
補修用部品の供給は原則的に上記の供給年限で終了致しますが，供給年限経過後であっても部品供給のご要請があった場合には，納期及び価格についてご相談させていただきます。

補　足

＊ 純正耕うん爪セット品番をロータリ名称・機械番号を記したラベルの下に記載しております。
部品交換の際にご活用ください。

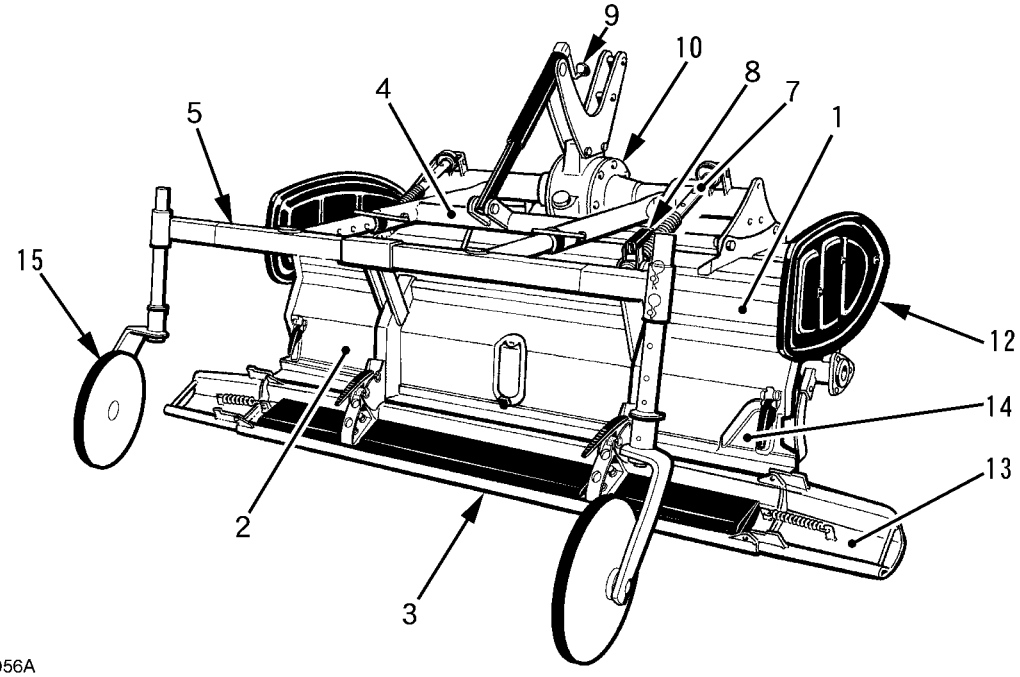
各部の名称

［RL 仕様］



1AHABAFAP001A

［R 仕様］



1AHABAFAP056A

（1） ロータリカバー１
（2） ロータリカバー２
（3） フラップカバー
（4） 後２輪ホルダ１
（5） 後２輪ホルダ２
（6） リヤスタンド
（7） ロッド
（8） オートハンガ
（9） 後２輪ハンドル
(10) チェーンケース
(11) サイドフレーム（RL 仕様）
(12) サイドカバー
(13) 延長カバー
(14) 補助カバー
(15) 後２輪

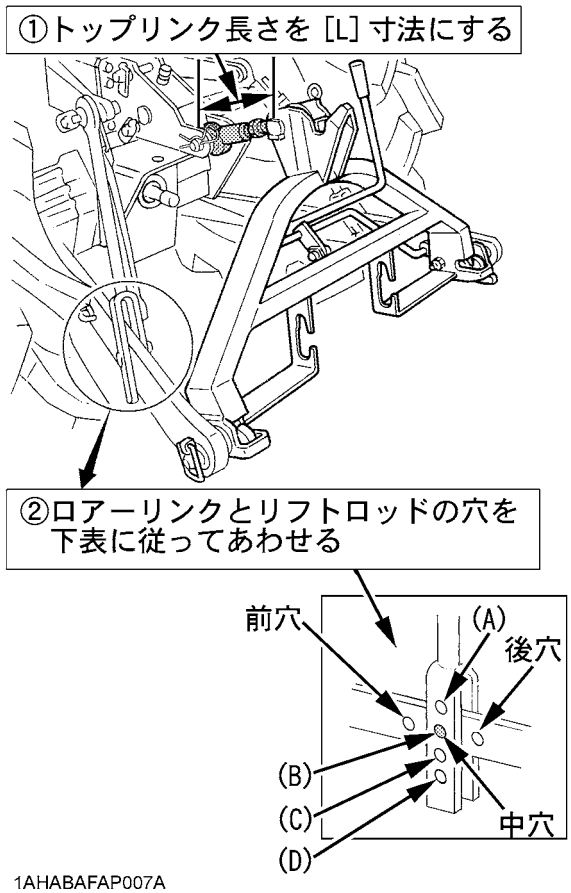
ロータリの着脱のしかた

取付け前の準備

注　意

- **＊ 補助ユニットの種類，トップリンク長さ，ロアーリンク穴位置，リフトロッド穴位置を間違うと，ジョイント抜けやトップリンクの破損等による傷害事故のおそれがあります。**
- **＊ 前部ウエイトの指示がある場合，トラクタに必ず取付けてください。**
  トラクタの前輪が浮上がり事故の原因になります。

1. 補助ユニット（トップリンクサポート，トップリンクなど）が，装着されているかを確認してください。装着されていないときは，**[トップリンクサポートの取付け]**の項を参照の上，装着してください。
2. 装着するトラクタにより，補助ユニットの種類及びトップリンク長さが異なりますので，以下の図と表又はトップリンクサポートに貼付けてあるラベルを確認の上，点検・調整してください。



■ロータリの取付け方法と適応型式

下表は一般的な組合わせを示しています。表に記載されていないトラクタの派生機種については，トラクタ側の取扱説明書に記載している場合があります。

トラクタ型式		KT215(J)	KT235	KT235J KT255 T245D	KT255J KT285(J) KT305K T265D	KT215PC KT235PC KT255PC KT285PC T245DPC T265DPC	KT215HN KT285HN
ロータリ型式		RL145T			—		RL155TH RL165TH RL175TH R155TH
		RL155T，RL165T					
		—	RL175T				
		R155T					
補助ユニット	スーパージョイント付	UKT215Q-8RF		UKT235JQ-8RF	UKT255JQ-8RF		—
	スーパージョイント無	UKT215-8RF		UKT235J-8RF	UKT255J-8RF		UKT215H-8RF
トップリンク長さ**【L】**寸法（mm）		235		225	220		330
リフトロッド左，右の取付穴		(B)					(B)
ロアーリンク取付穴		中穴					前穴

◎トップリンク長さ**【L】**寸法は装着時の目安とし，異音（ガラガラ音）が出る場合は±５㎜の範囲で調節してください。

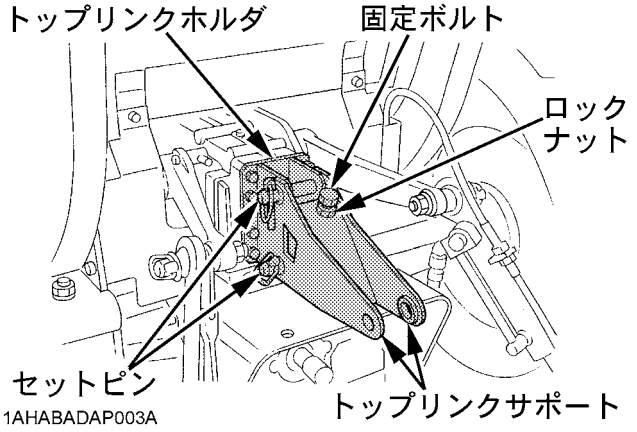
トップリンクサポートの取付け(補助ユニット関連部品)

■取付け方

1. トップリンクホルダの上及び下穴に，トップリンクサポートを合せ，セットピンで取付けます。

補　足

＊ セットピンを取付けるときは，必ず固定ボルトをゆるめてから行なってください。



2. トップリンクサポートを取付けたのち，必ず固定ボルトは確実に締付けて，ロックナットでロックしてください。

■取外し方

取付け順序の逆に行なってください。

トラクタへの装着

注　意

＊ ロータリの取付け・取外しは，PTO を中立にし平たんな場所で行なってください。
＊ トラクタとロータリの間には立たないでください。はさまれるおそれがあります。

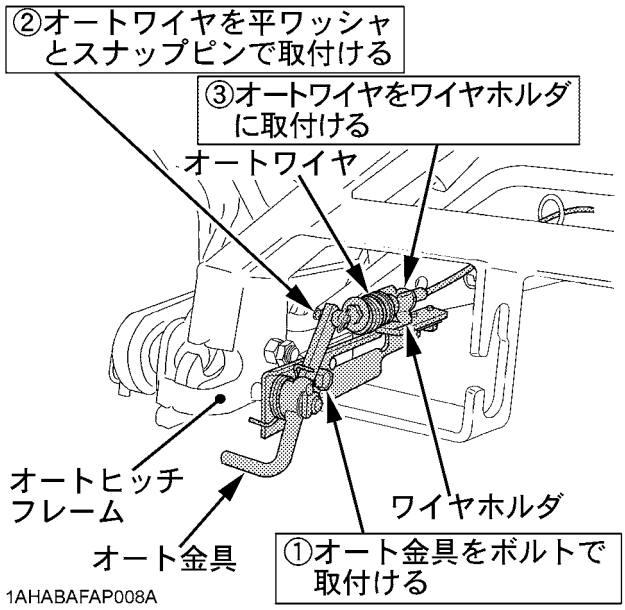
重　要

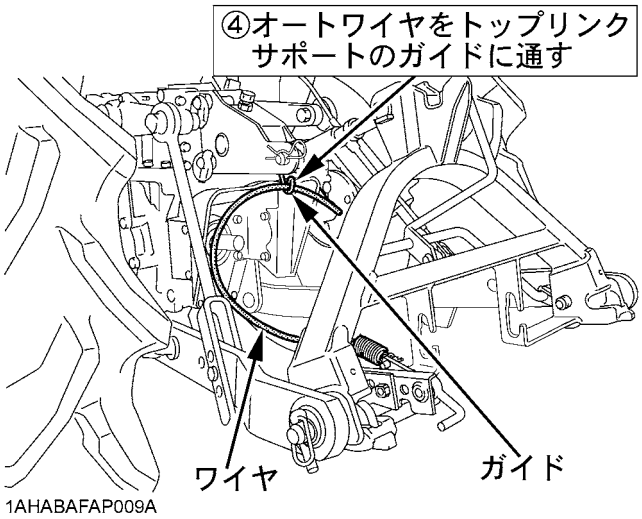
＊ 安全カバー回転止め鎖で，ユニバーサルジョイントを吊らないでください。

■装着前の準備

◆ オート金具の取付け
[トラクタがオート仕様の場合]

1. オート金具をボルトでオートヒッチフレームに取付けます。
2. オート金具にオートワイヤを平ワッシャとスナップピンで取付けます。
3. オートワイヤをワイヤホルダに取付けます。
4. オートワイヤをトップリンクサポートのガイドに通します。



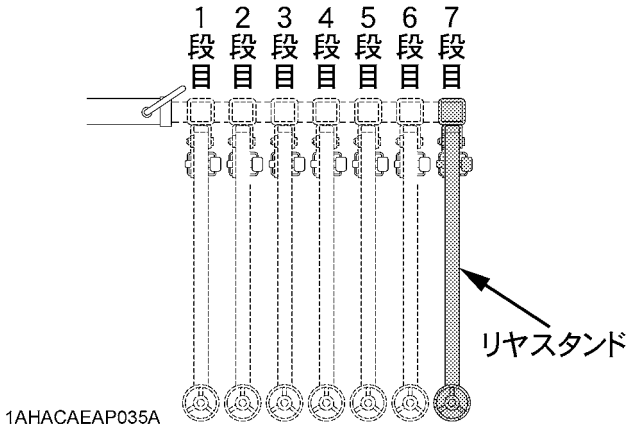


■ロータリ着脱姿勢の調整

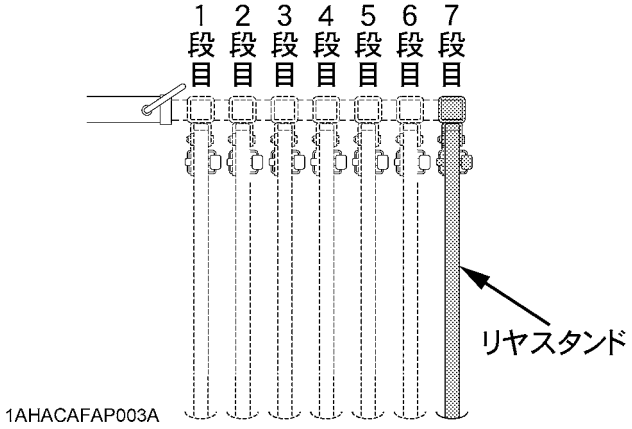
◆ スタンド仕様の場合

1. リヤスタンドの前後方向の位置は 7 段目にセットしてください。

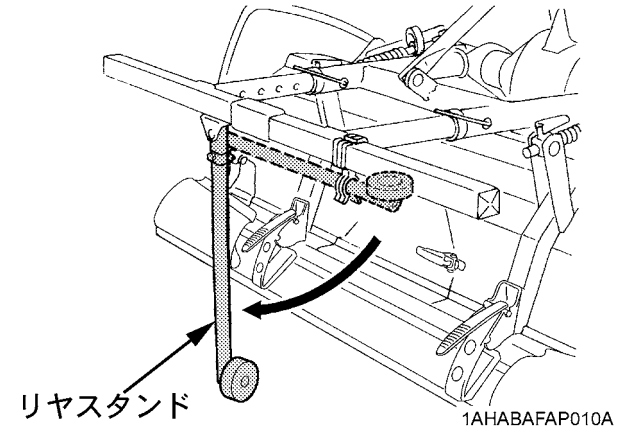
[前後位置]



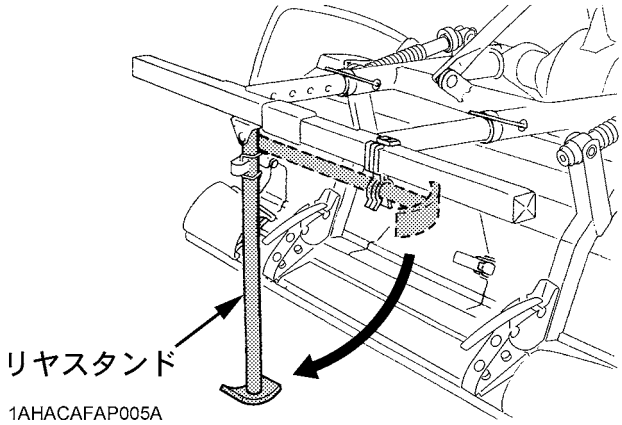
(ES 仕様)



2. リヤスタンドを下げ位置にセットしてください。



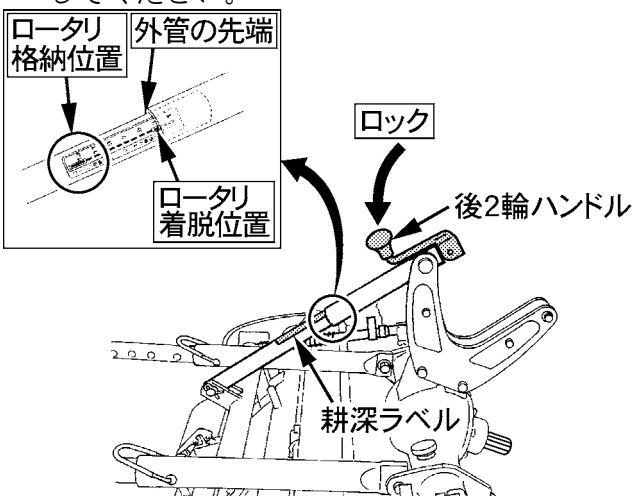
(ES 仕様)



3. ロータリの後２輪ハンドルを回し，外管の先端を内管に貼ってあるラベルの**［ロータリ着脱位置］**の範囲にあわせてください。

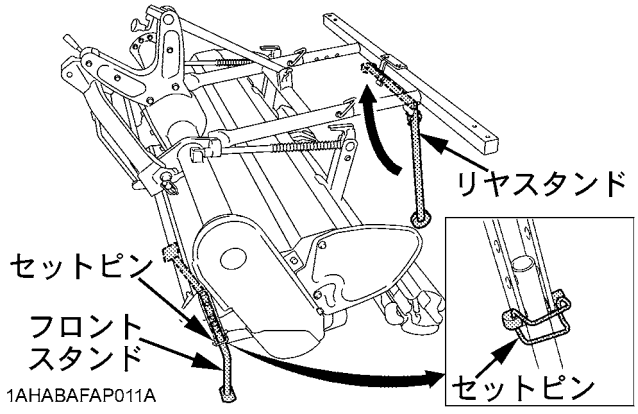
重　要

＊ 後２輪ハンドルは操作後，図の位置にセットしてください。



1AHACAEAP006A

＊ ロータリの着脱は，フラップカバーを装着して行なってください。
＊ ロータリ単体で保管する場合は，フロントスタンドを下げ位置にセットしてください。
＊ 耕うん時は，リヤスタンドは折たたみ，フロントスタンドは上方へ反転し，セットピンで固定してください。

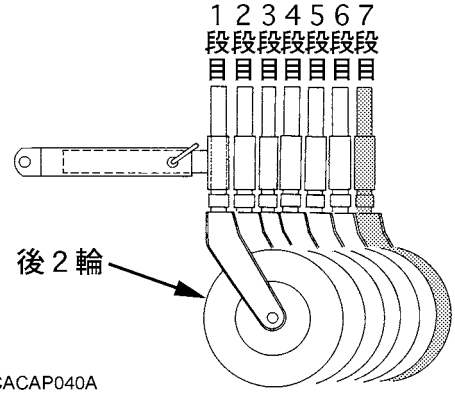


1AHABAFAP011A

◆ 後２輪仕様の場合

1. 後２輪の前後方向の位置は７段目にセットしてください。

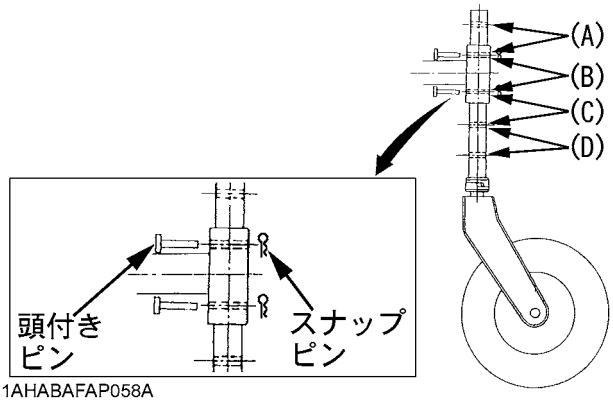
［前後位置］



1AHACACAP040A

［上下位置］

上下位置は（B）の位置にセットしてください。



1AHABAFAP058A

2. ロータリの後２輪ハンドルを回し，外管の先端を内管に貼ってあるラベルの，**［ロータリ脱着位置］**の範囲にあわせてください。

■取付け方

注　意

ロータリを取付けるときは，
＊ トラクタを平たんな広い場所に置きます。
＊ エンジンを止め，駐車ブレーキを掛けます。

1. ロアーリンクとリフトロッド取付け位置を確認してください。
もし，異なっている場合は**［取付け前の準備］**の項に従って取付けてください。

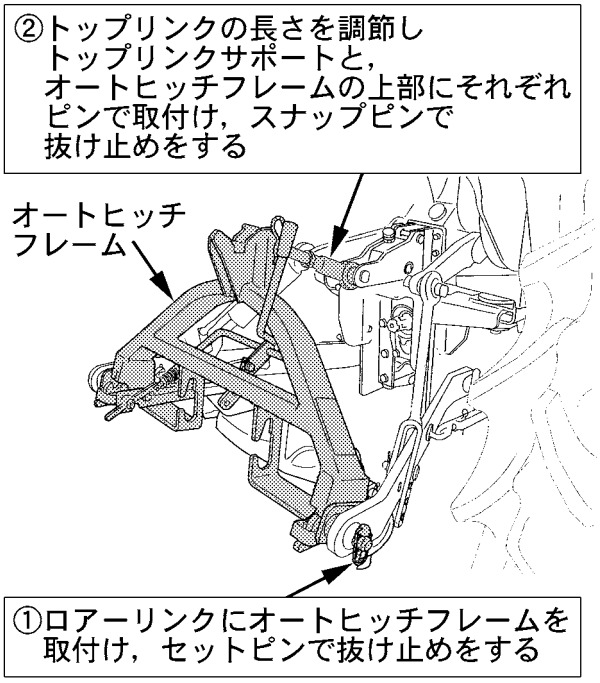
注　意

＊ ロアーリンクとリフトロッドの取付け穴位置を間違うと，ユニバーサルジョイントが破損し傷害事故を引起すおそれがありますので，取付け穴位置を再確認してください。

重　要

＊ トップリンクは径の太い方を必ずトラクタ側に取付けてください。

2. ロアーリンクにオートヒッチフレームを取付け，セットピンで抜け止めをしてください。
3. トップリンクの長さ**［L］**を調節し（**［取付け準備］**の**［ロータリの取付け方法と適応型式］**の項参照），トップリンクサポートと，オートヒッチフレームの上部にそれぞれピンで取付け，スナップピンで抜け止めをしてください。

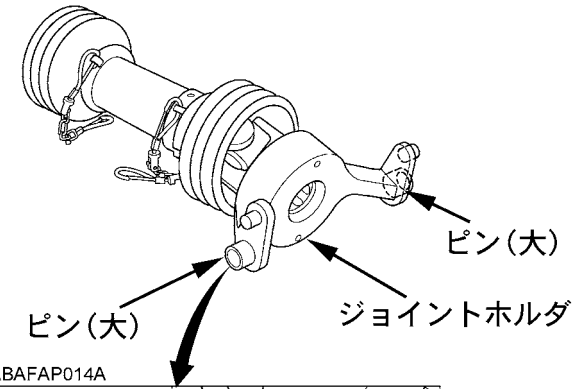


1AHABAFAP012A

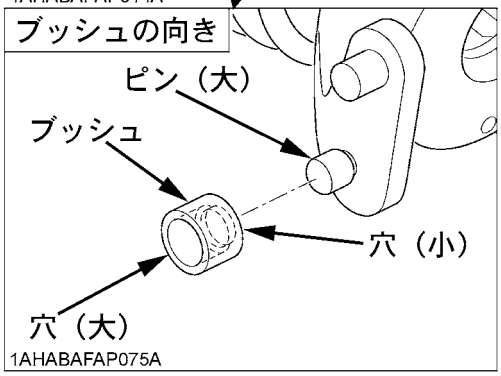
4. ジョイントを以下の要領で取付けてください。

［スーパージョイント付き］

(1) ジョイントホルダのピン(大)にブッシュが組付けられていることを確認してください。



1AHABAFAP014A

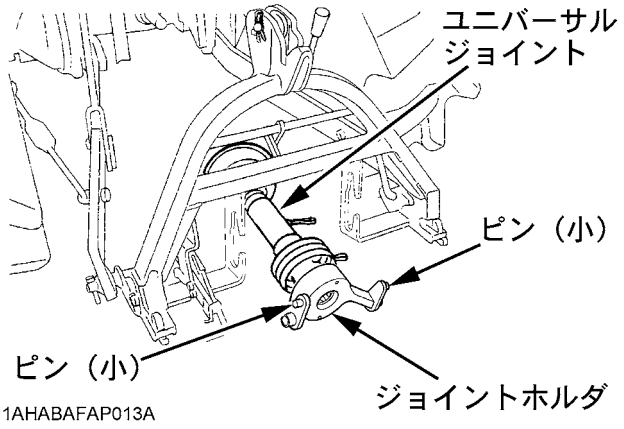


1AHABAFAP075A

重　要

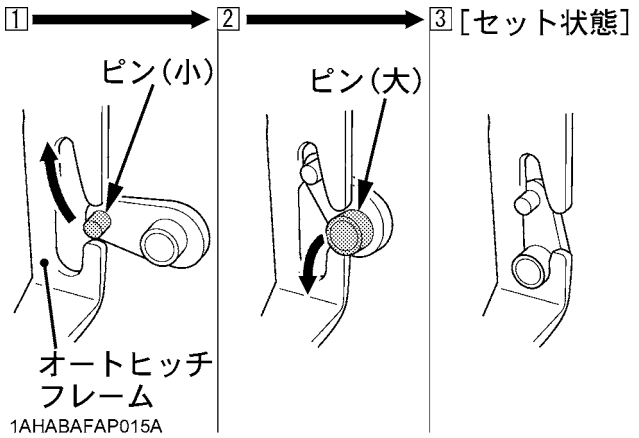
＊ ブッシュを組付ける際は，穴の小さい方を内側にして奥まで入れてください。

(2) ユニバーサルジョイントをオートヒッチフレームの下に置きます。
(ジョイントホルダがロータリ側，ピン（小）が上側)



1AHABAFAP013A

(3) ジョイントホルダの左右のピン（小）及びピン（大）をオートヒッチフレームの開口部にセットしてください。

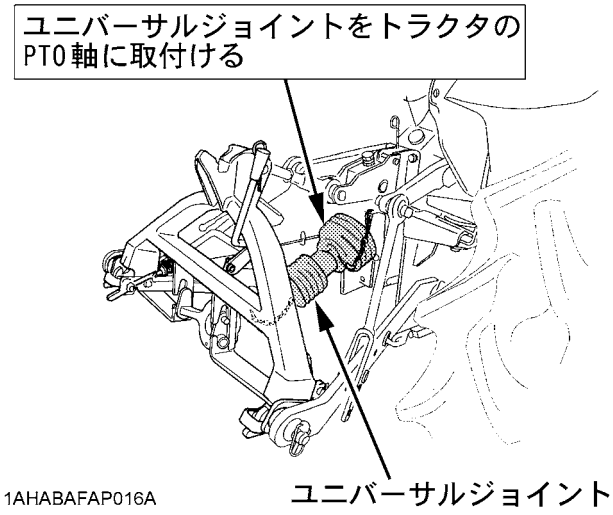


1AHABAFAP015A

重　要

＊ ジョイントホルダのピン（小）及びピン（大）が確実にセット状態にあるか確認してください。

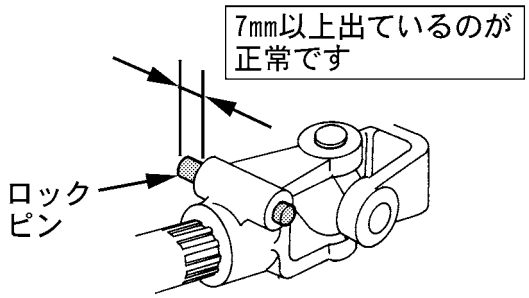
(4) ユニバーサルジョイントをトラクタのPTO軸に取付けてください。



1AHABAFAP016A

注　意

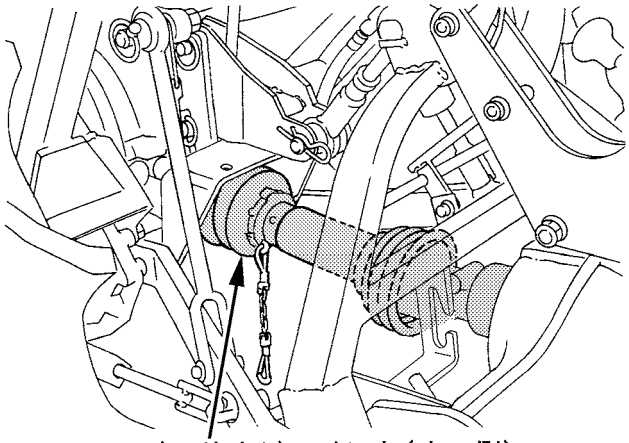
＊ ユニバーサルジョイントを確実にセットしないと，抜けるおそれがあります。ロックピンの頭が7 mm以上出ているか確認してください。



1AHACACAP053A

[スーパージョイント無し]

(1) ユニバーサルジョイントのオス側ロックピンを指で押えて，トラクタ PTO 軸の横溝を越すまで差込んでください。
(2) 次にメス側をロータリの軸に差込んで，ロックピンでロックしてください。
(3) PTO 軸側を手前に引き，ロックピンを溝に確実に入れてください。



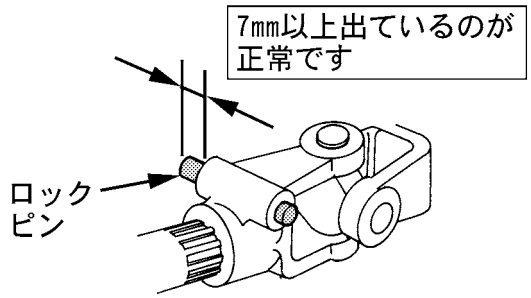
1AHABAFAP038A

重　要

＊ ユニバーサルジョイントの取付けは，必ずオス側をトラクタ側に，メス側をロータリ側に，取付けてください。

注　意

＊ ユニバーサルジョイントを確実にセットしないと，抜けるおそれがあります。ロックピンの頭が 7 mm 以上出ているか確認してください。

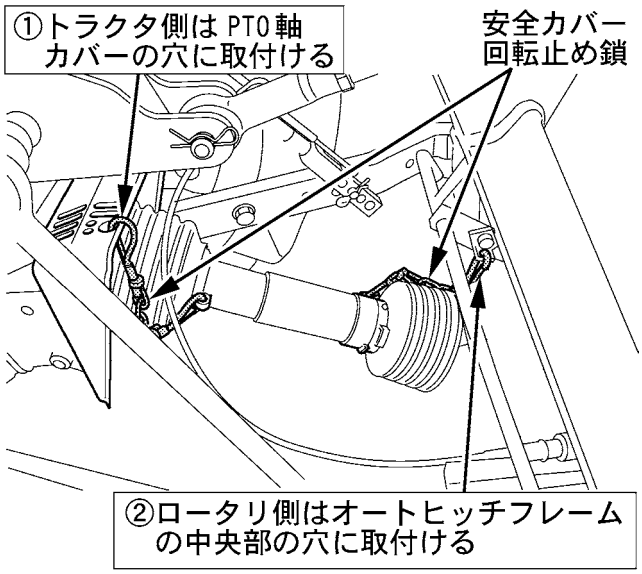


1AHACACAP053A

5. ユニバーサルジョイントの安全カバー回転止め鎖を，トラクタ側は PTO 軸カバーの穴に，ロータリ側はオートヒッチフレームの中央部の穴に，取付けてください。

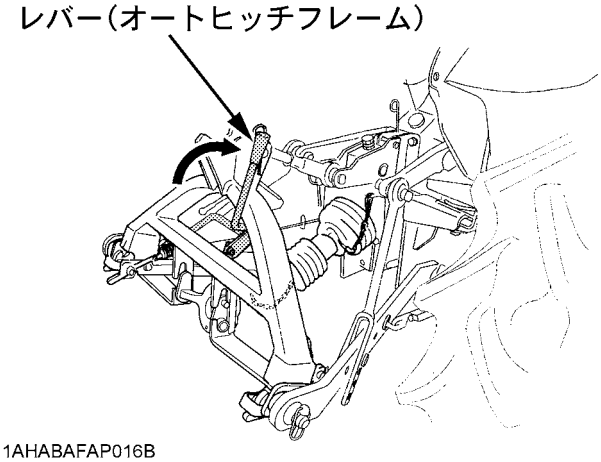
重　要

＊ 安全カバー回転止め鎖で，ユニバーサルジョイントを吊らないでください。



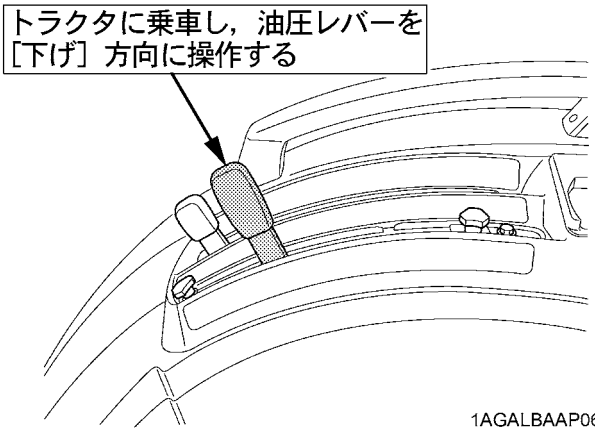
1AHABAFAP059A

6. ロータリの着脱姿勢を確認してください。(**[トラクタへの装着]** の **[ロータリ着脱姿勢の調整]** の項を参照)
7. フラップカバーを装着しロータリカバー２を最下げの位置にセットしてください。(**[オートハンガの調整]** の項を参照)
8. オートヒッチフレームのレバーを下図の位置にセットしてください。

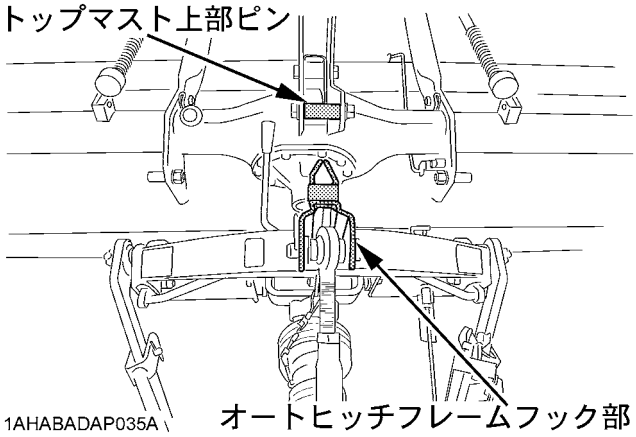


1AHABAFAP016B

9. トラクタに乗車して，油圧レバーを**［下げ］**方向に操作し，オートヒッチフレームを降ろしてください。



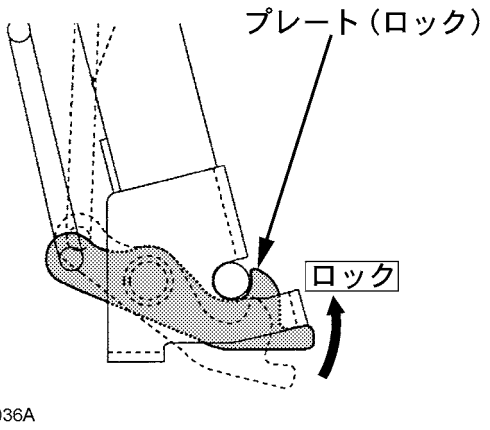
10. オートヒッチフレームのフック部先端が，トップマスト上部ピンのやや下にくるように，油圧レバーを操作しながらゆっくりバックしてください。
11. 油圧レバーをゆっくり**［上げ］**方向に操作し，オートヒッチフレームのフック部がトップマスト上部ピンに確実に引掛ったことを確認してから，ゆっくりとロータリを吊上げてください。



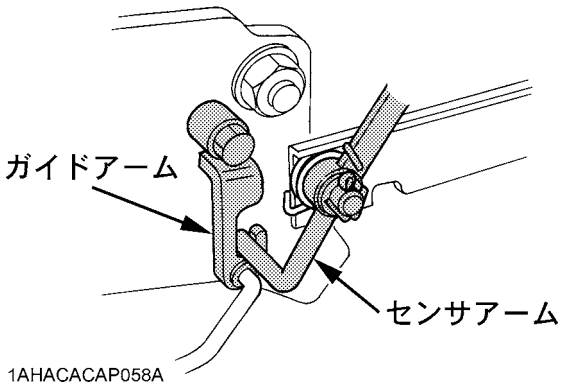
12. オートヒッチフレームでロータリを吊上げると，ロータリは自動的にオートヒッチフレームに**［ロック］**されます。

注　意

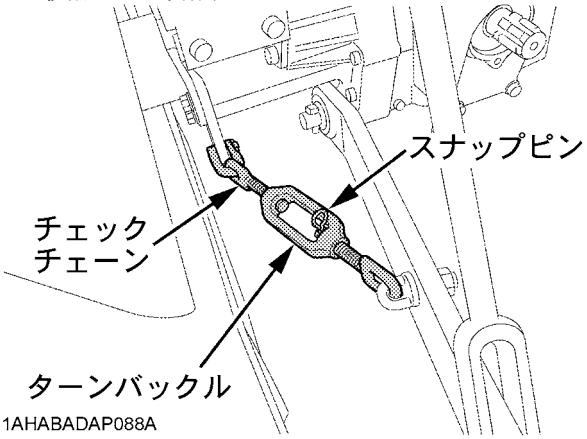
＊ オートヒッチフレームの左右のプレートが確実にロック状態にあるか，確認してください。
ロックしていないと，ロータリが脱落するおそれがあります。



13. オート金具のセンサアームがガイドアームに確実にセットされているか確認してください。



14. チェックチェーンを張ってください。
エンジンを止め駐車ブレーキをかけてから，ユニバーサルジョイントが上から見て一直線になるように，チェックチェーンを左右均等に保ち（ロータリが横方向に１～２ cm 動く程度），スナップピンでロックして，ロータリの横振れを制限してください。



1AHABADAP088A

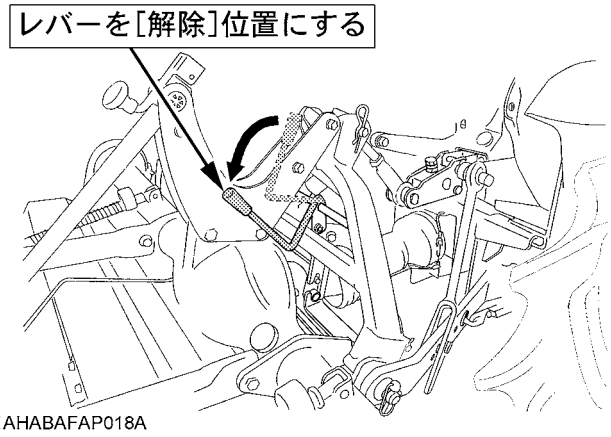
15. ロータリを持上げてエンジンを止め，駐車ブレーキをかけてから PTO 変速レバーを**［中立］**にして，ユニバーサルジョイントが手で軽く回るかを，確認してください。

ロータリの取外し方

注　意

傷害事故の防止のため，ロータリ取外し時は次のことを守ってください。
＊ PTO を中立にし，平たんな場所で行なう。
＊ ロータリの着脱時は，必ず後２輪又はスタンド及びフラップカバーを取付ける。
＊ ロータリに寄りかかったり，乗ったりしない。

1. ロータリカバー２を最下げの位置にセットしてください。（**［オートハンガの調整］**の項を参照）
2. ロータリの着脱姿勢を確認してください。（**［トラクタへの装着］**の**［ロータリ着脱姿勢の調整］**の項を参照）
3. 必ずロータリを地面より上げた状態にしてレバーを解除の位置にしてください。



1AHABAFAP018A

4. ロータリをゆっくり下げ，ロータリとオートヒッチフレームを切離します。

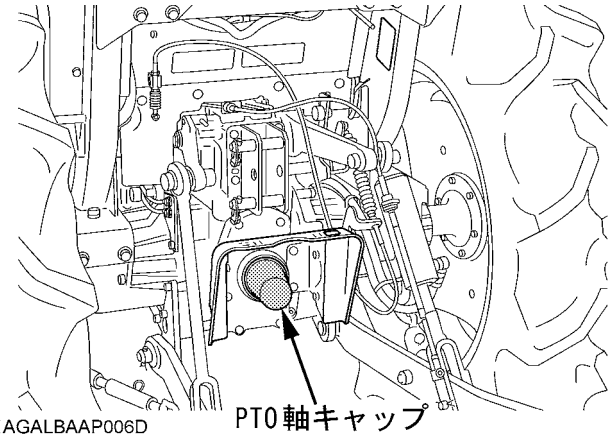
ロータリの着脱のしかた

ロータリの保管と移動

注　意

傷害事故防止のため，ロータリ単体で移動させる場合，次のことを守ってください。

- **＊ 後２輪ハンドルを操作し，［ロータリ格納位置］にする。**
- **＊ スタンド仕様の場合，フロントスタンドとリヤスタンドを下げ，リヤスタンドは下げ位置でのロック状態を確認する。**
- **＊ ロータリ単体での移動は，平たんで硬い地面上で行なう。**
- **＊ オートヒッチフレームからロータリを外した状態で，PTO 軸を回転させないでください。**
- **＊ PTO 軸を使わない場合は，PTO 軸キャップを取付けてください。**



1AGALBAAP006D

補　足

＊ 長期間保管するときや洗車後は，錆付き防止のため必ず一度ロータリを取外し，ユニバーサルジョイント側ジョイントスプライン部とロータリ側入力軸に，グリースを塗布してください。

＊ ロータリ単体での移動は，オートハンガを使ってロータリカバー２もしくはフラップカバーの後端を地面より少し浮かして行なうと移動しやすくなります。オート仕様トラクタに装着するときはロータリカバー２を最下げにしてください。

ロータリの上手な使い方

警 告

＊ ロータリのユニバーサルジョイントや耕うん爪に接触すると，巻込まれなどの死傷事故のおそれがあります。回転中は近づかないでください。
＊ 必ず座席に座って，ロータリ作業を行なってください。作業中，トラクタからの飛降り，飛乗りは重大事故につながります。
＊ ロータリの上に人を乗せたり，運転者以外の人をトラクタに乗せたりしないでください。転落，巻込まれなど，重大事故の原因になります。

注 意

＊ ユニバーサルジョイントの安全カバーを外したままで使用しないでください。傷害事故を引起こすおそれがあります。

適応作業速度

作業目的と耕作地の条件にあわせて，車速と PTO 変速を決めてください。次表は，作業のめやすとして参照してください。

[マニュアルシフト仕様トラクタ]（タイヤ仕様）

<table>
<tr><td colspan="5">変速レバー位置と作業</td></tr>
<tr><td rowspan="2">副変速</td><td rowspan="2">主変速</td><td colspan="3">PTO 変速</td></tr>
<tr><td>1段</td><td>2段</td><td>3段</td></tr>
<tr><td rowspan="2">クリープ C</td><td>1・2</td><td colspan="3">超細土耕うん</td></tr>
<tr><td>3</td><td colspan="2" rowspan="2">強粘度
（荒耕し耕うん，畝立て）</td><td rowspan="2">超細土耕うん</td></tr>
<tr><td rowspan="2">低</td><td>1</td></tr>
<tr><td>2・3</td><td>水田・畑作
（荒耕し，畝立て）</td><td>水田・畑作
（細土耕うん，畝立て）</td></tr>
<tr><td>中</td><td>1・2</td><td colspan="3">代かき</td></tr>
</table>

[マニュアルシフト仕様トラクタ]（パワクロ仕様）

<table>
<tr><td colspan="5">変速レバー位置と作業</td></tr>
<tr><td rowspan="2">副変速</td><td rowspan="2">主変速</td><td colspan="3">PTO 変速</td></tr>
<tr><td>1段</td><td>2段</td><td>3段</td></tr>
<tr><td>クリープ C</td><td>1～3</td><td colspan="3">超細土耕うん</td></tr>
<tr><td rowspan="2">低</td><td>1・2</td><td colspan="2">強粘度
（荒耕し耕うん，畝立て）</td><td>超細土耕うん</td></tr>
<tr><td>3</td><td colspan="2" rowspan="2">水田・畑作
（荒耕し，畝立て）</td><td rowspan="2">水田・畑作
（細土耕うん，畝立て）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">中</td><td>1</td></tr>
<tr><td>2・3</td><td colspan="3">代かき</td></tr>
</table>

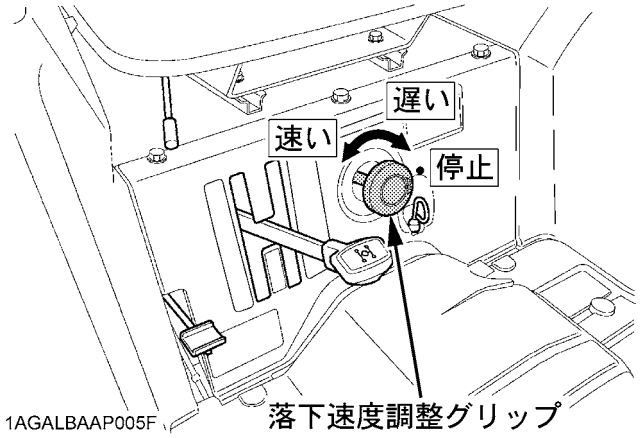
ロータリの上手な使い方

［グライドシフト（F）仕様トラクタ］（タイヤ仕様･パワクロ仕様）

<table>
<tr><td colspan="5">変速レバー位置と作業</td></tr>
<tr><td rowspan="2">副変速</td><td rowspan="2">主変速</td><td colspan="3">PTO 変速</td></tr>
<tr><td>１段</td><td>２段</td><td>３段</td></tr>
<tr><td rowspan="4">低</td><td>３以下</td><td colspan="3">超細土耕うん</td></tr>
<tr><td>３～４</td><td colspan="2">強粘度
（荒耕し耕うん，畝立て）</td><td>超細土耕うん</td></tr>
<tr><td>５～７</td><td colspan="2">水田・畑作
（荒耕し，畝立て）</td><td>水田・畑作
（細土耕うん，畝立て）</td></tr>
<tr><td>８</td><td colspan="3" rowspan="2">代かき</td></tr>
<tr><td>中</td><td>４～５</td></tr>
</table>

■ロータリ落下速度の調整

トラクタ側の落下速度調整グリップでロータリ落下速度が調整できます。



［速い］方向に回す：
油圧回路が開き，作業機の落下速度が早くなります。

［遅い］方向に回す：
油圧回路が閉じ，作業機の落下速度が遅くなります。

［停止］ 方向に軽く締込むと，油圧がロック（停止）します。

ロータリの落下速度は，上昇位置から接地するまで２～３秒が適当です。
特にオート耕うん時，落下速度が速すぎると滑らかな耕うんができない場合があります。

重　要

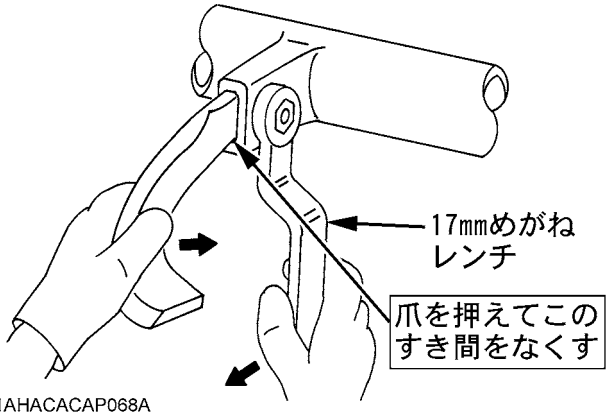
＊ グリップは軽く回すだけで油圧がロックされますから無理に回さないでください。

なた爪の取付け方

注　意

傷害事故の防止のため，爪の交換及び増締めをする場合，次のことを守ってください。
＊ トラクタを平たんな広い場所に置く。
＊ エンジンを止め，駐車ブレーキを掛ける。
＊ ロータリの落下防止のため，落下速度調整グリップを右いっぱい回して締込む。
＊ 爪軸の下に木の台などをし，より安全性を確保する。
＊ ボルト・ナットを締付ける場合は，めがねレンチが確実に入ったか確認する。

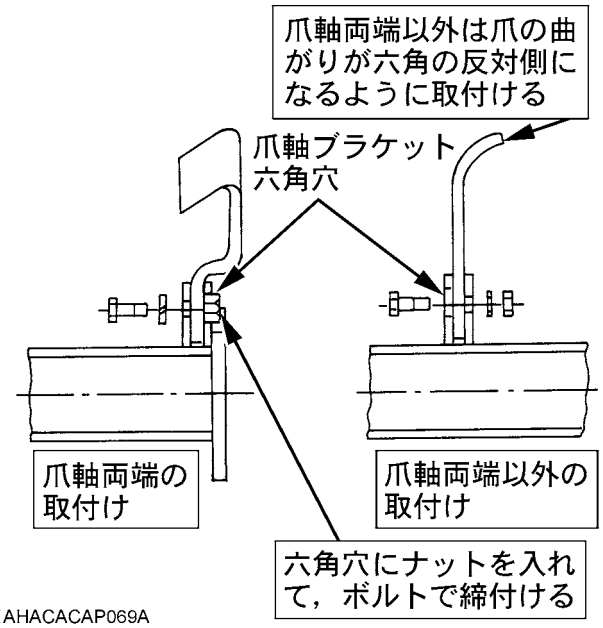
なた爪の着脱はオートハンガを利用して，ロータリカバー２を持上げロックすると便利です。（**［オートハンガの調整］**の項を参照）



■ RL 仕様（サイドドライブロータリ）

◆ 爪軸

ボルトは六角穴側よりボルトを入れ，反対側よりバネ座金を入れ，ナットで締付けてください。



1AHACACAP069A

補　足

＊ 爪軸両端に取付ける増幅爪（左右各１本）は，大きい爪ブラケットに取付けてください。

＊ めがねレンチで力いっぱい締付けてください。
[締付けトルク
78.4 ～ 88.2 N・m (8.0 ～ 9.0 kgf・m)]

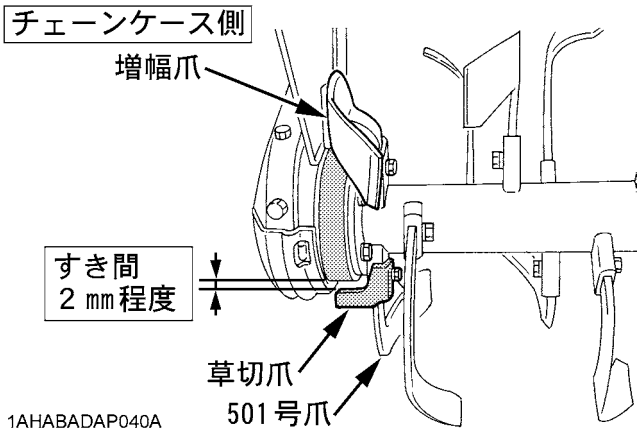
＊ 爪を抜いて作業すると爪のバランスが狂い，振動や騒音が出ることがありますので，ご注意ください。

＊ ナットを締付けるときは，トラクタ側の PTO 変速レバーを入れることにより，爪軸をロックすることができ，力を入れてナットを締付けることができます。

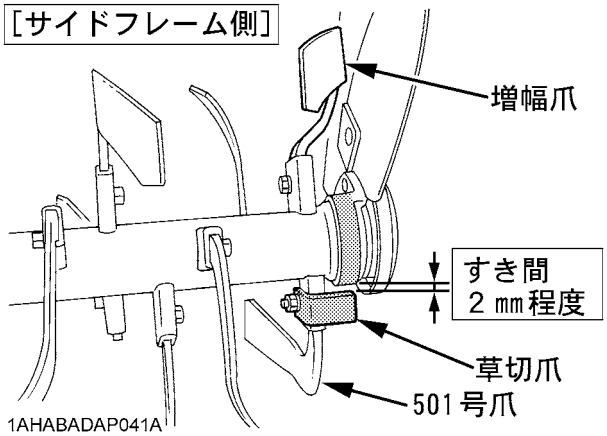
＊ なた爪，およびボルト，ナットは，クボタ純正部品を使用してください。

◆ 草切爪の取付け方（ES 仕様以外）

1. 両端の 501 号爪に，草切爪（R，L）をそれぞれ**黒色の爪取付けボルト**で共締めしてください。
2. 爪軸正転方向に対し，爪ブラケットの前に草切爪がくるようにチェーンケース側，サイドフレーム側に各１個取付けてください。
このとき，草切爪とケースとのすき間を２ mm 程度にしてください。



1AHABADAP040A



1AHABADAP041A

重　要

＊ 草切爪とケースのすき間が大きすぎると草切爪の効果は少なくなります。

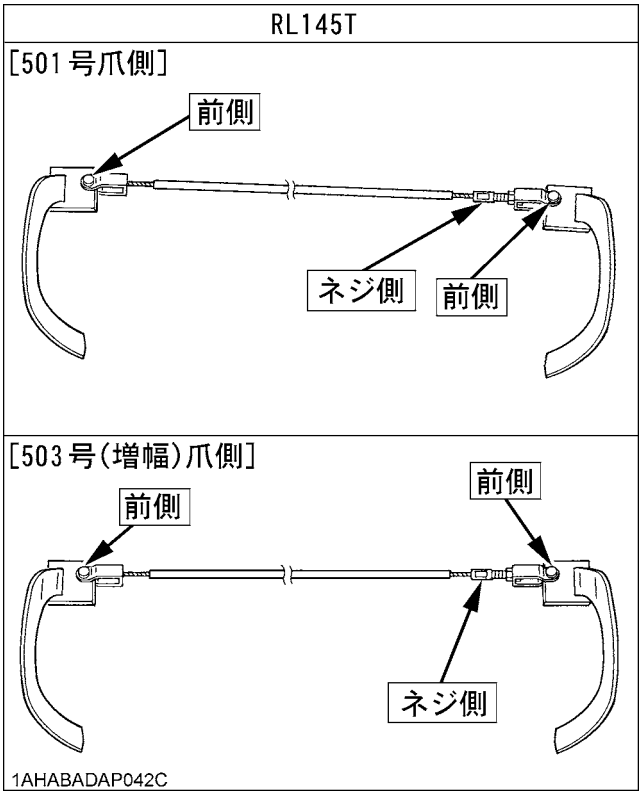
◆ つきま線（草巻付き防止ワイヤ）の取付け方

重　要

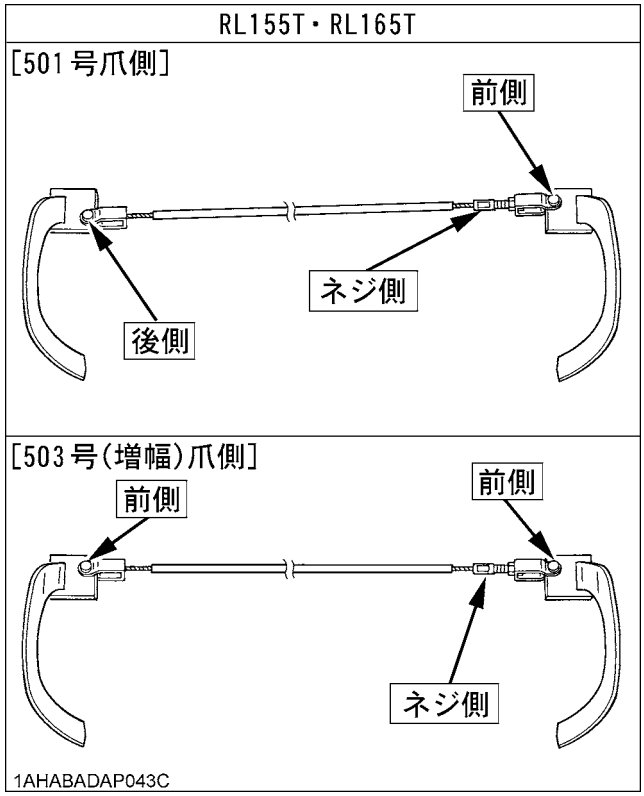
＊ 石の多いほ場では，つきま線の使用を控えてください。
＊ ワイヤが損傷した場合は，すみやかにワイヤを新品に交換してください。但し，被覆している樹脂が摩耗もしくは切損しても使用は可能です。
＊ なた爪，およびボルト，ナットは，クボタ純正部品を使用してください。
＊ 普通爪を使用する場合は，つきま線が脱落するので外してください。
＊ カマなどでワイヤを傷つけないでください。

1. 爪軸両端の爪（合計４本）を外してください。
2. 以下の図を参照して，ワイヤ両端のステーの四角穴にそれぞれの爪を差込んでください。２本のワイヤは，それぞれ爪を差込むステーが異なります。四角穴が小さい方に 501 号爪を，大きい方に 503 号（増幅）爪を差込んでください。
   またワイヤには左右の方向があり，以下の図のようにネジ側をサイドフレーム側に取付けてください。

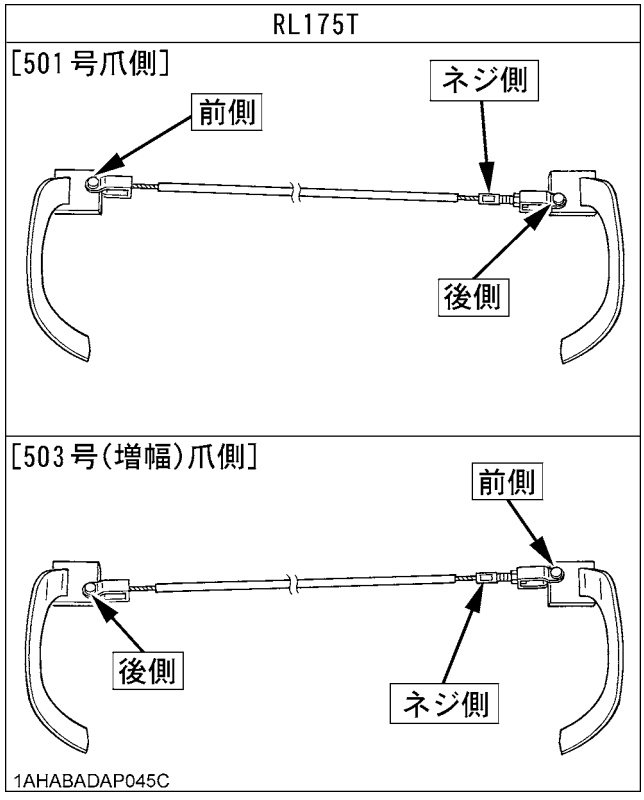
RL145T



RL155T・RL165T



RL175T



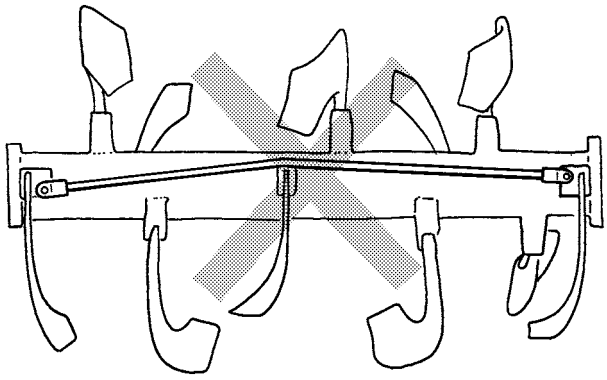
重　要

＊ ステーの取付け方向を間違うと，ワイヤが取付かなかったり，ワイヤを損傷することがあります。

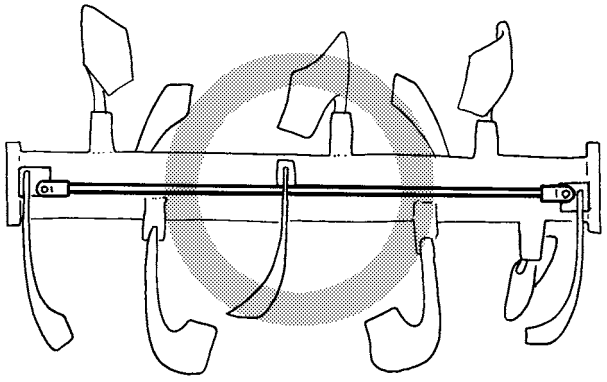
3. ステーを差し込んだ爪を，チェーンケース側の爪ブラケットに取付け，ワイヤが一直線になるようにして，もう一方の爪をサイドフレーム側の爪ブラケットに取付けます。
ES 仕様以外は，501 号爪に草切爪を取付けてください。（**［なた爪の取付け方］**の**［草切爪の取付け方］**の項を参照）

重　要

＊ ワイヤが爪やブラケットに強く干渉していないか確認してください。正しい位置に取付けられている場合，ワイヤは爪軸両端部に取付けたステーの丸穴を結びほぼ直線になります。もし，下図のように爪やブラケットに強く干渉したまま取付けますと，早期にワイヤを損傷するおそれがあります。



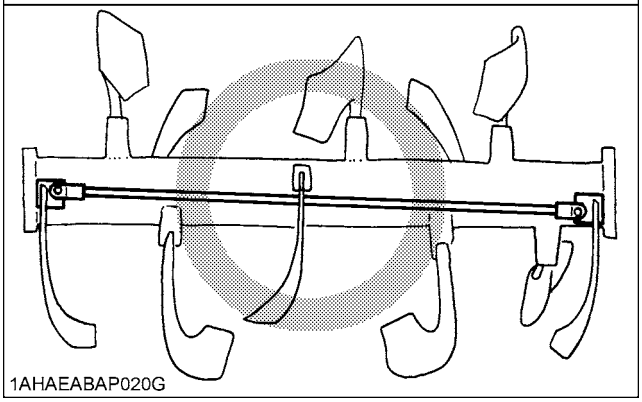
1AHACACAP074A



1AHACACAP075A

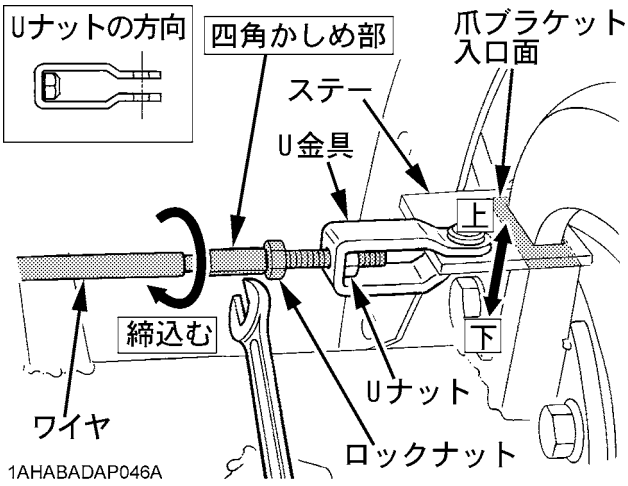
＊ RL175T の 501 号爪に取付けるワイヤを除き，ワイヤは爪軸にほぼ平行になります。

RL175Tの 501号爪側



1AHAEABAP020G

4. ４つのステーをつぎの位置にし，ワイヤを張ります。
501 号爪側→爪先端方向いっぱいにずらせた位置（矢印**（上）**方向）
503 号爪側→爪ブラケット入口面に接触する位置（矢印**（下）**方向）
ロックナットを四角かしめ部付近までゆるめ，ワイヤのネジの四角かしめ部を締込み，ワイヤのたわみ量を調整後，ロックナットで固定します。

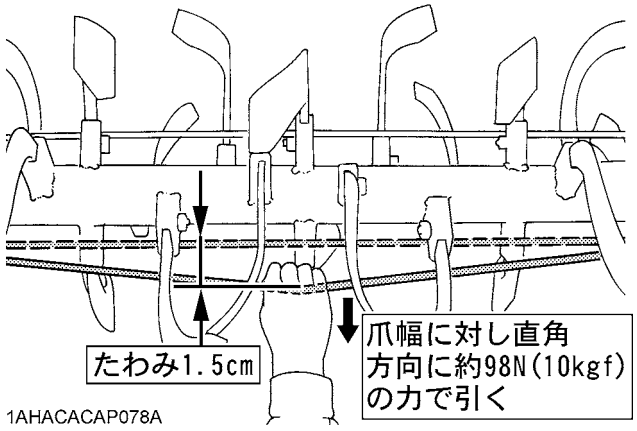


1AHABADAP046A

重　要

＊ ワイヤの調整はロックナットをゆるめてから行なってください。ロックした状態で増し締めをすると，破損するおそれがあります。
＊ ワイヤの調整は必ず5. の手順でたわみ量を確認しながら行なってください。
＊ ロックナットの締付トルクが 14.7 N・m (1.5 kgf・m (参考値)) をこえないようにしてください。

5. 爪軸の中央付近で，ワイヤを爪軸に対して直角方向に約 98 N(10 kgf) の力で引いたとき，ワイヤが元の位置から1.5 cmたわむ程度に調整してください。



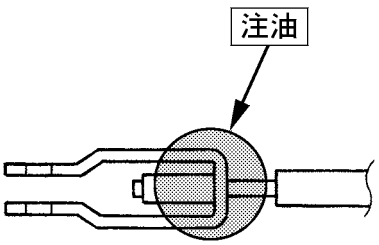
1AHACACAP078A

注　意

傷害事故防止のため，ワイヤの調整時は次のことを守ってください。
＊ ワイヤを引くときはゆっくり引き，ワイヤに体重をかけて引かないでください。

重　要

＊ 耕うん前にワイヤがゆるんでいないか確認してください。ゆるんでいる場合は，4，5 の手順でワイヤを調整してください。ゆるんだまま使用すると，つきま線の効果が少なくなり，ワイヤを損傷するおそれがあります。ワイヤを調整するときは，ネジ部に付着した土などを洗い流し，ネジ部に注油してから行なってください。
＊ ロータリ使用後，特に長時間使用しないときは図示箇所を洗浄後，注油してください。



1AHACACAP079A

補　足

＊ ワイヤを調整するとき，ある程度ワイヤが張ってくると，スパナで締めてもワイヤのネジがゆるむ（戻る）ことがあります。そのときは，ロックナットでロックしながら調整してください。

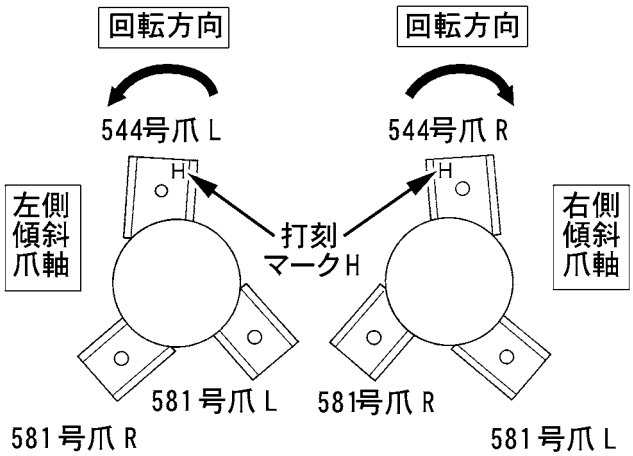
◆ つきま線の取外し方

取付け方の逆の手順で行なってください。
緩める方向には特に注意してください。

■ R 仕様（センタドライブロータリ）

◆ 傾斜爪軸

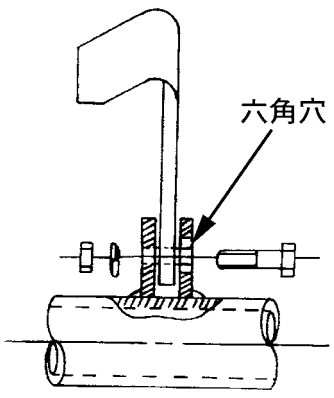
1. **[H]** の刻印のあるブラケットには，544 号爪を内向きに入れ，ボルト，ナットにより締付けてください。
2. 他のブラケットには，581 号爪を下図の向きに取付けてください。



1AHABADAP047A

◆ 爪軸

ボルトは六角穴側よりボルトを入れ，反対側よりバネ座金を入れ，ナットで締付けてください。



1AHABADAP048A

補　足

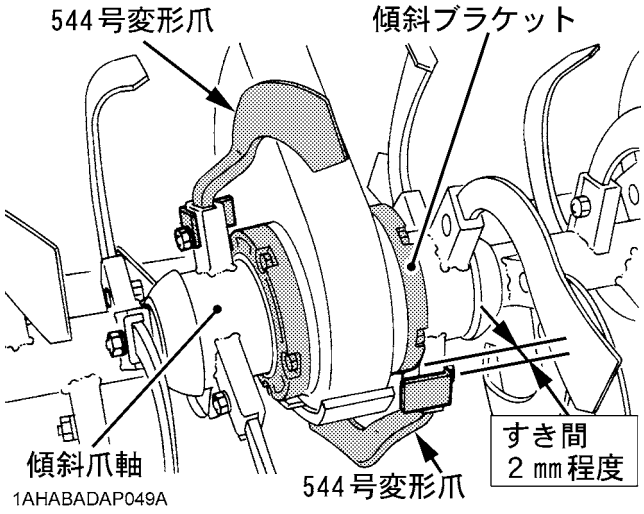
＊ めがねレンチで力いっぱい締付けてください。
[締付けトルク 78.4～88.2N･m(8.0～9.0kgf･m)]
＊ 爪を抜いて作業すると爪のバランスが狂い，振動や騒音が出ることがありますので，ご注意ください。
＊ ナットを締付けるときは，トラクタ側の PTO 変速レバーを入れることにより，爪軸をロックすることができ，力を入れてナットを締付けることができます。
＊ なた爪，およびボルト，ナットは，クボタ純正部品を使用してください。

◆ 草切爪の取付け方（ES 仕様以外）

1. 左右の 544 号変形爪（各１本）に，草切爪を**黒色の爪取付けボルト**で共締めしてください。(草切爪は左右兼用です)
2. 爪軸正転方向に対し，爪ブラケットの前に草切爪がくるように取付けてください。
このとき，草切爪と傾斜ブラケットとのすき間を２ ㎜ 程度にしてください。

重　要

＊ 草切爪と傾斜ブラケットのすき間が大きすぎると草切爪の効果は少なくなります。



1AHABADAP049A

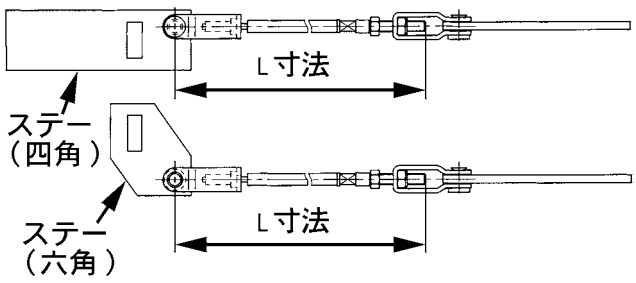
◆ つきま線（草巻付き防止ワイヤ）の取付け方（別売アタッチメント）

重　要

＊ 傾斜爪軸の爪にはワイヤを装着することはできません。
＊ ワイヤの種類により爪軸両端部への取付位置が異なりますので，以下の手順に従って取付けてください。

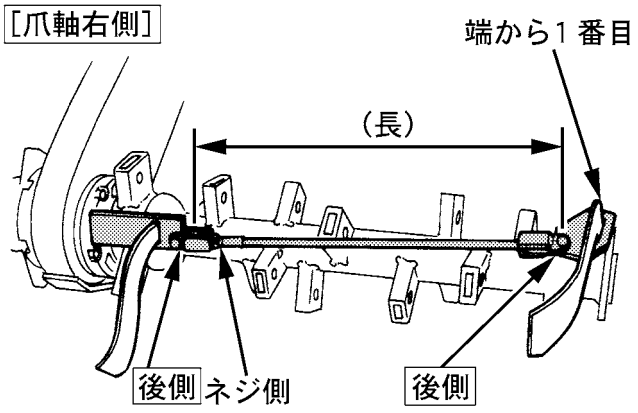
1. ワイヤは下表の通り３種類あり，各々ワイヤの長さとステーの形状が異なります。

ワイヤ長さ (L 寸法)	ステー形状	本数	取付爪軸
長（465㎜）	四角＋六角	1	右側
中（418㎜）	四角＋六角	1	左側
短（371㎜）	四角＋四角	2	左右各１

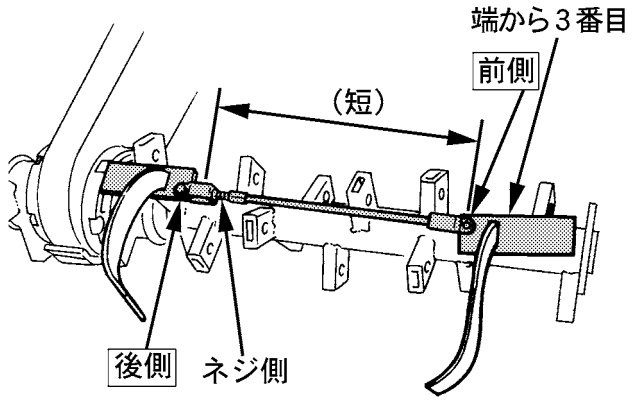


1AHABADAP050A

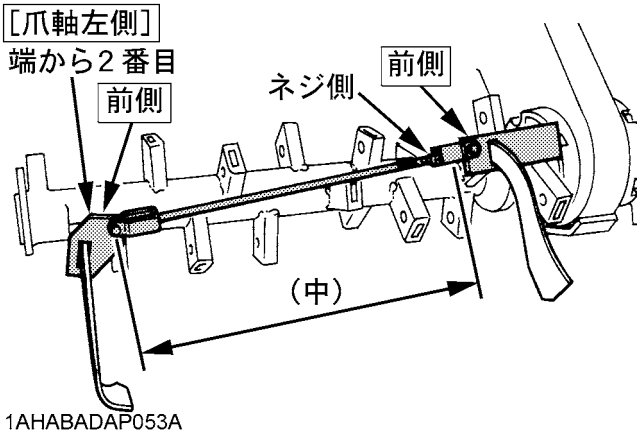
2. 以下の図を参照して，ワイヤ両端のステーの四角穴にそれぞれの爪を差込み爪ブラケットに取付けてください。
このとき，ワイヤがステーの丸穴と結びほぼ一直線になるようにしてください。
ワイヤのネジ側をチェーンケース側に取付けてください。



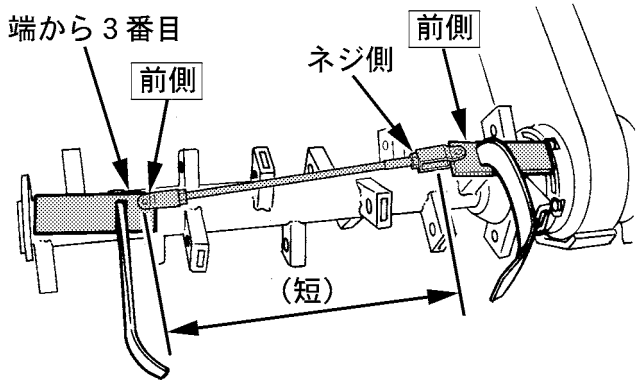
1AHABADAP051A



1AHABADAP052A



1AHABADAP053A



1AHABADAP054A

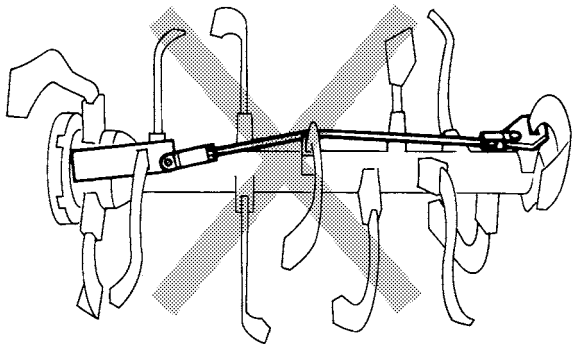
補　足

＊ ステー形状が六角のワイヤを除き，ワイヤは爪軸にほぼ平行になります。

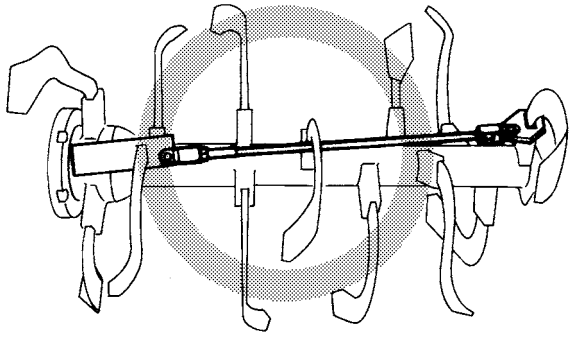
重　要

＊ ステーの取付け方向を間違えて取付けた場合，また，取付け位置を間違えて傾斜爪軸の爪に取付けた場合，ワイヤが取付かなかったり，ワイヤを損傷することがあります。

＊ ワイヤが爪やブラケットに強く干渉していないか確認してください。正しい位置に取付けられている場合，ワイヤはステーの丸穴を結びほぼ直線になります。もし，下図のように爪やブラケットに強く干渉したまま取付けますと，早期にワイヤを損傷するおそれがあります。

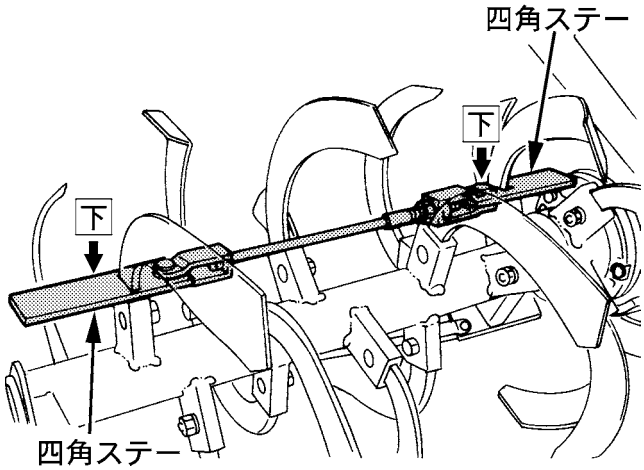


1AHABADAP055A



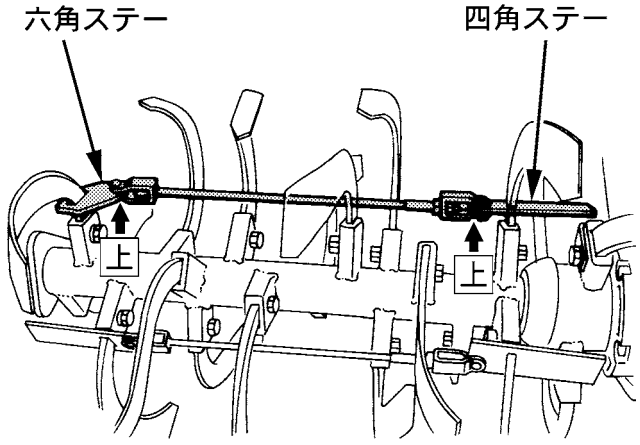
1AHABADAP056A

3. ステーを次の位置にし，ワイヤを張ります。
[四角ステーが２つのワイヤの場合]
爪ブラケット入口面に接触する位置（矢印 **[下]** 方向）



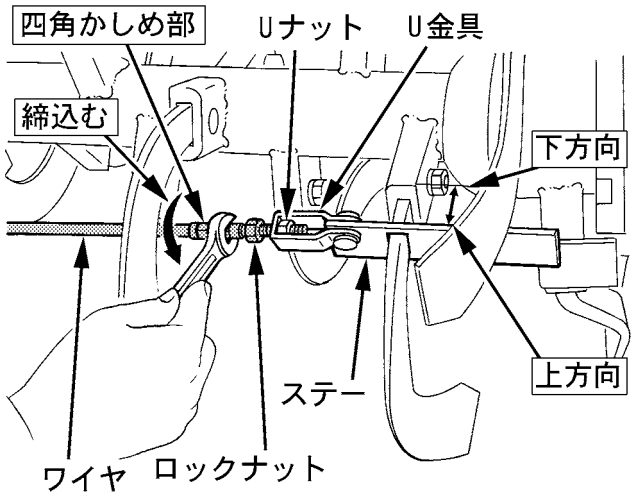
1AHABADAP057A

[四角と六角のステーが１個ずつのワイヤの場合]
爪先端方向いっぱいにずらせた位置（矢印**[上]**方向）



1AHABADAP058A

ロックナットを四角かしめ部付近までゆるめ，ワイヤのネジの四角かしめ部を締込み，ワイヤのたわみ量を調整後，（4. 項参照）ロックナットで固定します。

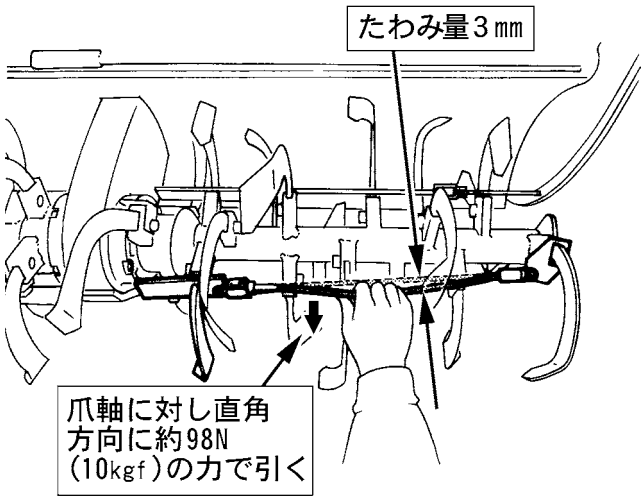


1AHABADAP059A

重　要

＊ ワイヤの調整はロックナットをゆるめてから行なってください。ロックした状態で増し締めをすると，破損するおそれがあります。
＊ ワイヤの調整は必ず4. の手順でたわみ量を確認しながら行なってください。
＊ ロックナットの締付けトルクが　　14.7N・m (1.5kgf・m（参考値）) をこえないようにしてください。

4. ワイヤの中央付近を爪軸に対して直角方向に約 98N（10kgf）の力で引いたとき，ワイヤが元の位置から３㎜たわむ程度に調整してください。



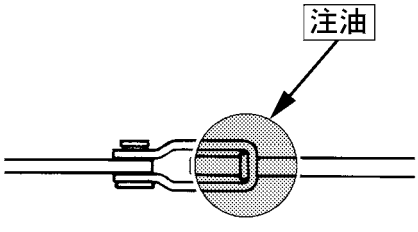
1AHABADAP060A

注　意

傷害事故防止のため，ワイヤの調整時は次のことを守ってください。
＊ ワイヤを引くときはゆっくり引き，ワイヤに体重をかけて引かないでください。

重　要

＊ 耕うん前にワイヤがゆるんでいないか確認してください。ゆるんでいる場合は，3,4 の手順でワイヤを調整してください。ゆるんだまま使用すると，つきま線の効果が少なくなり，ワイヤを損傷するおそれがあります。ワイヤを調整するときは，ネジ部に付着した土などを洗い流し，ネジ部及び図示箇所に注油してから行なってください。
＊ ロータリ使用後，特に長時間使用しないときは図示箇所を洗浄後，注油してください。



1AHABADAP061A

補　足

＊ ワイヤを調整するとき，ある程度ワイヤが張ってくると，スパナで締めてもワイヤのネジがゆるむ（戻る）ことがあります。そのときは，ロックナットでロックしながら調整してください。

◆ つきま線の取外し方

取付け方の逆の手順で行なってください。
緩める方向には特に注意してください。

補　足

＊ 延長爪軸アッシ（別売オプション）はつきま線を装着したまま，取付けることができます。

■耕法の種類

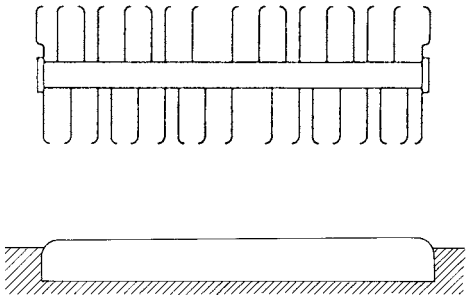
1. 均平耕法 （耕起・細土・代かき・整地作業）

◆ RL 仕様

爪ブラケット六角穴の反対側に爪の曲がりがくるよう，参考例に従って取付けてください。

[参考]

RL155T



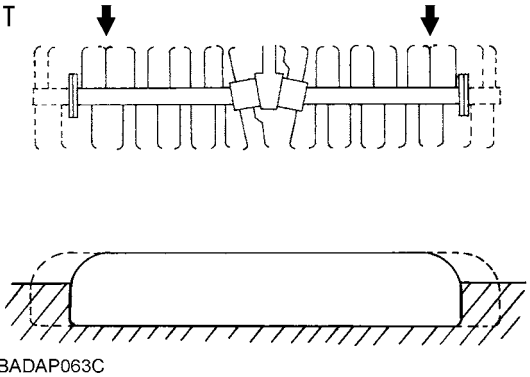
1AHABADAP062D

◆ R 仕様

爪ブラケット六角穴の反対側に爪の曲がりがくるよう，参考例に従って取付けてください。（傾斜爪軸は**［なた爪の取付け方］**の項を参照）

[参考]

R155T



1AHABADAP063C

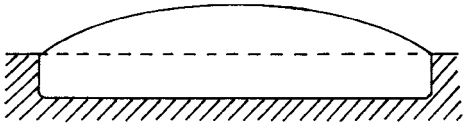
点線は延長爪軸付き（別売オプション）の場合を示します。また，⬇印付は延長爪軸の有無により爪を左・右入替えてください。

延長爪軸	⬇印爪
付	外向き
無	内向き

2. １つ盛り耕法 （乾土効果を必要とする水田の耕起・細土作業）

◆ RL 仕様

爪軸中央とその両隣の爪の向きは均平耕法のままとし，他の爪はすべて内向きになるよう取付けてください。
このとき，ロータリカバー２を上げて，カバーが耕うんした土壌にあたらないようにします。



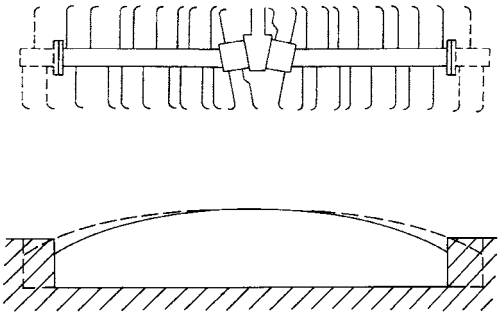
1AHABADAP064A

◆ R 仕様

チェーンケースに向かって爪はすべて内向きになるよう，参考例に従って取付けてください。（傾斜爪軸部はそのまま）ロータリカバー２を上げて，カバーが耕うんした土壌にあたらないようにします。

［参考］

R155T



1AHABADAP065D

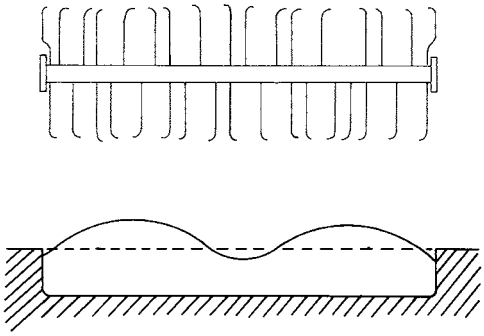
3. ２つ盛り耕法 （乾土効果を必要とする水田の耕起・細土及び１連畝立て作業）

◆ RL 仕様

爪軸中央と両端の間でそれぞれ爪が内向きになるよう，参考例に従って取付けてください。このとき，ロータリカバー２を上げて，カバーが耕うんした土壌にあたらないようにします。

［参考］

RL155T



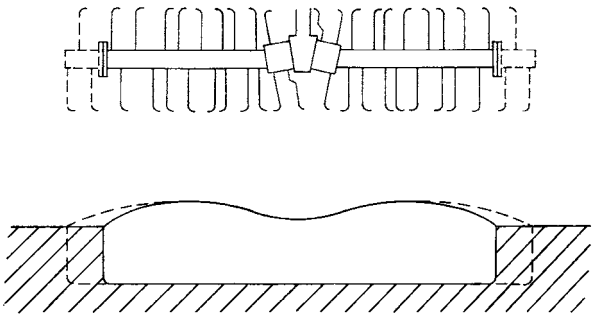
1AHABADAP066D

◆ R 仕様

チェーンケース部と両爪軸両端の間でそれぞれ爪が内向きになるよう，参考例に従って取付けてください。（傾斜爪軸部はそのまま）このとき，ロータリカバー２を上げて，カバーが耕うんした土壌にあたらないようにします。

［参考］

R155T



1AHABADAP067D

マッドレスロータリの取扱い

◆ SC カバー

注　意

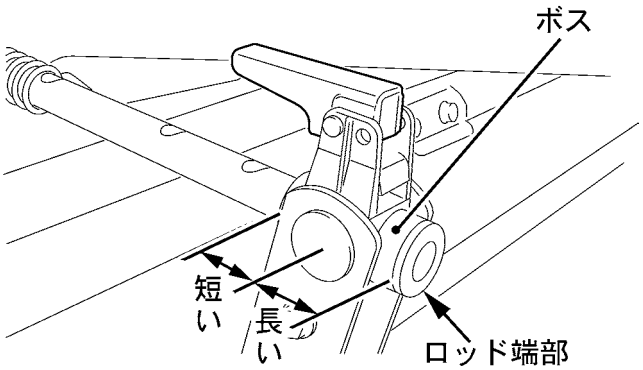
傷害事故の防止のため，ゴムカバーの装着確認をする場合，次のことを守ってください。
＊ トラクタを平たんな広い場所に置く。
＊ エンジンを止め，駐車ブレーキを掛ける。
＊ ロータリの落下防止のため，落下速度調整グリップを右いっぱい回して締込む。
＊ 爪軸の下に木の台などをし，より安全性を確保する。

重　要

＊ 作業前に次の項目を点検してください。
(1) ロッド部のスペーサ（オートハンガ）の取付け方向の確認。
スペーサ（オートハンガ）のボスの**［長い方がロッドの後端側］**になっているか確認してください。

補　足

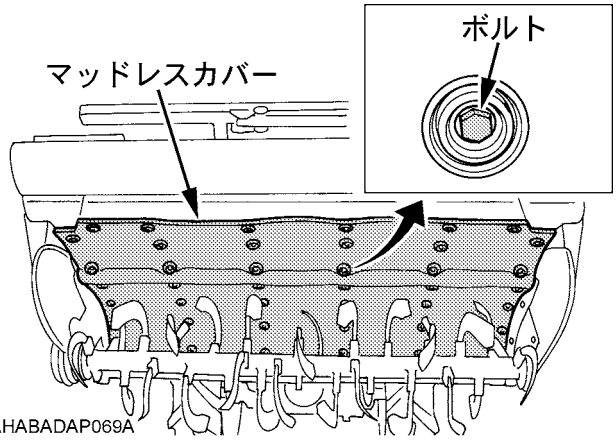
＊ SC カバー以外は，**［短い方がロッドの後端側］**になります。



1AHABADAP068A

(2) マッドレスカバーがしっかりと装着されているか，ボルト類のゆるみがないか確認し，ゆるみがある場合は確実に締付けてください。
締付ける場合はボルトのまわりの土をよく落としてから行なってください。
［締付けトルク 25.5 ～ 29.4N・m (2.6 ～ 3.0kgf・m)］

＊ マッドレスカバーに付着している土を取除く場合，ナイフ等の鋭利な物の使用はさけてください。
＊ マッドレスカバーに大きな破れやキズが発生した場合は，すみやかに補修してから使用してください。（**［ロータリの簡単な手入れと処置］**の**［マッドレスロータリ，ゴムカバー用補修剤の使用法］**の項参照）
＊ ロータリを地表に降ろしたままバックしないでください。
耕うん爪でゴムカバーを損傷させるおそれがあります。



1AHABADAP069A

補　足

＊ 角張った石の多いほ場では，マッドレスロータリの使用を控えてください。
＊ 普通爪，ロングカット爪は使用しないでください。
＊ ゴムカバー内部に泥が滞留しゴムカバーと耕うん爪が接触する場合は，ゴムカバー内部の泥を取除いてください。

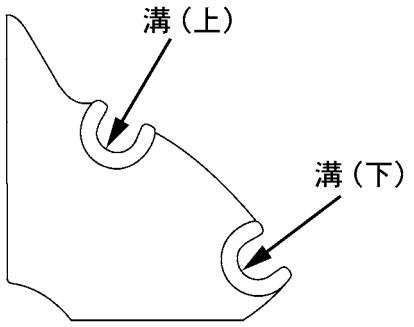
ロータリの調整

ロータリカバーの調整

■フラップカバーの使用法

注　意

＊ ロータリの着脱は，フラップカバーを装着して行なってください。



1AHAEABAP094A

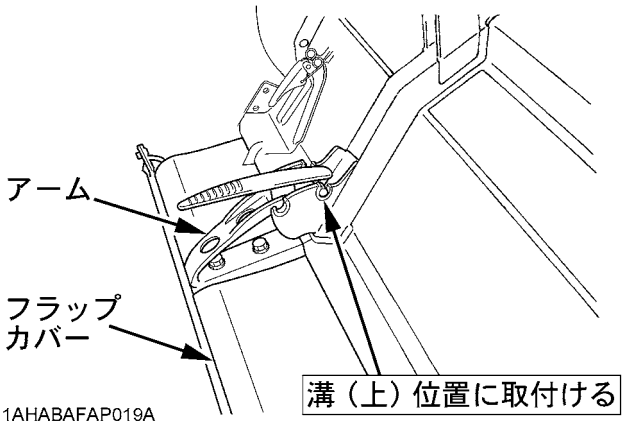
補　足

＊ 一般耕うん作業，荒耕し，浅耕し，又は代かき作業時にフラップカバーを外してオート作業をすると，性能が充分発揮出来ないことがあります。

＊ あぜぎわなどほ場が平たんではないところでポンパを使用すると，ロータリなどの作業機に衝撃がかかり損傷するおそれがあります。このような場合は油圧レバーでゆっくりと作業機を下降させてください。

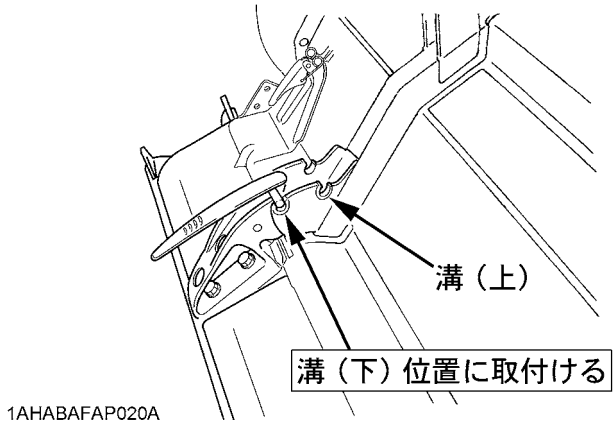
フラップカバーは，２段階の調整と着脱が可能です。作業に合わせて使い分けてください。
特にオート作業時，進行方向に凹凸ができる場合は，溝（上）で使用してください。

◆ 一般耕うん作業



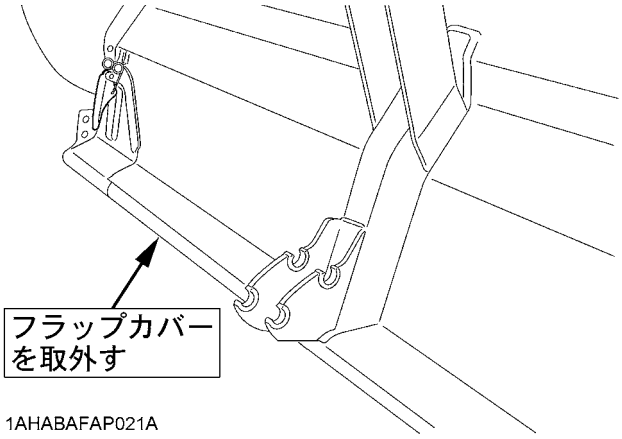
1AHABAFAP019A

◆ 荒耕，浅耕し又は代かき作業



1AHABAFAP020A

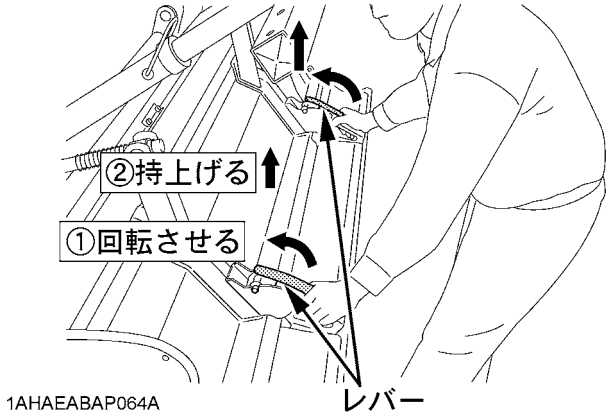
◆ 深耕し作業



1AHABAFAP021A

■フラップカバーの取外し方

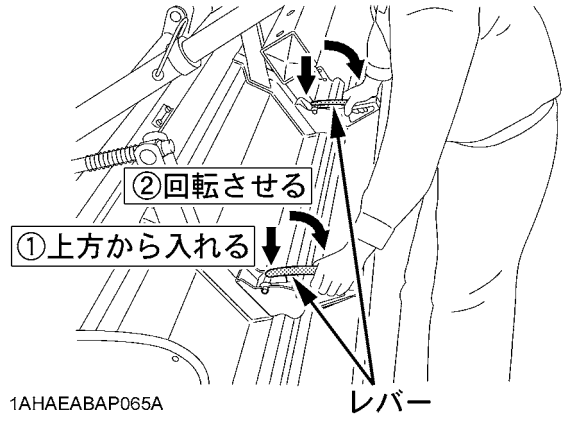
1. Y 仕様（手元開閉式延長カバー付）の場合，ワイヤを外してください。（**[フラップカバー着脱前の準備]** の項を参照）
2. フラップカバーのアーム部とレバーを握ったまま，ロータリカバー２から取外します。



1AHAEABAP064A

■フラップカバーの取付け方

1. フラップカバーのアーム部とレバーを握ったまま，アーム部のピンをロータリカバー２のプレートの溝へ上方から入れてください。
2. アーム部とレバーを握ったまま矢印の方向へあたるまで回転させてください。



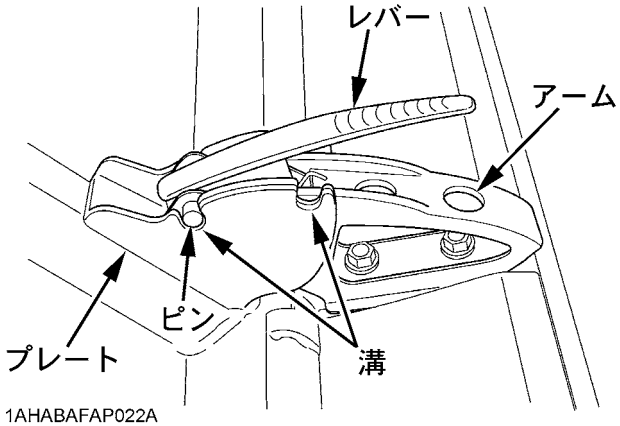
1AHAEABAP065A

3. Y 仕様の場合，ワイヤの取付けをしてください。（**[フラップカバーの着脱前の準備]** の項を参照）

重　要

＊ レバーを離し軽く持ち上げロックされていることを確認してください。

[正しい装着状態]

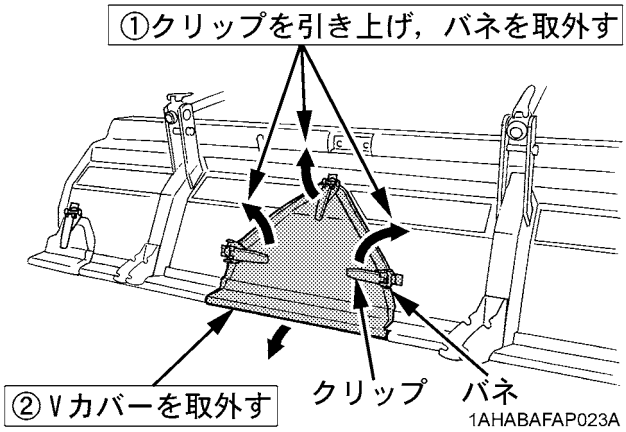


1AHABAFAP022A

[誤った装着状態]

ピンがプレートの２つの溝のいずれにもはまっていないと，フラップカバーが落下することがあります。ピンが確実に溝にはまっているように正しく装着してください。

■ V カバーの取外し方



1AHABAFAP023A

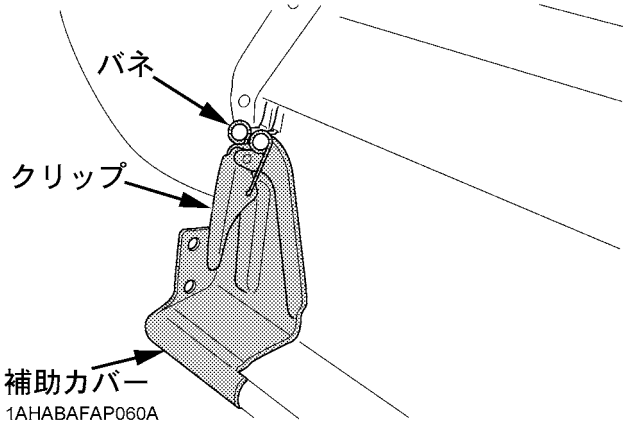
補　足

＊ Y 仕様の場合は，事前にワイヤを外してください。（**[フラップカバーの着脱前の準備]** の項を参照）

● 取付けは逆の順序で行なってください。
クリップは確実にロックしてください。

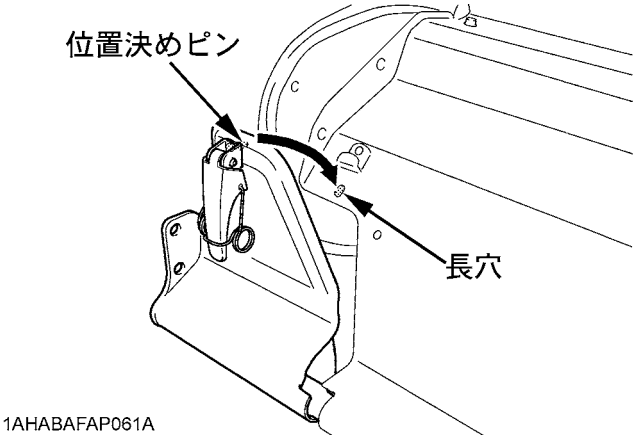
■補助カバー R・L の取外し方

後２輪併用で枕地を少なくする，又は片培土作業をするため補助カバーを取外す場合は，クリップを引上げ，補助カバーを取付けているバネをロータリカバー２の掛け金具から取外してください。



1AHABAFAP060A

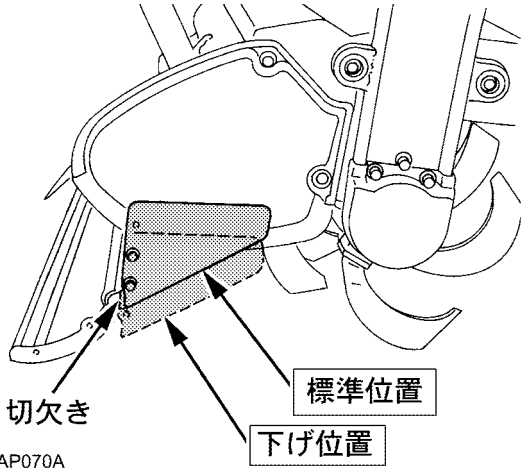
補助カバーを取付ける場合は，補助カバーの位置決めピンをロータリカバー２の長穴に差込んでからバネをロータリカバー２の掛け金具に取付け，クリップを引き下げてください。



1AHABAFAP061A

■防土カバーの上手な使い方（別売オプション：RL 仕様）

1. 防土カバーは，２段階の調整と着脱が可能です。作業にあわせて使い分けてください。
2. 防土カバーの取付け方向は，切欠きが下になるようにしてください。
3. 特に浅耕し作業や，代かき作業を行なう場合は，防土カバーを**下げ位置**にすると効果的です。
   また，不要の場合は取外して使用してください。



1AHABADAP070A

品名	品番	個数
カバー（ボウド）	7C505-5626-0	2
ボルト	01173-51020	4
ナット	02176-50100	4
バネザガネ	04512-60100	4

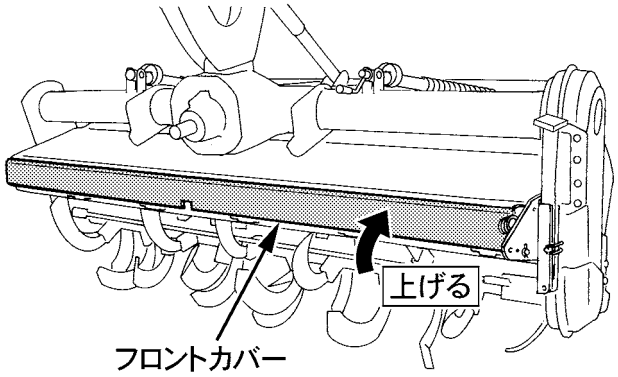
■フロントカバーの使用法

注　意

＊ フロントカバーの［上げ下げ］操作時，指や手を挟まれないように注意してください。傷害事故を引起こすおそれがあります。

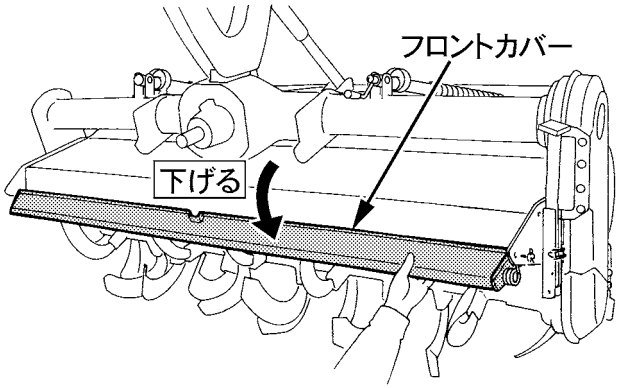
フロントカバーは**［上げ下げ］**の調整が可能です。作業に合わせて使い分けてください。調整時はフロントカバーのチェーンケース側前端をつかみ行なってください。

1. **通常の耕うん作業**は，**［上げ］**位置にして使用してください。



1AHACAEAP041A

2. **代かき作業**は，**［下げ］**位置にして使用してください。
   但し**［下げ］**位置にしたフロントカバーに直接土や障害物が接触する場合は，**［上げ］**位置にしてください。



1AHACAEAP042A

重　要

＊ **［下げ］**位置にしたフロントカバーに直接土や障害物が接触したまま使用しますと，フロントカバーを破損することがありますので，フロントカバーを**［上げ］**位置にしてください。
＊ **［上げ下げ］**操作を行なう際，フロントカバーに土などが付着したまま操作しますと，フロントカバーを破損することがありますので，土などを取除いてから行なってください。
＊ ストレークとフロントカバーが干渉する場合には，ストレークは内側に装着してください。

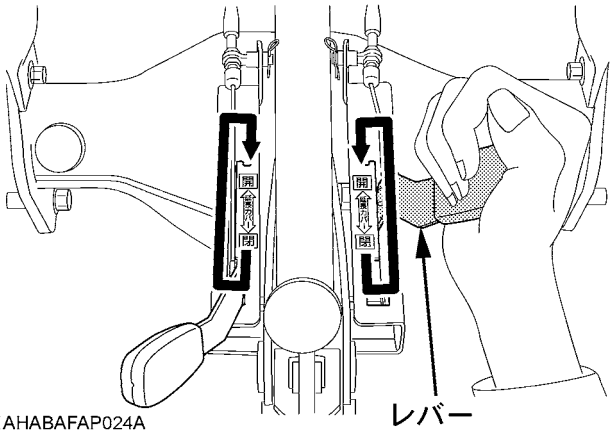
手元開閉式延長カバーの使用方法（Y 仕様）

■延長カバーの使用法

注　意

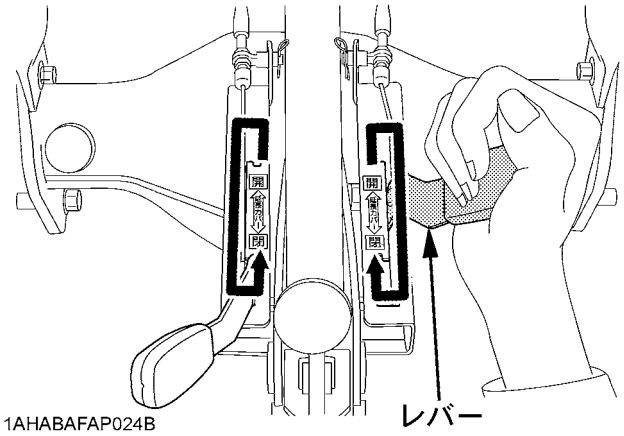
＊ 延長カバー開閉時，周囲の安全を確認してからゆっくりと操作し，指や手を挟まれないようにしてください。傷害事故を引起すおそれがあります。
＊ ロック部の溝にレバーが確実に入っていないと，道路走行時の振動で延長カバーが開くおそれがあるので，確実にレバーが溝に入っていることを確認してください。傷害事故を引起すおそれがあります。

トラクタの座席から延長カバーの開閉操作を，左右個別に行なうことができます。
1. ロータリを最上げ位置にしてください。
2. 延長カバーを開く時は，レバーを**［閉］**側ロック部から外してからゆっくりと後方へ倒し，**［開］**側ロック部へ確実に入れてください。



1AHABAFAP024A

3. 延長カバーを閉じる時は，レバーを**【開】**側ロック部から外してからゆっくり手前へ引き，**【閉】**側ロック部へ確実に入れてください。



1AHABAFAP024B

重　要

＊ 道路走行時は必ず延長カバーを閉じてください。（ただし公道は走行できません）

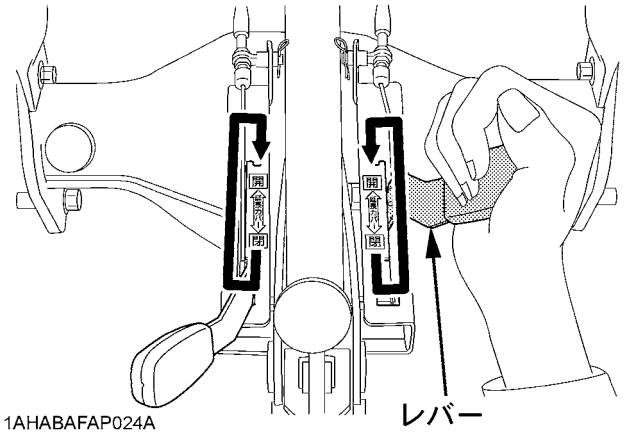
■フラップカバー着脱前の準備

注　意

＊ フラップカバー着脱時は，延長カバーの操作レバーを必ず［開］側でロックしてください。傷害事故を引起こすおそれがあります。

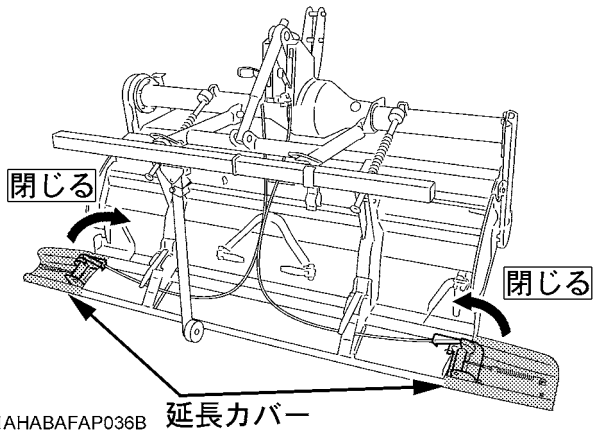
フラップカバーを取外す前に必ずワイヤを取外してください。

1. レバーを**【開】**側で確実にロックし，延長カバーを開いてください。

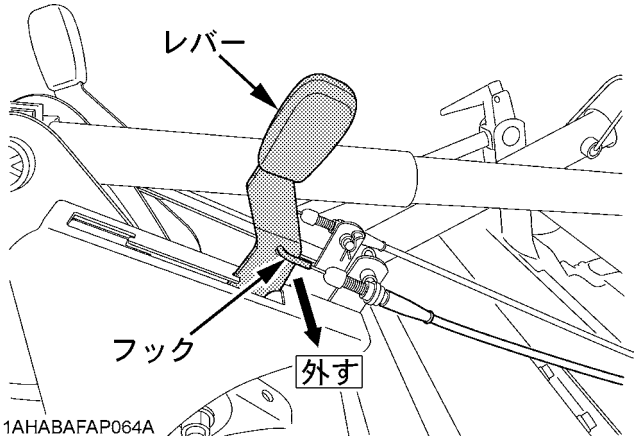


1AHABAFAP024A

2. 延長カバーを手で閉じ，ワイヤをゆるめ保持した状態で，ワイヤ先端のフックをレバー穴から外してください。

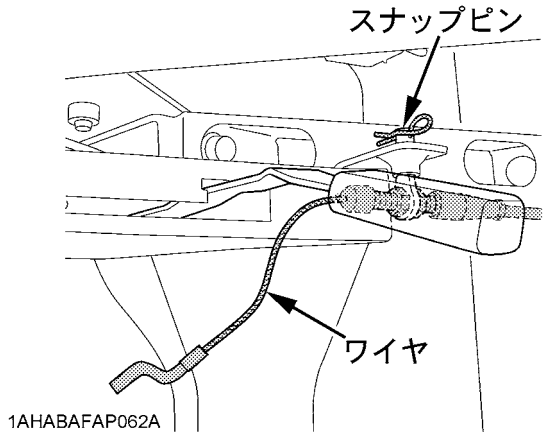


1AHABAFAP036B

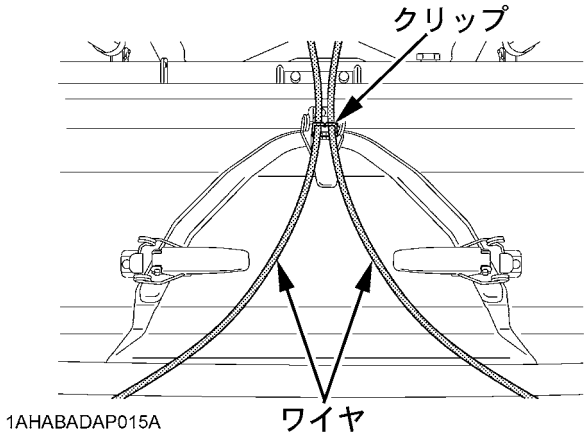


1AHABAFAP064A

3. スナップピンを外し，ワイヤを外してください。



4. V カバー中央部のクリップからワイヤを外してください。(V 仕様のみ)



◆ 取付け方

フラップカバー取付け後，**［取外し方］**と逆の手順でワイヤを取付けてください。

重　要

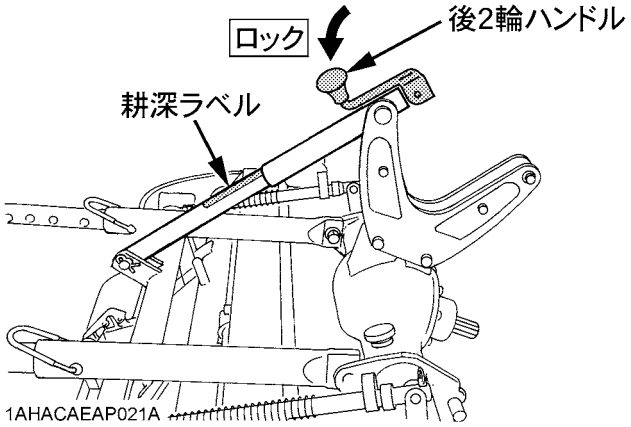
＊ 誤った取付けをされますと，ケーブルの損傷，作動不良を起こすことがあります。取付けは確実に行なってください。

耕深の調整［後２輪仕様］

注　意

＊ トラクタを前進させながらの耕深調整はしないでください。傷害事故を引起こすおそれがあります。

後２輪ハンドルを回すことにより，耕深を自由に選ぶことができます。また耕うん深さ調整の目安として，耕深ラベルの目盛りをご使用ください。



補　足

＊ 後２輪ハンドル調整操作時以外は，図の位置にセットしてください。

標準（スタンド仕様）タイプを購入された方は，オプションにて追加購入することができます。

品名	品番
後２輪アッシ（RL5T）	7A205-5700-0

後２輪の調整［後２輪仕様］

注　意

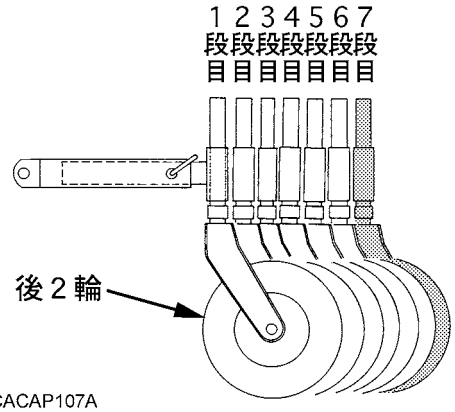
＊ 後２輪を使用しない場合は取外してください。
後２輪を上方に反転させての耕うん・移動は，傷害事故を引起こすおそれがあります。

後２輪は前後方向に７段階，上下方向に４段階の調節ができますので，作業にあわせて調整してください。

■後２輪ホルダの前後調整

作業により次のように調整してください。

後２輪無し	培土作業		１段目
後２輪使用	一般耕うん作業（12cm以下）	フラップカバー無し補助カバー付	４段目
		フラップカバー付補助カバー付	６段目
	フラップカバー付，補助カバー付		７段目
	フラップカバー無し，補助カバー無し		１段目
	ロータリを着脱する場合		７段目



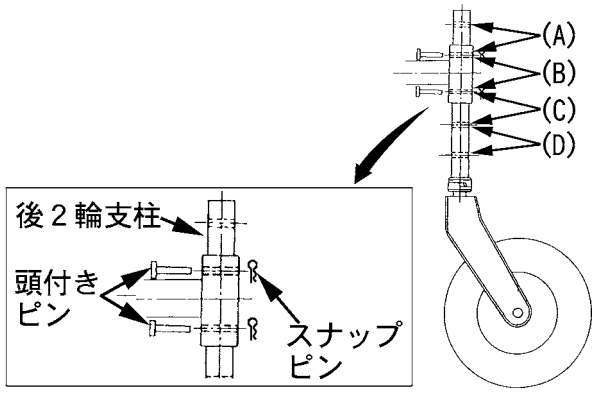
1AHACACAP107A

補　足

＊ 水田（湿田）で，トラクタの性能をじゅうぶん発揮させるため，後２輪はロータリカバーに接触しない範囲で，接近させて使用してください。

■上下調整

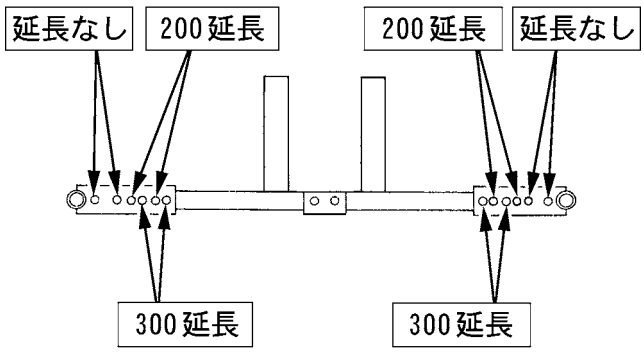
1. 一般耕うんの場合。
   後２輪支柱を（B）の穴に，セットしてください。
2. 代かき・湿田耕うんの場合。
   後２輪支柱を（A）の穴に，セットしてください。
3. 必要に応じて（C）（D）の穴に，取付けできます。
4. 頭付きピンは必ず前方から挿入してください。カバーと接触して，スナップピンが抜けるおそれがあります。
5. ロータリを着脱する場合は，（B）の穴に取付けてください。
   ［片培土機を使用するときは，（D）の位置にセットしてください］



1AHABAFAP058B

■左右調整［R 仕様］

延長爪軸（別売オプションの 200㎜ 又は 300㎜）を取付けたときは，それぞれ耕幅に合せて，後２輪を外側に移動させてください。



1AHABADAP074A

フローティング装置(別売オプション)

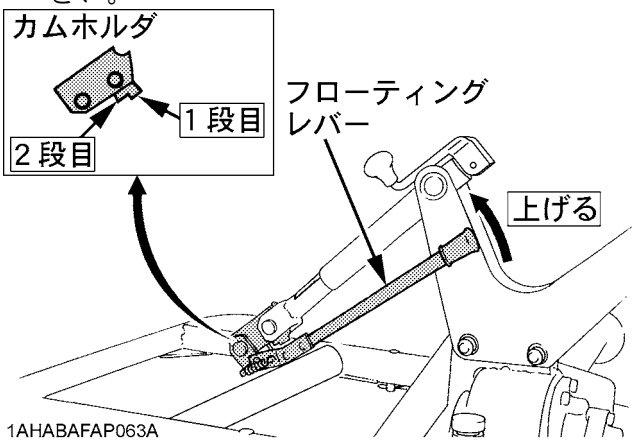
品名	品番
フローティング部品アッシ	7A245-9912-0

注 意

＊ ロータリをトラクタから取外し，ロータリ単体保管する場合，絶対にフローティングレバーを操作しないでください。フローティングレバーを上方にあげると，急にロータリの姿勢が変化し，不安定な状態になります。

後２輪フローティング機構は，簡単な取扱いであぜぎわまで耕うんできる機構です。
次の取扱い要領に従って，正しく使用してください。

1. 油圧レバーを操作して，ロータリを持上げてください。
2. フローティングレバーを上方に押し上げ，レバーがカムホルダに引掛かるようにしてください。



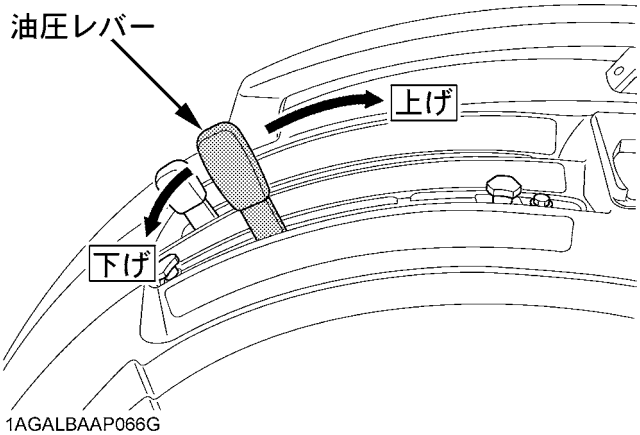
補 足

＊ 手元開閉式延長カバーとは併用できません。
＊ フローティングレバーを上げてカムホルダに引掛けるとき，引掛かり位置によって，フローティング機構が作用しない場合がありますので，次表を参考にして使い分けてください。

浅い耕うんの場合 （耕深目盛り４以下）	１段目で作用します
普通耕うんの場合 （耕深目盛り４以上）	２段目で作用します

一般に普通耕うん状態では，フローティングレバーを２段目に引掛かるまで上げないと，フローティング機構は作用しません。

3. 後２輪があぜの上に乗るように，トラクタをバックさせてください。
4. 油圧レバーを操作して，ロータリを下げてください。
5. このとき，後２輪はフローティング状態です。レバーストッパで，あらかじめ耕深を定めておき，その位置まで油圧レバーを下げて，耕うんを始めてください。
6. 後２輪があぜからほ場に降りるまで耕うんし，ほ場に降りたとき一時停止してください。
7. 油圧レバーを**［上げ］**にするとロータリが上昇し，フローティング状態から固定状態に，自動的に切換わります。
8. 次に油圧レバーを**［下げ］**にすると，標準耕うん状態になり，今まで後２輪で定められていた所定の耕深になりますので，続けて耕うんしてください。



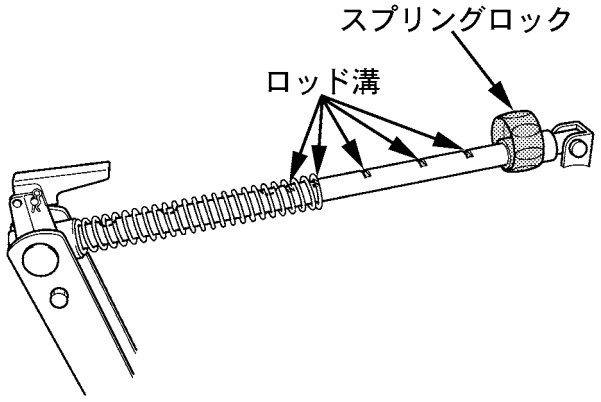
スプリングロックの調整

注　意

＊ スプリングロックの操作は必ずロータリを地上に降ろし，エンジンを停止してから行なってください。
＊ スプリングロックを操作するときは，必ずスプリングロックの外周を持って操作してください。傷害事故を引起こすおそれがあります。
＊ スプリングが押付けられた状態でスプリングロックを操作するときは，必ず最後までスプリングロックを握った状態で操作してください。途中で手をはなすと，スプリングロックが上方へいきおいよく飛出し危険です。

◆ スプリングロックの位置

接地圧条件にあわせてロッド溝をお選びください。
(前から１番目，２番目……とセット位置を後方に下げるにつれ，押付力は強くなります)
通常は前から１番目の溝にセットしてください。

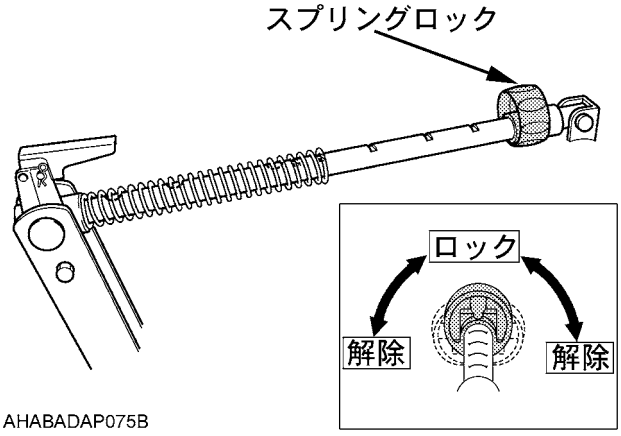


1AHABADAP075A

爪の交換などロータリカバー２を持上げて使用する場合も一番上の溝にセットしてください。

◆ スプリングロックの位置決め

1. スプリングロックを約 90 度回し，ロックを解除させます。スプリングロックを後ろへ動かす場合は，解除の位置にしなくても希望の位置まで移動できます。



1AHABADAP075B

2. その状態でスプリングロックを希望位置まで移動させます。
3. スプリングロックをロックの位置まで回し，確実にロックします。(カチッと音が鳴り，前に動かない位置がロック位置です)

重　要

＊ スプリングロックは常にいずれかのロック溝にセットして使用してください。

補　足

＊ ロータリを長期に使用しないとき，あるいは操作が重くなったときはよく洗浄し，土を完全に取除いた後，しゅう動部に注油してください。

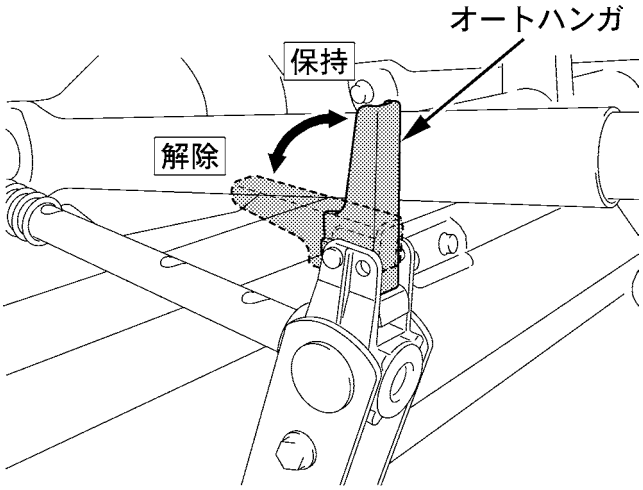
オートハンガの調整

注　意

＊ オートハンガの操作は，傷害事故を引起こすおそれがありますので，平坦な広い場所で周囲の安全確認を行ない，エンジンを止めて，駐車ブレーキを掛けてから行なってください。
＊ オートハンガを［解除］にした時は，直ちにロータリカバー２の保持を解除してください。

◆ ロータリカバー２を保持する場合

オートハンガを左右２カ所とも**[保持]**（自動ロック）の位置にし，ロータリカバー２を持上げると，希望の位置（３カ所）で自動的にロータリカバー２が保持されます。



1AHACACAP112B

◆ ロータリカバー２の保持を解除する場合

オートハンガを左右２カ所とも**［解除］**の位置にしてください。
ロータリカバー２を少し持上げると自動的にロータリカバー２の保持が解除されます。

重　要

＊ **［保持］**するときは，必ず左右のオートハンガが**［保持］**位置になっているか，またオートハンガのピンがロッドの穴に確実に入っているかを確認してください。
＊ 耕うん爪の点検・交換などを行なう場合は，ロータリカバー２は一番上げた位置で保持して行なってください。（ロッドの下から３番目の穴で保持した位置）
＊ 保持を解除する場合は，特にロータリの下や周囲の安全確認を行なってください。
＊ ロータリカバー２を保持した状態では絶対に走行しないでください。走行する場合は必ず保持を解除してください。

補　足

＊ オート作業する場合，ロータリカバー２を保持した状態で使用しますとロータリが下降しないことがありますので，必ずオートハンガを**［解除］**の位置にして使用してください。
＊ 長期間保管する時，あるいは操作が重くなったときは良く洗浄し，土を完全に取除いた後，レバー部とピン部に十分注油してください。

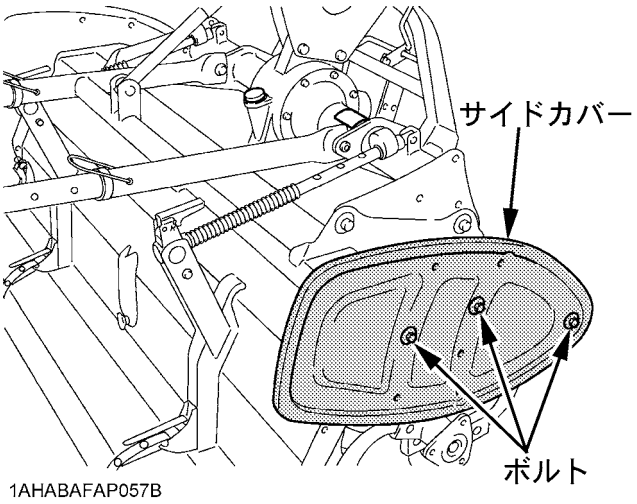
サイドカバーの調整

◆ R 仕様（センタドライブロータリ）

注 意

＊ サイドカバーを外した状態でロータリを使用しないでください。傷害事故を引起こすおそれがあります。

石の多いほ場・草地で作業を行なう場合は，左右のサイドカバーのセット位置を上に上げて使用してください。



1AHABAFAP057B

畝立機の取付け（別売アタッチメント）

注 意

＊ 畝立機の取付けは，必ずロータリを地上に近い位置に降ろし，キースイッチを［切］にしてエンジンを停止してから行なってください。

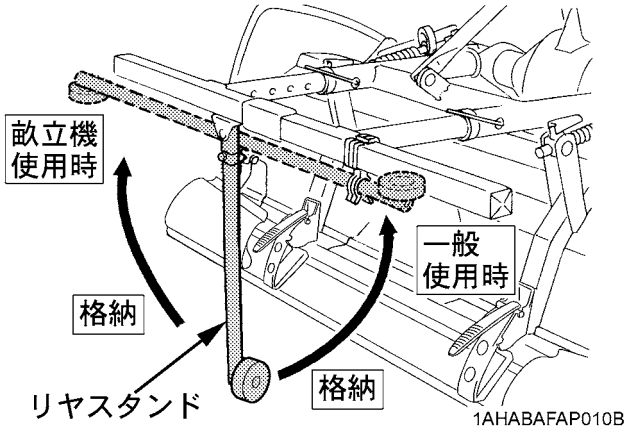
＊ 畝立機を使用しない場合は取外してください。
畝立機を上方に反転させての耕うん・移動は傷害事故を引起すおそれがあります。（反転金具使用時を除く）

＊ 畝立機を使用しない場合，V カバーまたはカバーフタを外したままでロータリを使用しないでください。傷害事故を引起すおそれがあります。

補 足

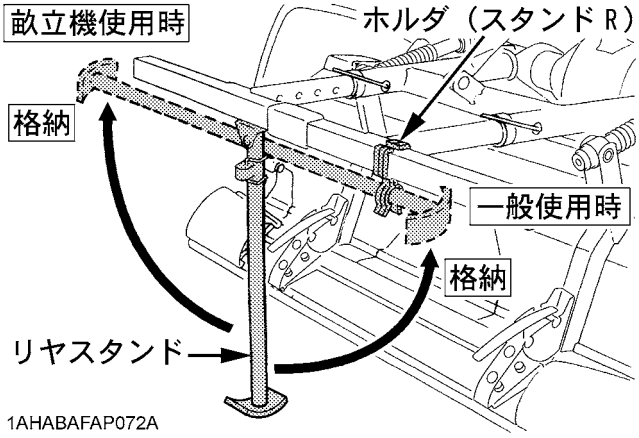
＊ 畝立機の形状･取付け方は一般的なものを表示していますので，詳細は畝立機に添付された取扱要領書をご参照ください。

1. 爪の配列を２つ盛り耕法の配列にしてください。（**［２つ盛り耕法］**の項を参照）
2. リヤスタンドを外側方向へ格納してください。（スタンド仕様）



1AHABAFAP010B

(ES 仕様)



1AHABAFAP072A

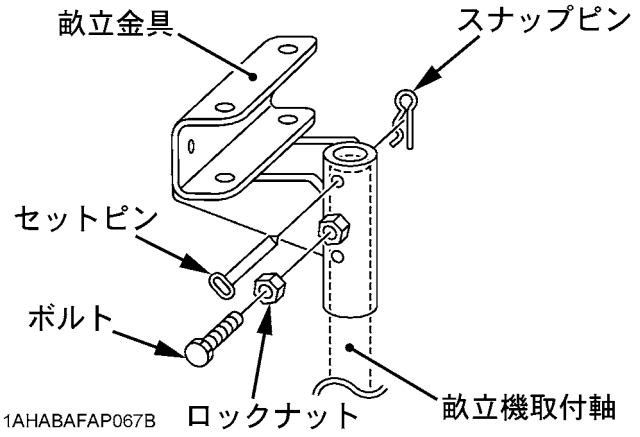
3. 後２輪を取外してください。（後２輪仕様）
4. 後２輪ホルダを，前後調整の１段目（最も縮めた状態）にしてください。（**［後２輪ホルダの前後調整］**の項を参照）

5. フラップカバーを取外してください。(**[ロータリカバーの調整]**の**[フラップカバーの取外し方]**の項を参照)

[V カバーの場合]

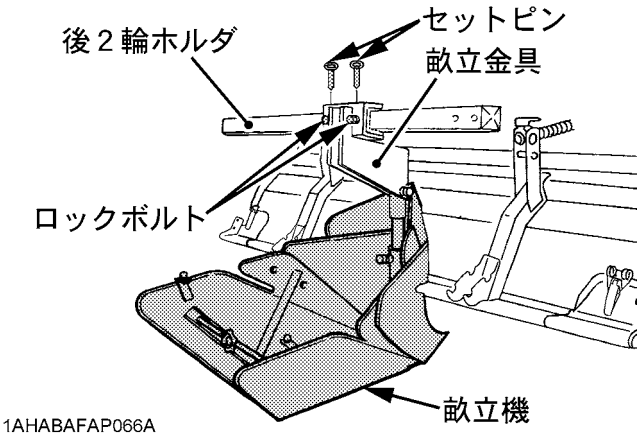
(1) V カバーを取外してください。(**[ロータリカバーの調整]**の**[V カバーの取外し方]**の項を参照)

(2) 希望する耕深(畝立)に合わせ,畝立機の取付軸の高さを調整し,セットピン,ボルト,ロックナットで固定します。



1AHABAFAP067B

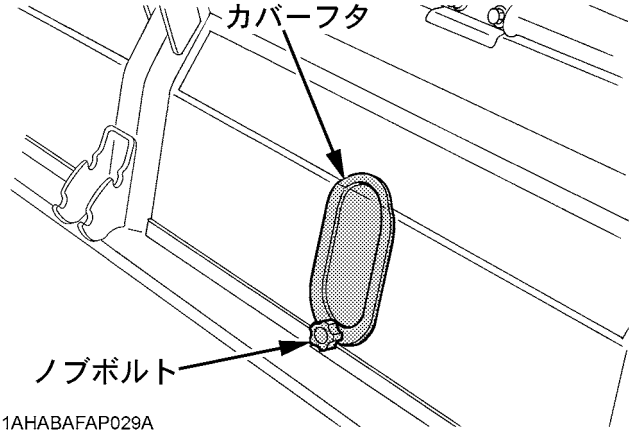
(3) 畝立金具を後2輪ホルダにセットピン,ロックボルトで固定してください。



1AHABAFAP066A

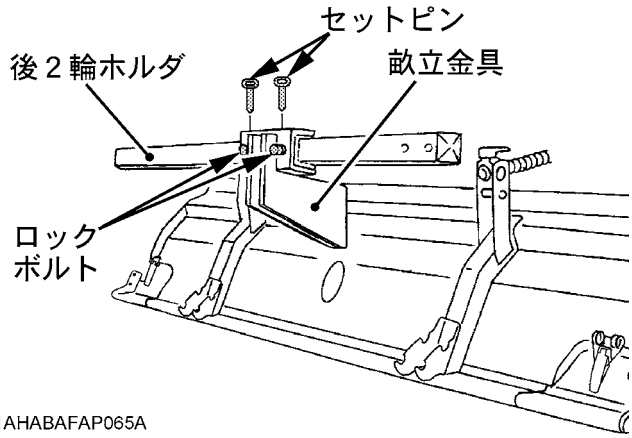
[標準カバーの場合]

(1) ノブボルトをゆるめてロータリカバー2のカバーフタを取外してください。



1AHABAFAP029A

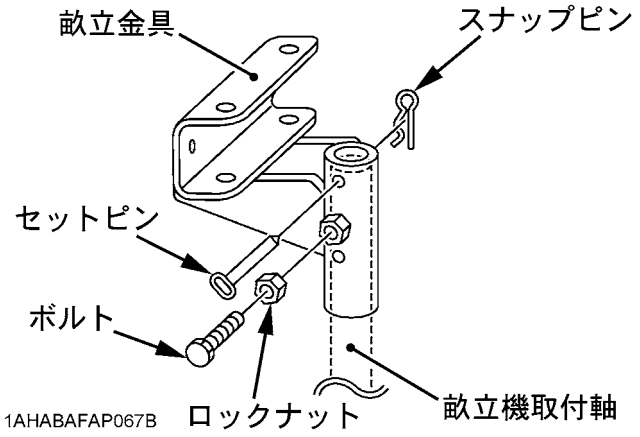
(2) 後2輪ホルダに畝立金具をセットピン,ロックボルトで固定してください。

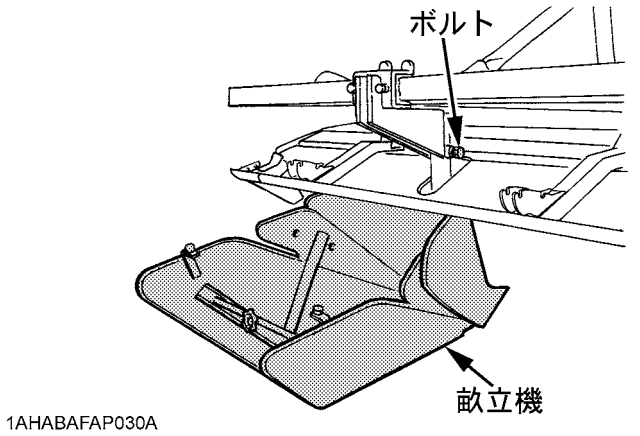


1AHABAFAP065A

(3) ロータリカバー2を上げ,オートハンガで固定してください

(4) ロータリカバー２の下側から畝立機を入れ，希望する耕深（畝立）に合わせ，畝立機の取付軸の高さを調整し，セットピン，ボルト，ロックナットで固定します。

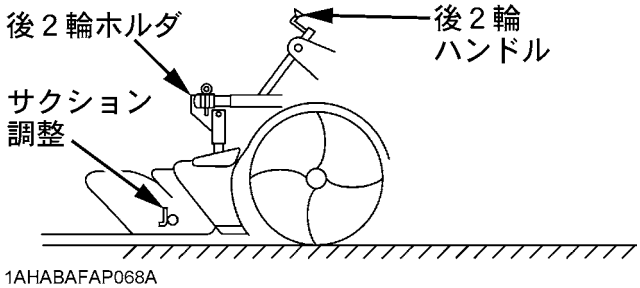




(5) 必要に応じてオートハンガを解除し，ロータリカバー２を下げてください。

■畝立機の調整方法

1. 作業時，希望する耕深（畝立）に合わせて後２輪ハンドルで調整し，畝立機のすき先が水平又は多少上を向くようサクション調節をしてください。



片培土機の取付け（別売アタッチメント）

注 意

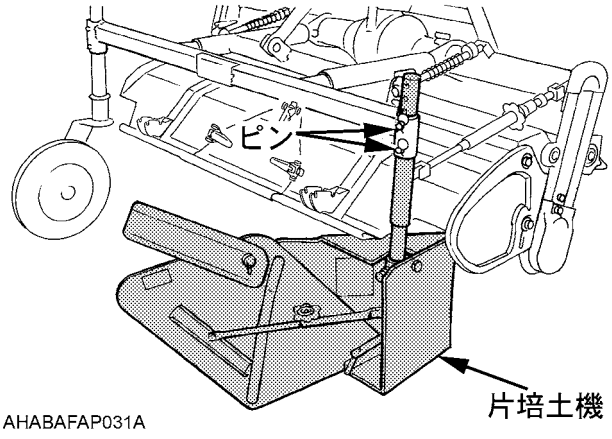
＊ 片培土機の取付けは，必ずロータリを地上に近い位置に降ろし，キースイッチを［切］にして，エンジンを停止してから行なってください。
＊ 片培土機を使用しない場合は取外してください。（反転金具使用時を除く）
片培土機を上方に反転させての耕うん・移動は，傷害事故を引起すおそれがあります。

補 足

＊ 片培土機の形状･取付け方は一般的なものを表示していますので，詳細は片培土機に添付された取扱説明書をご参照ください。

■取付け方

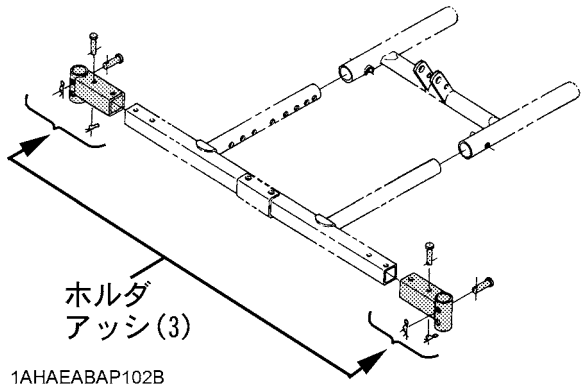
1. 後２輪の右側を取外してください。(後２輪仕様)
2. 後２輪ホルダを，前後調整の１段目（最も縮めた状態）にしてください。（**［後２輪ホルダの前後調整］**の項を参照）ただし，V，SCV カバーで畝立機と併用する場合は，前後調整を畝立機にあわせてください。
3. フラップカバーを取外してください。（**［ロータリカバーの調整］**の**［フラップカバーの取外し方］**の項を参照）
4. 補助カバーの右側を取外してください。
   後２輪仕様は左側も取外してください。
5. 片培土機を希望する耕深（畝立）に合わせ，後２輪ホルダにピン２本でセットしてください。



補　足

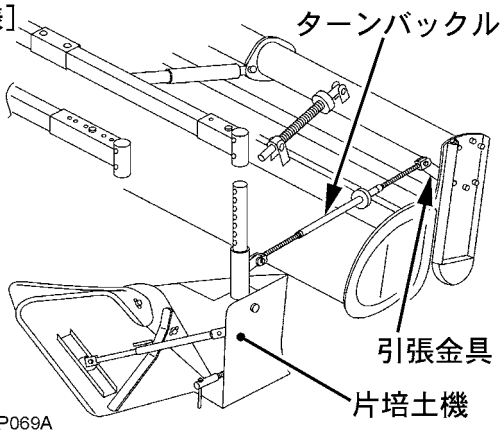
＊ スタンド仕様は，別売のホルダアッシ（3）を使用してください。

品名	品番
ホルダ，アッシ（3）	7C705-5730-2

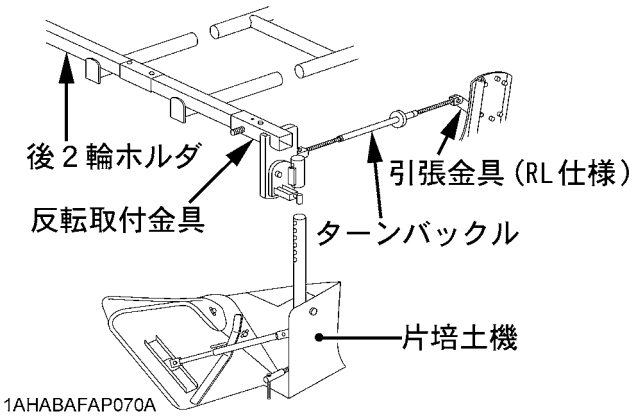


6. 引張金具を下図のように取付け，ターンバックルで連結します。

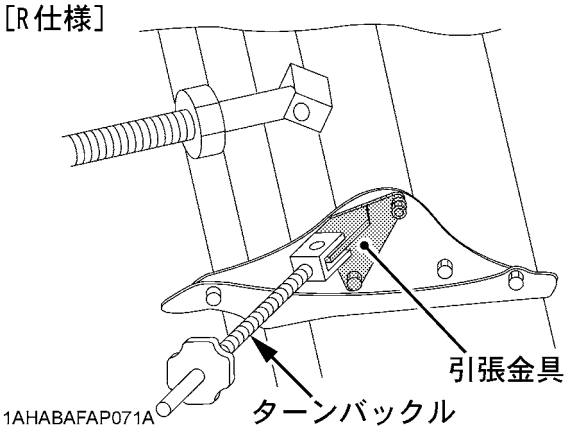
［RL仕様］



［反転取付金具使用時］



［R仕様］

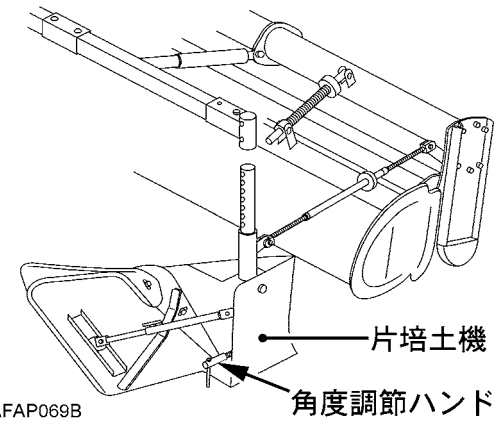


補　足

＊ ロータリカバー２で整地しながら片培土作業をすると，引張り金具の長さが不足する場合がありますので，ロータリカバー２を片培土機の上に乗せてください。

■片培土機の調整方法

1. 標準的な作業姿勢は片培土機の底面がロータリの深耕と同位置，または多少上を進行するように片培土機の角度調節ハンドルで調整します。



2. 調整後，片培土機とロータリをターンバックルでガタの無い程度に張ってナットでゆるみ止めをします。

逆転 PTO の使用方法

トラクタの逆転PTOを使用して次の作業が行なえます。

1. 爪軸の巻付き草を除去する。
   耕うん中に草などが巻付いて，耕深が取れなくなった場合，ロータリを持上げて，逆転での空転，正転での空転を数回繰り返すと，草の巻付きがゆるみ取りやすくなります。
2. 軟弱地での土寄せ作業。
   代かき作業などを行なう軟弱なほ場で，泥などが盛上がった場合，逆転 PTO を使用して前進しながら土寄せを行なうと効果があります。このとき，エンジン回転数 1300 ～ 1500 rpm位で作業すると泥飛びも少なくなります。またフロントカバーを下げるとさらに泥飛びが少なくなります。(**[ロータリの調整]**の**[フロントカバーの使用法]**の項を参照)

重　要

逆転PTOを使用して,次の作業は行なわないでください。ロータリ破損の原因になります。

＊ 逆転耕うん作業
＊ 未耕地及び石の多いほ場での土寄せ作業
＊ ロータリ爪を逆に取付けて行なう耕うん作業

爪軸交換のしかた

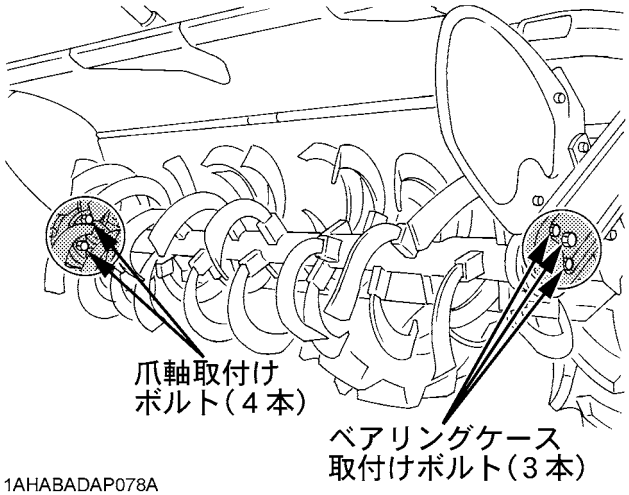
注　意

傷害事故の防止のため，爪軸交換をする場合，次のことを守ってください。

＊ トラクタを平たんな広い場所に置く。
＊ エンジンを止め，駐車ブレーキを掛ける。
＊ ロータリを持上げ，落下速度調整グリップを右いっぱいに回してロック（停止）すると共に適切なジャッキ又はブロックで歯止めをし，落下防止を行なってください。

[RL 仕様]

1. チェーンケース側爪軸取付けボルト（４本），及びサイドフレーム側ベアリングケース取付けボルト（３本）をゆるめてください。
2. 落下調整グリップを少し左に回し，耕うん爪が水平地面上に着くまでゆっくりと降ろした後で，ボルトを７本外して爪軸を交換してください。



1AHABADAP078A

重　要

＊ 取付けは，外したボルトが作業中にゆるまないように，確実に締付けてください。
［締付けトルク］
- 爪軸取付けボルト

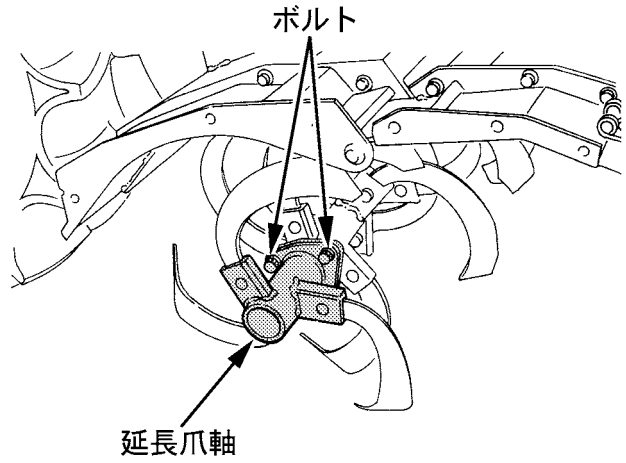
[RL145T-165T]
7T ボルト　78.5 ～ 93.0N・m
(8.0 ～ 9.5 kgf・m)

[RL175T]
9T ボルト　107.9 ～ 117.2N・m
(11.0 ～ 12.0 kgf・m)

- ベアリングケース取付けボルト
  78. 5 ～ 88. 0 N･m(8.0 ～ 9.0 kgf･m)

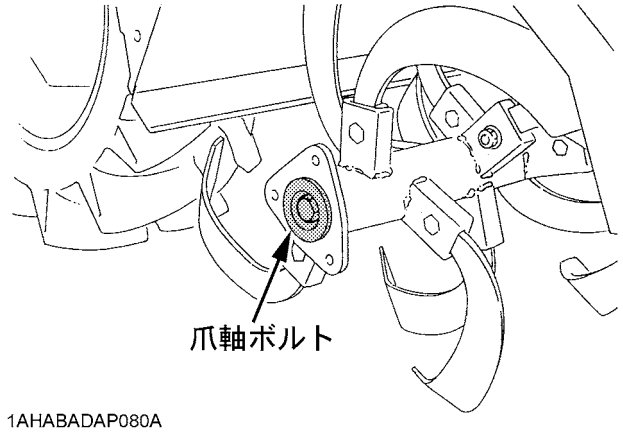
[R 仕様]

1. 延長爪軸付（別売オプション）ロータリは，延長爪軸を取外してください。（左右各３本）



1AHABADAP079A

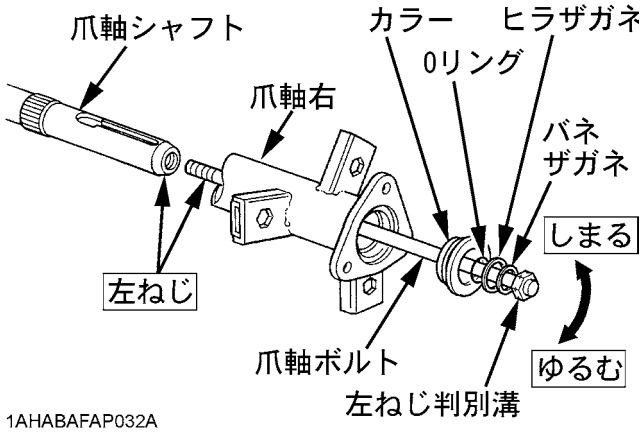
2. 爪軸ボルト（左右各１本）を外して，爪軸を交換してください。



1AHABADAP080A

補　足

＊ 右側の爪軸ボルトは左ねじです。



1AHABAFAP032A

重　要

＊ 取付けは，外したボルトが作業中にゆるまないように，確実に締付けてください。
［締付けトルク］
- 延長爪軸取付け用ボルト
  78.5 ～ 88.0 N・m (8.0 ～ 9.0 kgf・m)
- 爪軸ボルト
  135.0～145.0 N･m (14.0～15.0 kgf･m)

作業前の点検について（日常点検）

警　告

＊ 安全カバー類を外した状態でロータリを使用しないでください。また，紛失したり損傷した場合，交換してください。
巻込まれや切傷事故の原因になります。

点検箇所

故障を未然に防ぐには，機械の状態をいつもよく知っておくことが大切です。
日常点検は毎日欠かさず行なってください。
※印は，別途作業要領が説明してあります。

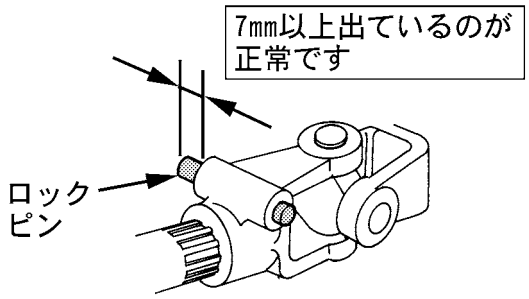
■点検は次の順序で実施してください。

1. 前日，前使用時の異常箇所。
2. ロータリの点検ポイント。
   - ＊ 爪及び爪軸取付けボルトのゆるみ
   - ＊ つきま線のゆるみ
   - ＊ ロータリ各部のボルト・ナットのゆるみ
   - ＊ ユニバーサルジョイントのロックピンの確認……※１
   - ＊ 油もれ

点検のしかた

■ユニバーサルジョイントのロックピンの確認

ロックピンが正確に溝にはまったかどうかの確認は，ピンの頭が７ ㎜ 以上出ているかどうかを調べてください。



1AHACACAP053A

ロータリの簡単な手入れと処置

廃棄物の処理について

警　告

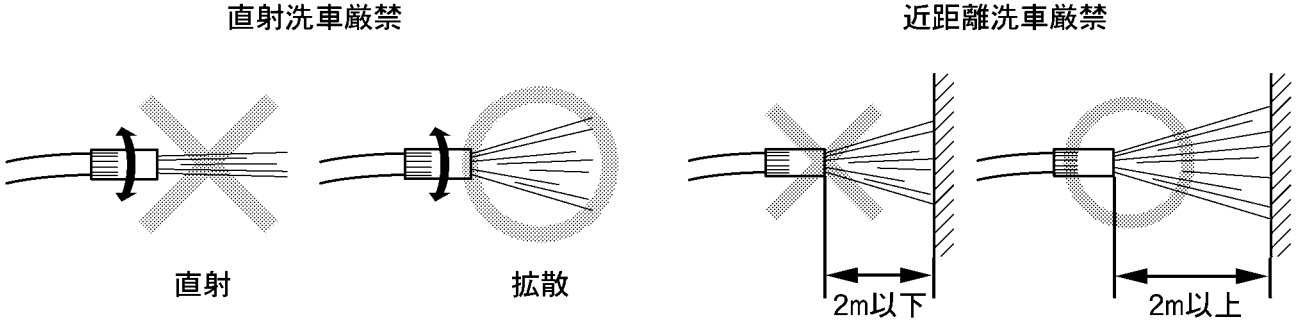
廃棄物をみだりに捨てたり，焼却すると，環境汚染につながり，法令により処罰されることがあります。
廃棄物を処理するときは
＊ 機械から廃液を抜く場合は，容器に受けてください。
＊ 地面へのたれ流しや河川，湖沼，海洋への投棄はしないでください。
＊ 廃油，ゴム類，その他の有害物を廃棄，又は焼却するときは，購入先，又は産業廃棄物処理業者等に相談して，所定の規則に従って処理してください。

洗車時の注意

高圧洗車機の使用方法を誤ると人を怪我させたり，機械を破損・損傷・故障させることがありますので，高圧洗車機の取扱説明書・ラベルに従って，正しく使用してください。

注　意

機械を損傷させないように洗浄ノズルを拡散にし，２ｍ以上離して洗車してください。
もし，直射にしたり，不適切に近距離から洗車すると，
1. 電気配線部被覆の損傷・断線により，火災を引き起こすおそれがあります。
2. 油圧ホースの破損により，高圧の油が噴出して傷害を負うおそれがあります。
3. 機械の破損・損傷・故障の原因になります。
例）(1) シール・ラベルの剥がれ
(2) 電子部品，エンジン・トランスミッション室内，安全キャブ室内等への浸入による故障
(3) タイヤ，オイルシール等のゴム類，樹脂類，ガラス等の破損
(4) 塗装，メッキ面の皮膜剥がれ



1AGACBRAP070A

ロータリの簡単な手入れと処置

定期点検箇所一覧表

次の定期点検表に従って，必ず定期点検を実施してください。

注 意

傷害事故の防止のため，点検整備をする場合，次のことを守ってください。
＊ トラクタを平たんな広い場所に置く。
＊ エンジンを止め，駐車ブレーキを掛ける。
＊ ロータリの落下防止のため，落下速度調整グリップを右いっぱいに回して締込む。
＊ 爪軸の下に木の台などをし，より安全性を確保する。

No.	点検項目		アワーメータの表示時間						参照ページ
			50	100	150	200	250	300	
1	ギヤーケース **[RL 仕様]**	油量点検		○	○	○	○		45
		オイル交換	◎					○	
2	チェーンケース **[RL 仕様]**	油量点検		○	○	○	○		45
		オイル交換	◎					○	
3	ロータリケース **[R 仕様]**	油量点検		○	○	○	○		46
		オイル交換	◎					○	
4	グリースの補給 ・ユニバーサルジョイント ・アジャスタ（後２輪調整ネジ部） ・ホルダ（ジョイント），ロータリ入力軸（スーパージョイント付） ・後２輪のグリースニップル部（後２輪仕様） 注油 ・オートヒッチフレーム各回動部 ・スプリングロックしゅう動部 ・オートハンガしゅう動部，回動部 ・つきま線の U 金具部 ・フロントカバー回動部 ・手元開閉式延長カバー回動部 **[Y 仕様]**		○	○	○	○	○	○	47 47 47 47 48 48 48 48 48 48
5	グリースの補給 ・爪軸ベアリングケース **[RL 仕様]**				○			○	48

［注］◎印は，ならし運転時の 50 時間使用後に，必ず行なってください。

各部の油量点検と交換

使用するギヤーオイルは，必ず**［クボタ純オイル］**を使用してください。(**［推奨オイル・グリース一覧表］**の項を参照)

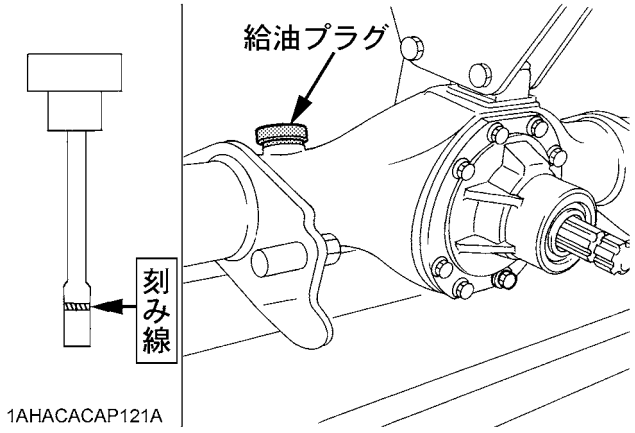
補　足

＊ 点検するときは，ロータリをトラクタに装着したまま，水平な地面に置いて行なってください。
傾いていると正確な量を示さないことがあります。

■ギヤーケース［RL 仕様］

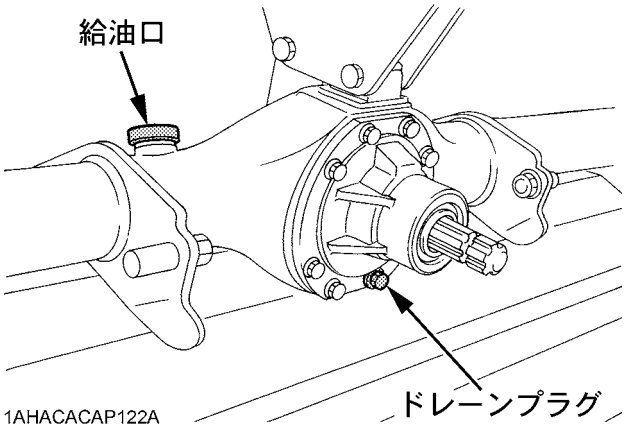
◆ 油量点検のしかた

1. ロータリを降ろして給油プラグを抜き，オイルゲージの先端をきれいにふいて差込んでから再び抜き，**［刻み線］**までオイルがあるかを調べてください。
2. 刻み線以下の場合は補給してください。



◆ 交換のしかた（2.5 L）

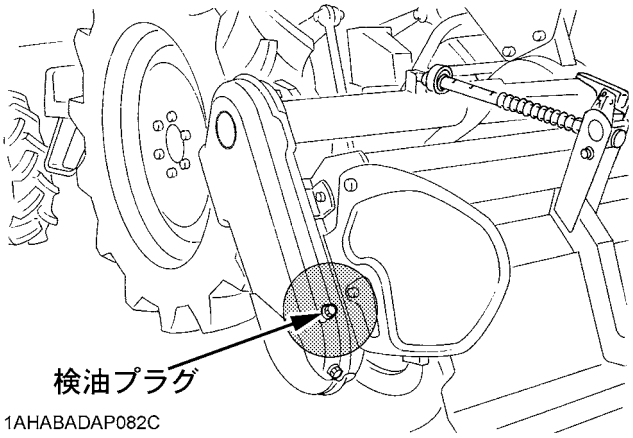
1. ドレーンプラグを外してオイルを出してください。オイルが抜けたらドレーンプラグをしっかりと締付けてください。ゴム座金に変形や損傷がある場合は，新品に交換してください。
2. ギヤーオイルを給油口から，規定量入れてください。



■チェーンケース［RL 仕様］

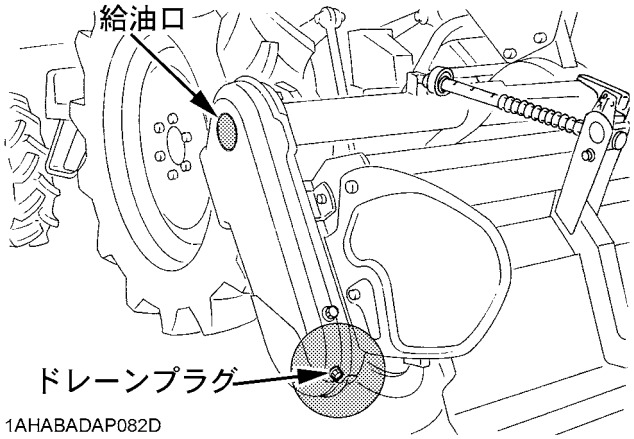
◆ 油量点検のしかた

1. ロータリを降ろして検油プラグを外し，検油口までオイルがあるか調べてください。
2. 検油口以下の場合は補給しますが，検油口以上には入れないでください。



◆ 交換のしかた（1.2L）

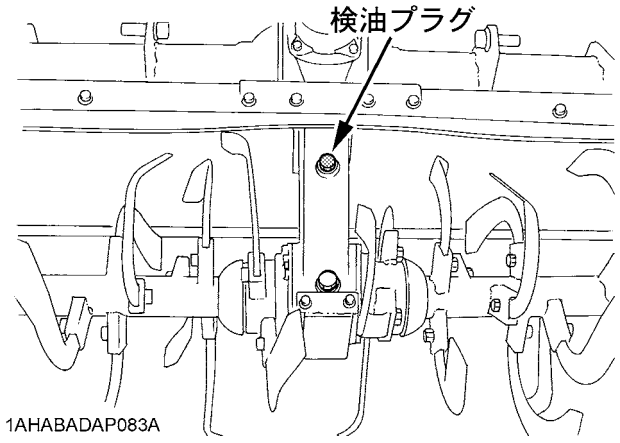
1. ドレーンプラグを外してオイルを出してください。
   オイルが抜けたらドレーンプラグをしっかりと締付けてください。ゴム座金に変形や損傷がある場合は，すみやかに交換してください。
2. ギヤーオイルを給油口から，規定量入れてください。



■ロータリケース［R 仕様］

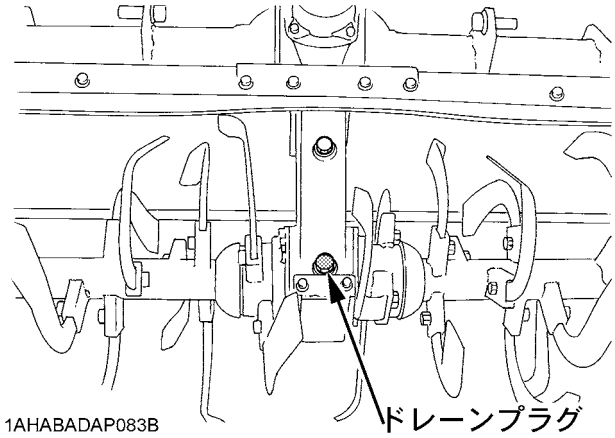
◆ 油量点検のしかた

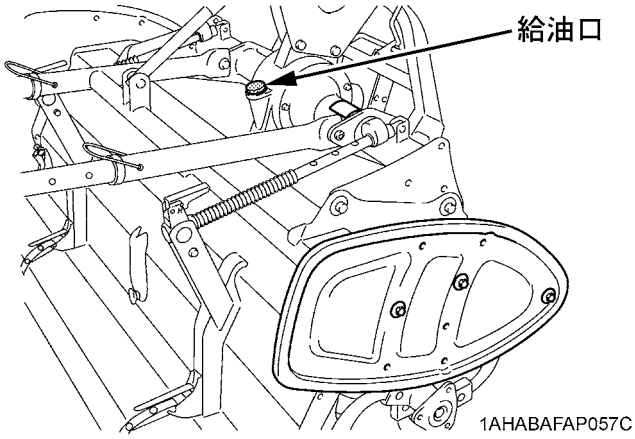
1. ロータリを降ろして検油プラグを外し，検油口までオイルがあるか調べてください。
2. 検油口以下の場合は補給しますが，検油口以上には入れないでください。



◆ 交換のしかた（2.0L）

1. ドレーンプラグを外してオイルを出してください。
   オイルが抜けたらドレーンプラグをしっかりと締付けてください。ゴム座金に変形や損傷がある場合は，すみやかに交換してください。
2. ギヤーオイルを給油口から，規定量入れてください。





グリースの補給と注油

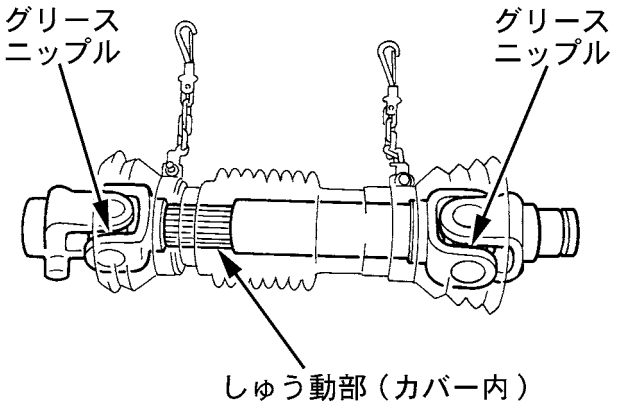
通常のグリースアップは，定期点検箇所一覧表に従って行なってください。但し，代かき作業などで泥水に入ったときは，作業終了後必ずグリースアップをしておきましょう。
グリースは，**【クボタ推奨グリース】**を使用してください。(**【推奨オイル・グリース一覧表】**の項を参照)

■ユニバーサルジョイント

しゅう動部は，ジョイントのオス・メス部を切離して補給してください。

補　足

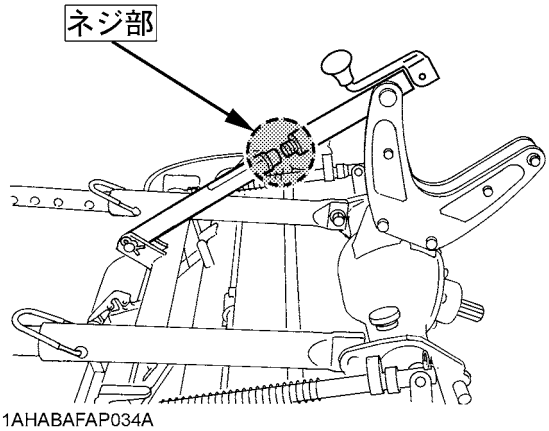
＊ PTO 軸・ロータリ側の軸にも，薄く塗布してください。



1AHABADAP084B

■アジャスタ（後２輪調整ネジ部）

グリースを適量補給してください。
(トラクタにロータリを装着した状態で，アジャスタと調整ネジを切離して，ネジ部にグリースを塗布します。)



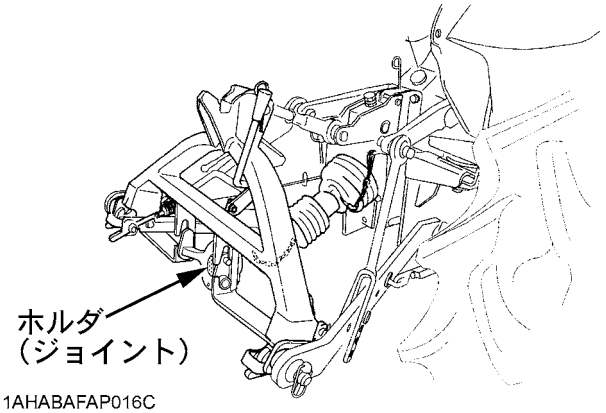
1AHABAFAP034A

重　要

＊ ロータリ単体で行なうとロータリが倒れるため，必ずトラクタに装着して行なってください。

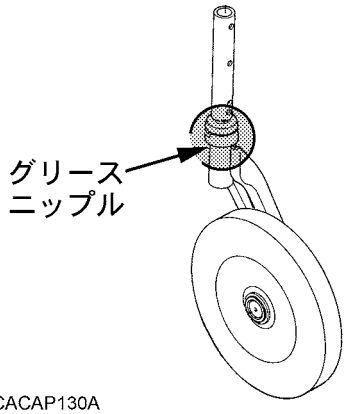
■ホルダ（ジョイント）[スーパージョイント付]，ロータリ入力軸

1. 湿田耕うんや代かき作業後は，必ずロータリを切離し，ホルダ（ジョイント）内とロータリ入力軸の，泥をきれいに水で洗い流し，下図の箇所にグリースを適量塗布してください。
2. 定期的にロータリを切離し，ホルダ（ジョイント）とロータリ入力軸の，下図の箇所にグリースを適量塗布してください。



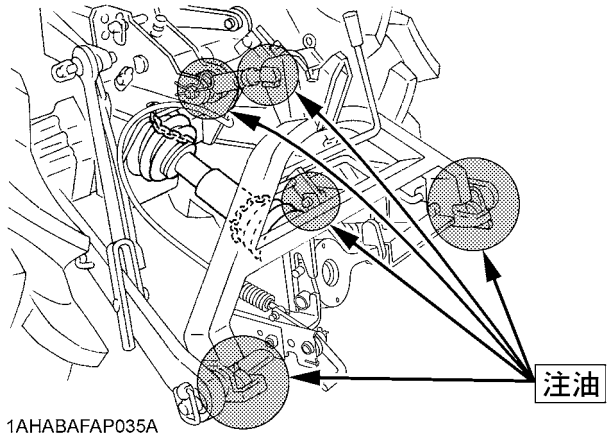
1AHABAFAP016C

■後２輪のグリースニップル部（後２輪仕様）



1AHACACAP130A

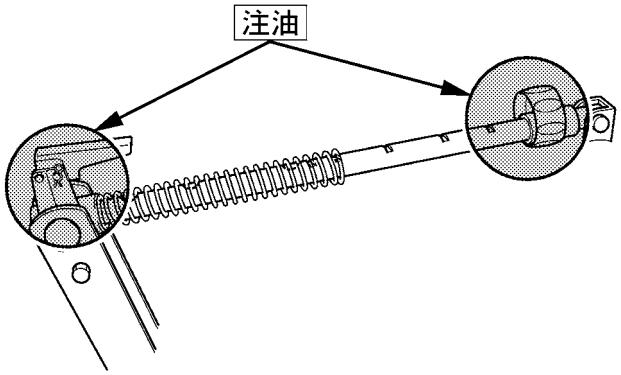
■オートヒッチフレーム、トップリンク各回動部



1AHABAFAP035A

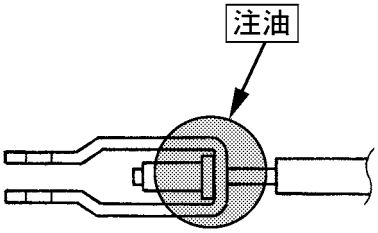
■スプリングロックしゅう動部

■オートハンガしゅう動部，回動部



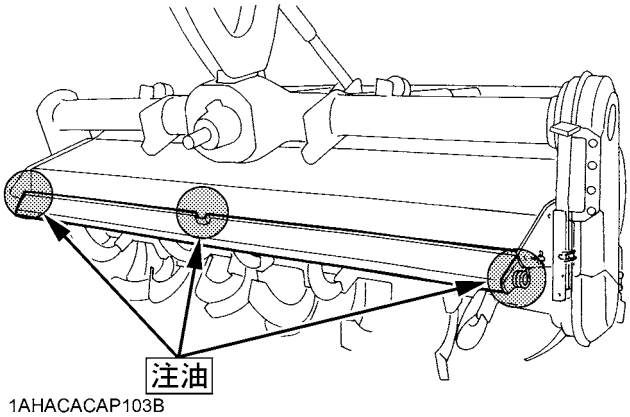
1AHABADAP075D

■つきま線部のU金具



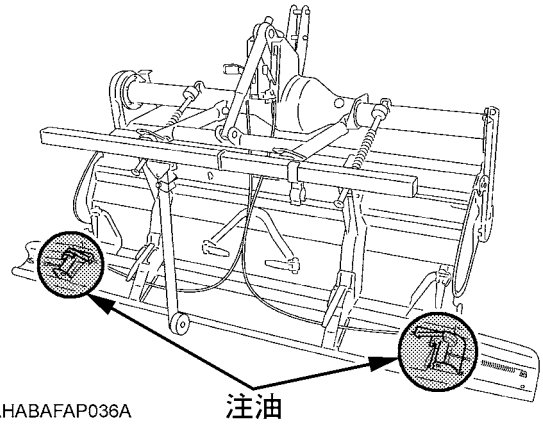
1AHACACAP133A

■フロントカバー回動部



1AHACACAP103B

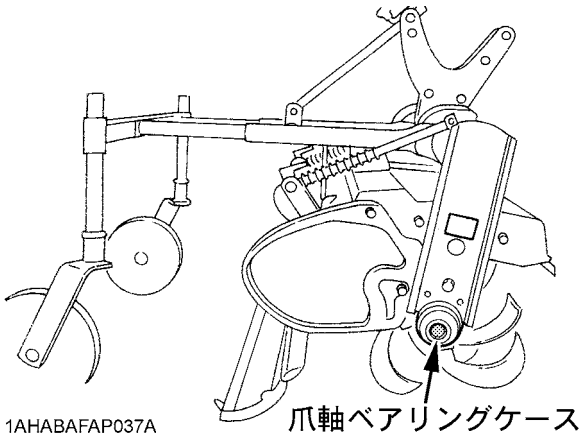
■手元開閉式延長カバー回動部［Y仕様］



1AHABAFAP036A

■爪軸ベアリングケース［RL仕様］

サイドフレームの保護カバーとキャップを外し，ベアリンググリースを補給します。



1AHABAFAP037A

マッドレスロータリ　ゴムカバー用補修剤の使用方法

重　要

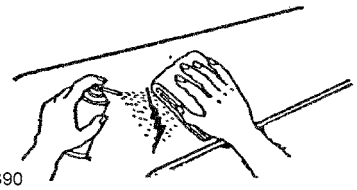
＊ マッドレスカバーに大きな破れやキズが発生した場合は，すみやかに補修してから使用してください。

補修部品

品名	品番
パッチ (M)	99514-5102-0
接着剤	99514-5103-0
脱脂剤	99514-5104-0
ブラシ	99514-5105-0

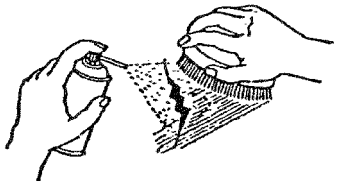
◆ 補修のしかた

1. ゴムカバーの周辺部（貼ろうとするパッチより大きめの部分）に，クリーナを吹きつけ，古タオルなどで汚れの油類を拭きとってください。



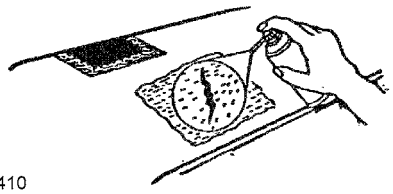
1AHABAFAP0390

2. 汚れを取ったゴムカバー面にクリーナを吹きつけ，クリーナが乾かない内にワイヤーブラシでバフ掛けしてください。
   ※２回ほど作業を繰り返すと効果が大きくなります。



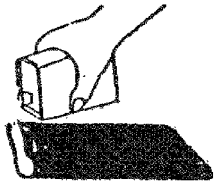
1AHABAFAP0400

3. 仕上げに再度クリーナを吹きつけ，バフ粉等を取除いてください。クリーナが完全に蒸発してから接着剤を塗布し，パッチの貼付作業に入ってください。



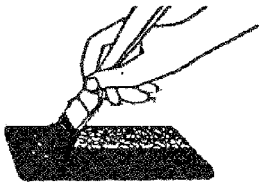
1AHABAFAP0410

4. 接着剤をバフ掛けした部分に流してください。



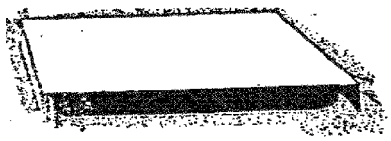
1AHABAFAP0420

5. 接着剤をハケでタマリのない様に薄くムラなく伸ばし完全に乾燥させてください。
   ※乾燥時間３～８分（常温）



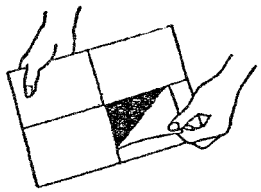
1AHABAFAP0430

6. 紫外線を避けるため，遮光板をのせて３～８分乾かしてください。



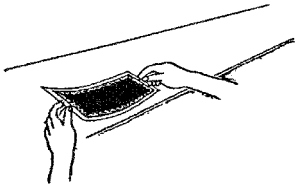
1AHABAFAP0440

7. 接着剤が乾燥する間にパッチの裏面のフィルムをめくってください。接着面に手の油，ホコリ等がつかないように注意してください。



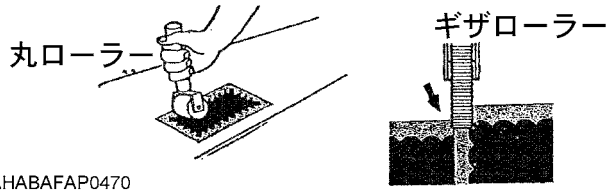
1AHABAFAP0450

8. パッチの端の透明フィルムを持ってゴムカバーに貼付けてください。



1AHABAFAP0460

9. 丸ローラー，ハンマー等でじゅうぶんに圧着させてください。重ね貼りをする場合，⬇の部分はギザローラーでじゅうぶんに押えてください。パッチ裏面の透明フィルムをはがして作業完了です。



1AHABAFAP0470

分解時の注意

整備などの目的でギヤーケース，チェーンケース等を分解される場合は，必ず新しいオイルシール，ゴムキャップ，ゴム付座金，液状ガスケット，コーティングボルト等と交換してください。オイルもれの原因となります。
液状ガスケットはスリーボンド 1206C 又は 1206D 又はその相当品を使用し，必ず塗布面を脱脂してください。

付　表

主要諸元

型式名		RL145T	RL155T	RL165T	RL175T	R155T
駆動方式		サイドドライブ				センタドライブ
機体寸法 ※1	全長（mm）（後２輪仕様）	1020 （1250）				（1280）
	全幅（mm）	1560	1660	1760	1860	1575
	全高（mm）	1060 ※４				1070
質量（kg）※２（後２輪仕様）＜SC 仕様＞		226 （240） ＜236＞	236 （250） ＜248＞	242 （256） ＜256＞	250 （264） ＜268＞	（256）
適応トラクタ kW(PS)		KT215 ～ 255 T245D 15.4 ～ 18.4 （21 ～ 25）	KT215 ～ 305 T245D，T265D 15.4 ～ 22.1 （21 ～ 30）		KT235 ～ 305 T245D，T265D 16.9 ～ 22.1 （23 ～ 30）	KT215 ～ 305 T245D，T265D 15.4 ～ 22.1 （21 ～ 30）
標準耕幅（cm）		141	151	161	172	149
標準耕深（cm）		～ 18				
標準作業速度（km/h）		0.5 ～ 4.0				
入力軸回転数（rpm）		469 ～ 1180				
変速の有無		無				
装着装置の種類		日農工特殊 3P-B 型オートヒッチフレーム				
耕うん爪取付方法		ホルダタイプ				
耕うん爪の種類と本数		501 号 なた爪 R・L 各 14 本	501 号 なた爪 R・L 各 16 本	501 号 なた爪 R・L 各 16 本	501 号 なた爪 R・L 各 17 本	581 号 なた爪 R・L 各 18 本
		503 号増幅爪 R・L 各１本				544 号 変形爪 R・L 各１本
耕うん爪の外径（cm）		50				
耕深調整機構		モンローマチックオート式（後２輪式）				
耕うん作業能率（分 /10a）6000/(w・V・E)　※３		14 ～ 113	13 ～ 106	12 ～ 99	12 ～ 93	13 ～ 107

※１：最縮状態，オートヒッチフレーム付き
※２：オートヒッチフレーム付き，補助ユニット無し
※３：w：標準耕幅（cm），V：標準作業速度（km/h），E：ほ場作業効率（0.75）
※４：H 仕様は＋ 90（mm）
※５：この主要諸元は，改良のため予告なく変更することがあります。

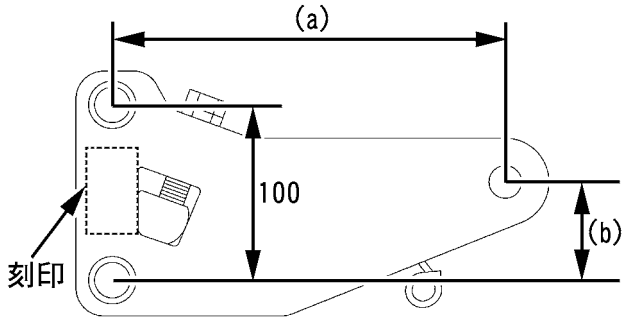
付　表

トラクタ型式名	PTO/ 耕うん軸回転数（rpm）									
	RL145T ～ 175T					R155T				
	540rpm	F1	F2	F3	R	540rpm	F1	F2	F3	R
KT215	167	171	248	365	208	156	161	232	343	196
KT215F, KT255F, KT285F, T265DF	167	151	219	340	184	156	142	205	320	173
KT235, T245D	167	156	226	351	190	156	146	212	329	178
KT235F, T245DF	167	145	211	328	177	156	136	198	307	166
KT255, KT285, T265D	167	162	235	365	198	156	152	220	343	185
KT305	167	168	244	348	205	156	158	229	327	192
KT305F	167	157	227	353	191	156	147	213	332	180

標準付属品

取扱説明書	1
保証書	1

補助ユニット一覧表



1AHABADAP023A

トラクタ型式	補助ユニット	トップリンクサポート品番	刻印	a 寸法 (mm)	b 寸法 (mm)
KT215(J), KT235	UKT215(Q)-8RF	7A240-5341-0	210	215	19.5
KT235J, KT255, T245D	UKT235J(Q)-8RF	7A240-5141-0	250J	206	23.5
KT255J, KT285(J), KT305, T265D KT215PC, KT235PC KT255PC, KT285PC, T245DPC, T265DPC	UKT255J(Q)-8RF	7A240-5141-0	250J	206	23.5
KT215HN, KT285HN	UKT215H-8RF	7A240-5341-0	210	215	19.5

[補助ユニット]

製品名	コード No.	製品名	コード No.
UKT215-8RF	7A300-01000	UKT255J-8RF	7A300-05000
UKT215Q-8RF	7A300-02000	UKT255JQ-8RF	7A300-06000
UKT235J-8RF	7A300-03000	UKT215H-8RF	7A300-07000
UKT235JQ-8RF	7A300-04000		

アタッチメント一覧表

分類	品番	品名	用途・仕様	適応型式				
				RL145T	RL155T	RL165T	RL175T	R155T
耕うん	07908-7606-0	爪セット 30	501 号 R・L 各 14 本 503 号 R・L 各 1 本	○				
	07908-7605-0	爪セット 34	501 号 R・L 各 16 本 503 号 R・L 各 1 本		○	○		
	7A105-5545-0	爪セット 36	501 号 R・L 各 17 本 503 号 R・L 各 1 本				○	
	99032-4910-0	なた爪セット	581 号 R・L 各 18 本 544 号 R・L 各 1 本					○
	99902-6800-0	200　延長爪軸アッシ	左右各 10cm 延長					○
	99902-6900-0	300　延長爪軸アッシ	左右各 15cm 延長					○
	70461-5555-0	爪取付部品 1	ボルト・ナット・バネ座金各 1 個	○ 28	○ 32	○ 32	○ 34	○ 36
	7C705-5555-0	爪取付部品 1	ボルト（草切爪用）ナット・バネ座金各 1 個	○ 2	○ 2	○ 2	○ 2	○ 2
	7A245-9912-0	フローティング部品アッシ	・ 後 2 輪仕様 ・ 手元開閉式延長カバー，電動培土反転装置とは併用不可	○	○	○	○	○

■兼用品

分類	品番	品名	用途・仕様	併用アタッチメント	適応型式				
					RL145T	RL155T	RL165T	RL175T	R155T
整地	99904-5700-0	手元開閉式延長カバー，アッシ (15)	標準仕様を Y 仕様へ変更する		○	○			○
	99904-5710-0	手元開閉式延長カバー，アッシ (17)	標準仕様を Y 仕様へ変更する				○	○	
畝立て	99622-7100-0	片培土機 (KT)	・溝幅 16cm	前部ウエイトアッシ ホルダアッシ (03)	○	○ ※	○ ※	○ ※	○ ※
	99632-7100-0	片培土機 (KT) ブラケット付	・溝幅 16cm	前部ウエイトアッシ	○	○ ※	○ ※	○ ※	
	99662-7100-0	反転片培土機 アッシ (KT)	・溝幅 16cm	前部ウエイトアッシ	○	○ ※	○ ※	○ ※	○ ※
	99672-7100-0	片培土反転 金具 (KT)	—		○	○ ※	○ ※	○ ※	○ ※

付　表

分類	品番	品名	用途・仕様	併用アタッチメント	適応型式				
					RL145T	RL155T	RL165T	RL175T	R155T
畝立て	99042-1370-0	４号 畝立機 (03)	・溝幅 12cm ・底板無 ・羽根長さ 85.4cm	Vカットなしの場合： 畝立て金具 Vカットの場合： 畝立て反転金具又は 畝立て金具 前部ウエイトアッシ	○	○	○	○	○
	99042-1470-0	５号 畝立機 (03)	・溝幅 15cm ・底板無 ・羽根長さ 86.5cm		○	○	○	○	○
	99042-1170-0	７号 畝立機 (03)	・溝幅 21cm ・底板無 ・羽根長さ 92cm		○	○	○	○	○
	99042-1770-0	畝立て 金具 (03)	－	畝立機	○	○ ※	○ ※	○ ※	○ ※
	99022-1370-0	Vカット４号 畝立機 (03)	・溝幅 12cm ・底板無 ・羽根長さ 85.4cm	Vカット用 畝立て反転金具又は ７号畝立て金具 前部ウエイトアッシ	V ○	V ○	V ○	V ○	V ○
	99022-1470-0	Vカット５号 畝立機 (03)	・溝幅 15cm ・底板無 ・羽根長さ 86.5cm		V ○	V ○	V ○	V ○	V ○
	99022-1170-0	Vカット７号 畝立機 (03)	・溝幅 21cm ・底板無 ・羽根長さ 92cm		V ○	V ○	V ○	V ○	V ○
	99852-1710-0	Vカット用畝立てワンタッチ反転金具	・キャブ付トラクタへの装着不可	畝立機	V ○ ※	V ○ ※	V ○ ※	V ○ ※	V ○ ※
	99852-1700-0	電動培土反転装置	・１連用畝立て用（モータ仕様） ・キャブ付トラクタへの装着不可	畝立機	V ○	V ○	V ○	V ○	V ○
	96220-0010-0	畝立て金具		畝立機		V ○ ☆	V ○ ☆	V ○ ☆	V ○ ☆
後２輪	7A205-5700-2	後２輪アッシ (RL5T)	サイドロータリ用 ホルダ,アッシ (3) も含む （後２輪仕様以外）		○	○	○	○	
	7C705-5730-2	ホルダアッシ (3)	片培土機装着時必要 サイドロータリ用 （後２輪仕様以外）		○	○	○	○	
耕うん	99514-5800-0	残耕処理爪アッシ	あぜ際の残耕処理		○	○	○	○	
	99272-6400-0	つきま線, アッシ (5)	草，わらの巻付き防止						○

※：H 仕様以外に適用
☆：H 仕様 V カット付に適用
（H 仕様は片培土機使用出来ません。また，H 仕様の V カット無は畝立機使用出来ません。）
V ：V カット付に適用

推奨オイル・グリース一覧表

必ず下記の指定オイルを使ってください。

■ギヤーオイル

ギヤーオイル	クボタ純オイル（ミッション用）M90

■グリース

極圧（万能）グリース	クボタ純グリース No.2 ★入手できない場合は下記メーカ製品または JCMAS GK 規格品をご使用ください。 ・JX 日鉱日石エネルギー： エピノックグリース AP2, リゾニックス EP2 ・コスモ石油ルブリカンツ： ダイナマックス No.2 ・出光興産： ダフニーエポネックス SR2 ・昭和シェル石油： アルバニヤ EP グリース 2 ・モービル： モービラックス EP2

修理・取扱い・手入れなどでご不明の点は まず，購入先へ ご相談ください

おぼえのため，記入されると便利です

購入先名	担当	電話（　　）　　ー

ご購入日	型式名	区分

車台番号（製造番号）	エンジン型式	エンジン番号

万一ご購入先でご不明の点がございましたら，下記にお問合わせください。

都道府県	お問合せ先	都道府県	お問合せ先
北海道	北海道営業技術推進部	滋賀、京都、大阪、和歌山、奈良、兵庫	大阪営業技術推進部
青森、秋田、山形（庄内地区）	秋田営業技術推進部	岡山、広島	中国営業技術推進部
岩手、宮城、福島、山形（庄内地区以外）	仙台営業技術推進部	島根、鳥取	中国営業技術推進部（米子事務所）
栃木、群馬、茨城、千葉、埼玉、東京、神奈川、静岡	東京営業技術推進部	香川、徳島、高知、愛媛	株式会社四国クボタ 営業技術課
新潟、長野、山梨	新潟営業技術推進部	山口、福岡、佐賀、長崎、沖縄	福岡営業技術推進部
富山、石川、福井	金沢営業技術推進部	大分、宮崎、熊本、鹿児島	熊本営業技術推進部
愛知、三重、岐阜	名古屋営業技術推進部		

クボタ機械サービス株式会社

北海道営業技術推進部：電(011)376-4434　〒061-1274　北海道北広島市大曲工業団地3丁目1番地
秋田営業技術推進部：電(018)845-1644　〒011-0901　秋田市寺内字大小路207-54
仙台営業技術推進部：電(022)384-5162　〒981-1221　宮城県名取市田高字原182番地の1
東京営業技術推進部：電(048)862-1588　〒338-0832　さいたま市桜区西堀5丁目2番36号
新潟営業技術推進部：電(025)285-1261　〒950-0992　新潟市中央区上所上1丁目14番15号
金沢営業技術推進部：電(076)275-1121　〒924-0038　石川県白山市下柏野町956-1
名古屋営業技術推進部：電(0586)24-5111　〒491-0031　愛知県一宮市観音町1番地の1
大阪営業技術推進部：電(06)6470-5860　〒661-8567　兵庫県尼崎市浜1丁目1番1号
中国営業技術推進部：電(086)279-4511　〒703-8216　岡山市東区宍甘275番地
中国営業技術推進部（米子事務所）：電(0859)39-3181　〒689-3547　鳥取県米子市流通町430-12
株式会社四国クボタ 営業技術課：電(087)874-8500　〒769-0102　香川県高松市国分寺町国分字向647-3
福岡営業技術推進部：電(092)606-3725　〒811-0213　福岡市東区和白丘1丁目7番3号
熊本営業技術推進部：電(096)357-6181　〒861-4147　熊本市富合町廻江846-1
本社営業技術部：電(072)241-7247　〒590-0823　大阪府堺市堺区石津北町64番地

株式会社クボタ

機械東日本事務所：電(048)862-1121　〒338-0832　さいたま市桜区西堀5丁目2番36号
機械西日本事務所：電(06)6470-5970　〒661-8567　兵庫県尼崎市浜1丁目1番1号

RL145T/155T/165T/175T/R155T
AQ. D. 10-16. 10. K

Kubota

安全はクボタの願い

このマークは「お客様」「ディーラ」「クボタ」の三者が
一体となって安全宣言を行うための統一マークです。

品番　7A315-5752-4

株式会社クボタ
〒556-8601
大阪市浪速区敷津東1丁目2番47号